取扱説明書

HYBRID W-ZERO3

WS027SH

SHARP®

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。
別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

●この製品を正しくお使いいただくために、『取扱説明書』（本書）および『かんたん操作ガイド』をよくお読みになってからご使用ください。また、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。

取扱説明書（本書）

各種機能の使いかたや、困ったときの対処法を紹介しています。
基本操作・インターネット・メール・電話
映像と音楽・データ通信・設定・
異常が起きたとき・困ったときは
アフターサービスについて

かんたん操作ガイド

この製品を使うための準備（オンラインサインアップ※など）や、
この製品の基本的な使いかたを紹介しています。
箱を開けたら必ずお読みください。
※メールやインターネット接続をするための設定

●当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
●当社は、この製品において内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申しあげます。
なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
●お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障･修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化･消失するおそれがあります。
●次のことを必ずお守りください。
重要な内容は必ず控えを取っておいてください。動作確認済みの市販のmicroSDカードにバックアップ（保管）することができます。
●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」（☞0-12ページ）を必ずお読みください。

ウィルコム通信サービスについて

株式会社ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときは、契約手数料がかかります。また、契約申込後は毎月の基本料金と通話料がかかります。

くわしくは、下記ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

●ご契約内容（加入、変更、引越等）
●オプションサービス
●この製品の紛失
●基本料金・通話料等
●サービスエリア
●その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間：9：00～20：00（年中無休）

この製品から…………………………局番なしの 116（無料）
一般加入電話・携帯電話などから… 0120-921-156（無料）
番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ

受付時間：9：00～20：00（年中無休）

この製品から…………………………局番なしの 157（無料）
一般加入電話・携帯電話などから… 0120-921-157（無料）
番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

携帯電話・PHS のリサイクルについて

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機･電池･充電器を、ブランド・メーカー問わず右記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル･リサイクル･ネットワーク
携帯電話･PHSのリサイクルにご協力を。

ご注意

- 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

もくじ

必ずご確認ください

1章　基本操作

4章 メール

メール（Outlook） 4-2

ライトメール 4-23

手描きチャット 4-45

5章 インターネット

6章 映像と音楽

9章 設定

10章 付録

この製品には、本書で説明している以外に次のプログラムなどがあります。

- 予定表
- 仕事
- Word Mobile
- PowerPoint Mobile
- 文字入力のしかた（入力パネル）
- アラーム
- Adobe Reader LE
- 連絡先
- メモ
- Excel Mobile
- OneNote Mobile
- NAVITIME
- 区点コード一覧
- ActiveSync

など

これら本書に記載していないアプリケーションの説明は、ホームページ（http://wssupport.sharp.co.jp/manual/）をご覧ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

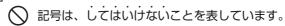
 危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図表示の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

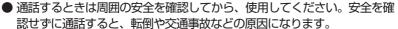
記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

■ WS027SH 本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まず AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 指定の AC アダプターや充電池をご使用ください。指定以外の AC アダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。

⚠ 警告

- 屋外で雷が鳴っているときは、使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 交通事故の原因になりますので、自動車・バイク・自転車などを運転中は使用しないでください。自動車・バイク運転中の使用は法律で禁止されています。自動車・バイク・自転車などを安全な場所に止めてからご使用ください。
- 航空機など使用を禁止された区域では電源を切ってください。航空機内での使用は禁止されています。
  ただし、ワイヤレス LAN 装着のある航空機内において、この製品から当該ワイヤレス LAN システムに接続して使用する場合は、離着陸時を除き内蔵ワイヤレス LAN を作動させることができます。
  この場合でも、PHS や W-CDMA の無線機能はオフにしてください。
-   通話するときは周囲の安全を確認してから、使用してください。安全を確認せずに通話すると、転倒や交通事故などの原因になります。
- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどから 22cm 以上離して携行および使用してください。
- 満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、この製品の電源を切ってください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、この製品を持ち込まないでください。
  - ・病棟内では、この製品の電源を切ってください。
  - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、この製品の電源を切ってください。
  - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
  ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカやその他医療用電子機器をお使いの場合は、各機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- 心臓の弱い方は、バイブレータや着信音の設定に注意してください。
- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にこの製品の電源を切ってください。また充電もしないでください。
  ガスに引火するおそれがあります。

⚠ 注意

● ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。バイブレータを設定しているときも、ご注意ください。

● 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、この製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、このようなときは使用しないでください。

● 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め医師の治療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

● 長時間使用した場合に、本体が熱くなることがあります。
熱くなった本体を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。周囲温度が高い場所では、特にご注意ください。

● 紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。故障の原因になります。

● 健康のために、次のことをお守りください。
・連続して使用する場合は､1時間ごとに10分〜15分の休憩を取り、目を休ませてください。
・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
（操作場所の明るさの目安：500ルクス）
・明暗の差の大きい所では使用しないでください。
・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
・この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛み等が続く場合は、医師の診察を受けてください。
・お使いになる方によってはごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、この製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また、この製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

■充電池の取り扱いについて

⚠ 危険

- 充電池（リチウムイオン充電池）について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂・液もれの原因となります。
  - ・この製品で使用できる充電池は、EA-BL18 です。これ以外の充電池は使用しないでください。
  - ・装着するとき、充電池の向きが決められています。この製品にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。
  - ・充電には、付属の AC アダプター（EA-84）以外のものを使用しないでください。また、充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
  - ・直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所（60℃以上）に放置しないでください。
  - ・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
  - ・外傷、変形した充電池は使用しないでください。
  - ・落下させたり衝撃を与えた充電池は使用しないでください。
  - ・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
  - ・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
  - ・端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
  - ・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

- 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こすおそれがあります。

⚠ 警告

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
  - ・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
  - ・水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。

  - ・充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
  - ・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
  - ・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

⚠ 注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。

・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児がこの製品から取り出さないように注意してください。

・充電は必ず 5 ～ 35℃の範囲で行ってください。

・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■ AC アダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

● WS027SH 本体に接続する AC アダプターは、必ず付属の EA-84 を使用してください。他の AC アダプターは使用しないでください。

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

● 付属の AC アダプターはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

● ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

● 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。

・AC アダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。

・AC アダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

・お客様による改造や分解・修理はしないでください。

・AC アダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

⚠ 警告

・AC アダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

● 使用されないときには、安全のため、AC アダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外しお買いあげの販売店にご連絡ください。

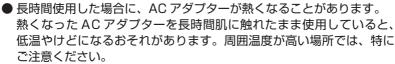
● 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

● 長期間使用されないときには、安全のため、AC アダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠ 注意

● AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

● 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
・周囲温度 0 ～ 40 ℃、湿度 35 ～ 85%の範囲でご使用ください。
・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
・ほこりの多い場所に置かないでください。
・落下させたり衝撃を与えないでください。
・つけ根部分を無理に曲げないでください。
・重いものを載せないでください。
・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
・布などでくるまないでください。

● 長時間使用した場合に、AC アダプターが熱くなることがあります。熱くなった AC アダプターを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。周囲温度が高い場所では、特にご注意ください。

● 紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。故障の原因になります。

■ microSDカードやスタイラスなどの取り扱いについて

⚠ 注意

● microSDカードやスタイラスは、小さなお子様があやまって飲み込むことがないように、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
また、イヤホンマイク端子のカバーやACアダプター端子／USB端子のカバーが外れたときも、小さなお子様がカバーを飲み込みことがないように保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

■ USIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

● USIMカードを取り外すときは、切断部にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

使用上のご注意とお手入れのしかた

落としたり、ズボンのポケットに入れたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を与えたりしないでください。また、ハンドストラップなどをご使用になり、落とさないようにしてください。
故障や破損の原因となります。

日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因となります。

この製品は防水構造にはなっていませんので、水などの液体がかかるところや雨の中での使用や保存は避けてください。また、ジュースやコーヒーなどの液体をこぼしたりしないでください。故障の原因となります。
水しぶき、蒸気、汗なども故障の原因になることがありますので、そのような場所での使用や保存は避けてください。

画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。
汚れたまま画面をタップすると傷つくことや、スタイラスのすべりが悪くなることがあります。

表示部を開いた状態で表示部またはダイヤルキー部分だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。
本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。
故障の原因となります。

お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

画面を強く押さえたり、先のとがったものや硬いもので操作したりしないでください。
画面などを傷めることがあります。

スタイラスの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスのすべりが悪くなることがあります。

本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
また、液晶画面の上に直接、本や書類などを置いたままにして長時間圧力がかかった状態にしないでください。表示がにじんだり破損の原因になります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

長時間使用した場合に、本体が熱くなることがあります。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
周囲温度が高い場所では、特にご注意ください。
また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。故障の原因になります。

この製品には磁石が埋め込まれています。
磁気に弱いカード類（テレフォンカードや定期券など）を磁石の周囲に近づけないようにしてください。
カード類などに記録されているデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

この製品は、日本国内での使用を目的に設計されています。
海外へ持ち出される際は、各国の法令や通信環境などをご確認のうえ、必要に応じて通信機器をオフにするなどの対応をお願いします。
また、同梱の AC アダプターも日本国内での使用を目的に設計されています。海外で AC アダプターを使用したことに起因するトラブルに関して、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●内蔵カメラについて

・レンズに直射日光があたらないようにしてください。直射日光があたる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
・大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

●AC アダプター端子/ USB 端子/カードスロットなどについて

・AC アダプター端子/ USB 端子や microSD カードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記憶内容の消失の原因になります。
・カバーがある端子は、使用していない場合、カバーを閉じてください。

●液晶表示について

・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
・画面をタップするときは、鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものを使わないでください。

●公衆の場で使用するときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。

●ハンドストラップについて

ハンドストラップ取り付け穴には、付属のハンドストラップまたは携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。市販のハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどハンドストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

著作権等に関するお願い

音楽用 CD 等各種 CD、TV 映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、この製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

● GPS 機能をお使いになるとき

・この製品の故障、誤動作などによって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸しためたに生じた損害などにつきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・この製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・高精度の測量用 GPS としては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・GPS は米国国防省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPS の電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
・GPS は、人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
　・建物の中や直下
　・ビル街や住宅密集地
　・高圧線の近く
　・かばんや箱の中
　・地下やトンネル内
　・密集した樹木の中や下
　・自動車、電車などの室内
　・大雨、雪などの悪天候
　・周囲に障害物（人や物）がある場合
　・この製品のハンドストラップ取り付け穴の周辺を手で覆い隠すように持っている場合

Bluetooth およびワイヤレス LAN に関するご注意

・電波法に基づく適合証明について

この製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、この製品を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。
ただし、下記のことは行わないでください。法律に罰せられることがあります。
・この製品に内蔵の Bluetooth モジュールおよびワイヤレス LAN モジュールを分解、改造する
・この製品の銘板をはがす
・Bluetooth およびワイヤレス LAN 搭載機器が使用する周波数帯は、この製品に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

「2.4」：使用する周波数帯域を表します（2.4GHz 帯）。
「FH/DS/OF」：変調方式を表します（FH-SS 方式／ DS-SS 方式／ OFDM 方式）。
「1」：想定される与干渉距離を表します（約 10m）。
「4」：想定される与干渉距離を表します（約 40m）。
「━:━:━」：2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを表します。
「━ ━ ━」：2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

・**電波干渉に関するご注意**

この製品の Bluetooth およびワイヤレス LAN の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この製品の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、またはこの製品の運用を停止してください。
3. 医療機器（心臓ペースメーカ）などの動作に影響を与える場合がありますので、病院内などにいる時や、混雑した場所（満員電車の中など）では、Bluetooth およびワイヤレス LAN を無効にしてください。

・**使用上のご注意**

この製品の Bluetooth およびワイヤレス LAN は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

ご注意

- **この製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けています。**
- **この製品に付されている表示は、その証明マークです。**
- **表示マークの付された製品を許可無しに改造して使用することはできません。**
  改造すると法律により罰せられます。

Bluetooth についてのお願い

・この製品は、Bluetooth を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth を使用した通信を行う際にはご注意ください。

・Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・この製品で Bluetooth を使う場合、他のワイヤレス LAN 機器と 10m 以上離してください。10m 以内に他のワイヤレス LAN 機器がある場合は、ワイヤレス LAN 機器の電源を切ってください。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して、この製品とワイヤレスアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**

　　悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　・ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　・メールの内容
　　などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- **不正に侵入される**

　　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　　・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
ワイヤレス LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※他社製のワイヤレス LAN 機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のワイヤレス LAN のセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Excel Mobile、Windows Live、PowerPoint Mobile、OneNote Mobile、Windows、Windows Media、Windows ロゴ、MSN ロゴ、Office ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Bluetooth® is a registered trademark of the Bluetooth SIG, Inc.
  The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- この製品では、株式会社アプリックスが Java™ アプリケーションの実行速度が速くなるように設計した JBlend™ が搭載されています。
  Powered by JBlend™. Copyright 1997-2008 Aplix Corporation.
  All rights reserved.
  JBlend および JBlend に関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
  Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

- microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

- Flash、Flash Lite および Macromedia は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの商標です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

W+Info で使用している「HTML パーサ・ライブラリ」は以下の「変更済み BSD ライセンス」に従います。

- IrDA®、IrMC™ は、Infrared Data Association® の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Windows Mobile 6.5 エンドユーザー使用許諾契約書
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項
WINDOWS MOBILE 6 SOFTWARE

本ライセンス条項は、お客様とシャープ株式会社（以下「会社」といいます）との契約を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。これらのライセンス条項は本デバイスに含まれる本ソフトウェアに適用されます。本ソフトウェアには、本ソフトウェアが記録された別の媒体も含まれます。
本デバイスのソフトウェアには、会社によって許諾されたマイクロソフトまたはその子会社のライセンス ソフトウェアが含まれています。
また、本ライセンス条項は、以下の製品にも適用されます。
・更新プログラム
・追加ソフトウェア
・インターネットベースのサービス
・サポート サービス
ただし、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合は、当該ライセンス条項が適用されるものとします。

以下に説明するように、一部の機能を使用することにより、インターネットベースのサービスのために特定のコンピュータ情報を送信することにお客様が同意されたものとします。
本ソフトウェアを使用することにより、本デバイス上での使用を含め、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアをデバイス上で使用することはできません。この場合、会社に問い合わせて、お支払いいただいた金額の払戻しに関する方針を確認してください。
注意：本ソフトウェアに音声操作テクノロジが含まれている場合、本ソフトウェアの操作にユーザーは注意を払う必要があります。運転中に道路への注意を怠ると、事故または他の重大な結果を引き起こす可能性があります。偶発的であっても、肝心なときに運転への注意を怠ることは、短い間でも危険です。会社およびマイクロソフトは、運転中もしくは自動車の操作中の本ソフトウェアの使用が合法的、安全であったり、推奨または意図されていることの表明、保証、または他の判定を一切行いません。

お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下が許諾されます。

1. **使用に関する権利。**

お客様は、本ソフトウェアを取得したデバイスで本ソフトウェアを使用できます。

2. **追加の許諾条件および使用制限。**
   a. **固有の使用。**会社は、本デバイスを特定の目的で使用するために設計しました。お客様は当該使用目的に限り本ソフトウェアを使用できます。
   b. **対象となるマイクロソフト製プログラムおよび追加の必須ライセンス。**以下に該当する場合を除き、本使用許諾契約書の条項は、本ソフトウェアに含まれるすべてのマイクロソフト製プログラムに適用されます。これらのプログラムのいずれかに付属するライセンス条項によって、本ライセンス条項との間に明白な不一致がないその他の権利がお客様に付与される場合、お客様はそれらの権利も有します。
      i. 本契約書は、Windows Mobile Device Center、Microsoft ActiveSync、または Microsoft Outlook 2007 評価版に関する権利を許諾するものではありません。これらの製品には別途固有の使用許諾が適用されます。
   c. **音声認識。**本ソフトウェアに音声認識コンポーネントが含まれている場合、お客様は、音声認識は本質的に統計的な処理であること、認識の際の誤りはその処理において内在するものであることを了解するものとします。会社、マイクロソフトおよびその供給者は、音声認識処理の誤りから生じた損害については一切責任を負いません。
   d. **電話機能。**本デバイス ソフトウェアに電話機能が含まれている場合、本デバイス ソフトウェアの一部または全体は、お客様が無線テレコミュニケーション業者（以下「モバイル オペレータ」といいます）とサービス契約を締結もしくは維持していない場合、もしくはモバイル オペレータのネットワーク設備が停止中、あるいは本デバイスを利用するように構成されていない場合、利用できないことがあります。
3. **使用許諾の適用範囲。**本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本契約は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を付与します。会社およびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用法によりこの権利を超越した権利が与えられる場合を除き、お客様は本契約書で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、本ソフトウェアに組み込まれた使用方法を制限する技術的制限に従うものとします。次の行為は一切禁止されています。
   - 本ソフトウェアの技術的な制限を回避して使用すること
   - 本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること
   - 本契約書に指定される数を超えて本ソフトウェアの複製を作成すること

・第三者が複製できるように本ソフトウェアを発行すること
・本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること
・本ソフトウェアを商用ソフトウェア ホスティング サービスで使用すること

本契約書で定められている場合を除き、任意のデバイス上で本ソフトウェアにアクセスする権利は、当該デバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスに関するマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利をお客様に付与するものではありません。

お客様は、Remote Desktop Mobile などのリモート アクセス技術を使用して、コンピュータまたはサーバーから本ソフトウェアにリモート アクセスすることができます。他のソフトウェアにアクセスするプロトコルの使用に必要なライセンスの取得にはお客様が責任を負うものとします。

4. **インターネットベースのサービス。**マイクロソフトは、本ソフトウェアと共にインターネットベースのサービスを提供します。マイクロソフトは随時このサービスを変更または中止できるものとします。

 a. **インターネットベースのサービスに関する同意。**本ソフトウェアには、以下に説明するインターネットを経由してマイクロソフトのコンピュータ システムに接続する機能が含まれます。接続が行われる際、通知が行われない場合があります。これらの機能の一部を解除することも、使用しないことも選択できます。この機能に関する詳細については、http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=81931 をご参照ください。

 これらの機能を利用することで、お客様はマイクロソフトがこれらの情報を収集することに同意されたものとします。マイクロソフトはこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。

 デバイス情報。以下の機能はインターネット プロトコルを使用しており、お客様の IP アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのデバイス情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースの複数のサービスを提供するためにこれらの情報を利用します。

 - **Windows Mobile Update 機能**。Windows Mobile Update 機能には、更新プログラムが使用可能な場合、ソフトウェアの更新プログラムを取得してお客様のデバイスにインストールすることができます。お客様は、この機能を使用しないことも選択できます。会社やお客様のモバイル オペレータは、この機能もしくはお客様のデバイスの更新をサポートしていない場合があります。
 - **Windows Media Digital Rights Management。**コンテンツ所有者は、著作権を含む知的財産権を保護する目的で、Windows Media Digital Rights Management (WMDRM) 技術を使用しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェアは、WMDRM で保護されたコンテンツを再生、複製する際に WMDRM を使用します。本ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者がマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツを WMDRM を使用して再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう要請することがあります。無効にされた場合も、その他のコンテンツは影響を受けません。保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードする際、お客様はマイクロソフトがライセンスに失効リストを含めることに同意したものとします。コンテンツ所有者は、お客様がこれらのコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することがあります。WMDRM を含むマイクロソフト ソフトウェアは、アップグレードに先立ってお客様の同意を求めます。アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。

 b. **インターネットベース サービスの不正使用。**お客様は、これらのサービスにダメージを及ぼす可能性のある方法、または第三者によるサービスの使用を妨げる方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不当なアクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。

5. **MPEG-4 映像標準に関する注意。**本ソフトウェアには、MPEG-4 画像解読テクノロジが含まれる場合があります。この技術は、映像情報のデータ圧縮のためのフォーマットです。この技術については、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

 MPEG-4 映像標準に準拠して本製品を使用することは、以下の場合に直接関連する場合を除き、全て禁止されています。(A) (i) 事業活動に従事しない消費者より作成され、無償で取得されたデータまたは情報を、(ii) 個人使用の目的のみで使用する場合、及び (B) MPEG LA, L.L.C. により別途特定のライセンス許諾を受けたその他の使用による場合。

 MPEG-4 映像標準に不明な点があれば、MPEG LA, L.L.C. (所在地 : 250 Steele Street, Suite 300, Denver, CO 80206、Web サイト : www.mpegla.com) にご連絡ください。

6. **デジタル証明書。**本ソフトウェアは X.509 フォーマットのデジタル証明書を使用します。これらのデジタル証明書は認証に使用されます。

7. **接続ソフトウェア。**お客様のデバイス パッケージに Windows Mobile Device Center または Microsoft ActiveSync ソフトウェアが含まれている場合、お客様はソフトウェアに付属のライセンス条項に従ってソフトウェアをインストールして使用できます。ライセンス条項が添付されていない場合は、

1 台のコンピュータに本ソフトウェアの複製 1 部のみをインストールして使用することができます。

8. **ネットワーク アクセス。**お客様が企業ネットワークなどのネットワークを使用する場合、ネットワーク管理者によってデバイス上の機能が制限される場合があります。

9. **製品サポート。**サポート方法については、会社にお問い合わせください。サポートの連絡先については本デバイス付属の文書をご参照ください。

10. **第三者の Web サイトへのリンク。**本ソフトウェアが第三者の Web サイトへのリンクを提供する場合、リンクはお客様への便宜を図る目的でのみ提供されます。リンクを埋め込んだとしても、マイクロソフトが第三者の Web サイトを推奨することを意味するわけではありません。

11. **バックアップ用の複製。**お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用の複製を 1 部作成することができます。バックアップ用の複製は、お客様が本ソフトウェアを本デバイスに再インストールする場合に限り使用することができます。

12. **ライセンスの証明。**お客様が本ソフトウェアを本デバイスにインストールされた状態、CD-ROM またはその他の媒体で入手された場合、本ソフトウェアが正当に許諾されたものであることは、正規のマイクロソフト「Certificate of Authenticity」ラベルが正規の本ソフトウェアに付属していることをもって識別することができます。正規のラベルはデバイス上もしくは会社のソフトウェア梱包に貼付されている必要があります。ラベルが別途付属する場合は、無効とみなされます。お客様が本ソフトウェアの使用許諾を受けていることを証明するため、ラベルが貼付されたデバイスもしくは梱包材を保管してください。正規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、http://www.howtotell.com をご参照ください。

13. **第三者への譲渡。**お客様は、本ソフトウェアを、本デバイス、Certificate of Authenticity ラベル、および本契約書と一緒にのみ、第三者に直接譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲受人は本ライセンス条項が、譲渡および本ソフトウェアの使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用の複製を含む本ソフトウェアの複製を一切保持することができません。

14. **非フォールトトレラント。**本ソフトウェアは、フォールトトレラントではありません。会社は、本ソフトウェアを本デバイスにインストールし、本デバイスでの本ソフトウェアの実行に責任を負います。

15. **使用の制限。**マイクロソフト ソフトウェアは不具合に対して自動的に対応できる機能または性能を持たないシステムを対象にしています。お客様は、万一誤作動した場合に人身傷害もしくは死亡につながる可能性のあるデバイスまたはシステムでマイクロソフト ソフトウェアを使用することはできません。使用の制限には、原子力施設の操業、航空機の航行、通信システム、および航空管制が含まれます。

16. **本ソフトウェアの保証なし。**本ソフトウェアは、何ら保証のない現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使用から生じるリスクは、お客様が負うものとします。他の明示的な保証または条件は規定いたしません。本デバイスもしくは本ソフトウェアに関する保証は、マイクロソフトまたはその子会社が負うことはなく拘束されるものではありません。法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示の保証について会社およびマイクロソフトは一切責任を負いません。

17. **責任の制限。マイクロソフトおよびその子会社の責任は、50 米ドル (US $50.00) を上限とする直接損害に限定されます。その他の損害(派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、または付随的損害を含みますがこれらに限定されません)に関しては、一切責任を負いません。**

    この制限は、以下に適用されるものとします。

    - **本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ(コードを含みます)または第三者のプログラムに関連した事項**
    - **契約違反、保証違反、無過失責任、または不法行為(適用法で許可されている範囲において)**
      マイクロソフトがこのような損害の可能性について知らされていた場合も制限が適用されるものとします。上記の制限は、一部の国では付随的、派生的、およびその他の損害の免責、または責任の制限が認められないため、適用されない場合があります。

18. **輸出規制。**本ソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法を遵守することに同意されたものとします。これらの法律には、輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによる使用に関する制限が含まれます。詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご参照ください。

取扱説明書の表記

ボタンやキーの表記

・画面上のメニューやボタンなど………………… ・ メニュー などと表記します。
・パネルのキー …………………………………………… ・『 キー』などと表記します。
・カーソルキーは、『(カーソル)キー』と表記します。
・アクションキーは、『(アクション)キー』と表記します。
・ダイヤルキー ・『1 キー』などと表記します。

操作手順の表記

この製品を操作するには、次の 2 つの方法があります。
・画面をタップして操作する。
・キーを押して操作する。
※主に縦表示の場合を説明しています。

マーク

MEMO ………… 補足的なことを説明しています。

ご注意 ………… 注意していただきたいことを説明しています。

☞ ………………… 参照する取扱説明書のページを指しています。

表示画面

・ 本書に記載されている画面例は、縦表示のものを掲載しています。
・ 本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。
※この取扱説明書に記載しているお問い合せ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2009 年 10 月現在のものです。

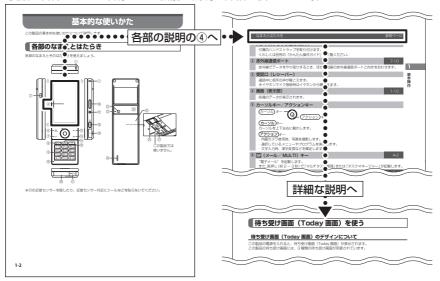
説明が 1 ページ内に収まらない項目

項目によっては、手順が 1 ページ内に収まらず、次のページに続けて説明しています。次のページに手順がないかを確認しながらお読みください。

本書の引きかた

「もくじ」や「さくいん」以外でも、次の方法で目的の内容を探すことができます。

この製品の各部の名称から探す　1-2~5ページ

この製品の各部のキーや名称から、機能の説明や詳細な使いかたを探すことができます。

各種アイコンから探す　1-28~30ページ

設定画面に表示されている着信音やバックライトの設定などのアイコンなどから、探すことができます。

本書以外から探す

本書で説明している以外のプログラムやわからないこと、困ったときの解決策を探すことができます。

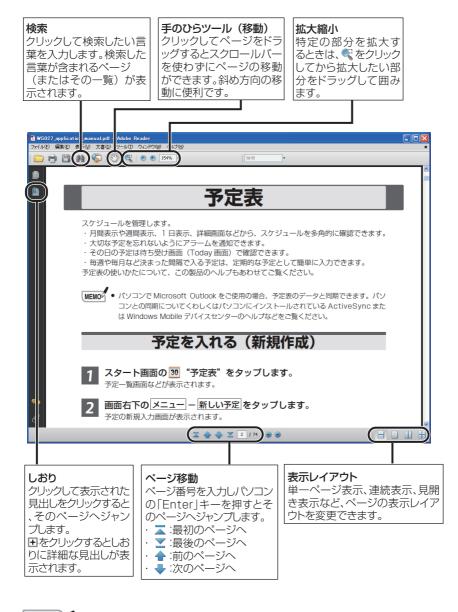
ホームページに掲載しているアプリケーションマニュアルから探す

ホームページ（http://wssupport.sharp.co.jp/manual/）に、以下のプログラムの詳細をアプリケーションマニュアル（PDF 形式の電子マニュアル）として掲載しています。

アプリケーション

- ・予定表
- ・仕事
- ・Word Mobile
- ・PowerPoint Mobile
- ・文字入力のしかた（入力パネル）
- ・アラーム
- ・連絡先
- ・メモ
- ・Excel Mobile
- ・OneNote Mobile
- ・NAVITIME
- ・区点コード一覧

Adobe Reader LE
など

パソコンでアプリケーションマニュアルをお読みになるには、パソコンに Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader がインストールされている必要があります（Adobe Acrobat Reader5.0 以上を推奨）。

MEMO

- お使いの Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader のバージョンによって、アイコンの形状や表示位置が異なります。アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンの機能が表示されます。
- くわしい使いかたは、Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

この製品の使いかた（ヘルプ）から探す

この製品に内蔵されているプログラムの操作方法はヘルプで確認できます。

1 スタート画面の ❓ “ヘルプ”をタップします。

2 見たい項目をタップします。

① タップするとその項目のヘルプが表示されます。

② タップすると検索画面が表示され、検索したい語句を入力して検索できます(☞1-51ページ)。

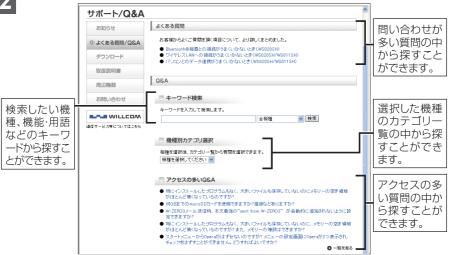
③ タップするとヘルプの全目次が表示されます。

④ ◀ をタップすると、これまで表示したヘルプ画面をさかのぼって表示します。
▶ をタップすると、さかのぼったヘルプ画面を元の画面に戻します。

ホームページの Q&A から探す

この製品のホームページから探すことができます。

1 この製品のホームページ (http://wssupport.sharp.co.jp/qa/) を表示します。

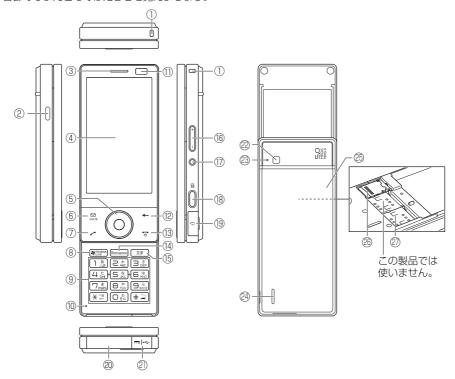
2 次のような方法でわからないことや困ったことを探します。

記載されている画面例は、実際の画面と異なります。

1章　基本操作

基本的な使いかた

この製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとそのはたらきを覚えましょう。

※⑪の近接センサーを隠したり、近接センサー付近にシールなどを貼らないでください。

なまえとはたらき	参照ページ

① ハンドストラップ取り付け穴

付属のハンドストラップを取り付けます。
くわしくは別冊の「かんたん操作ガイド」をご覧ください。

② 赤外線通信ポート　7-10

赤外線でデータをやり取りするとき、ほかの機器の赤外線通信ポートと向きを合わせます。

③ 受話口（レシーバー）

通話中に相手の声が聞こえます。
※イヤホンマイク接続時はイヤホンから聞こえます。

④ 画面（表示部）　1-10

各種のデータが表示されます。

⑤ カーソルキー／アクションキー

カーソルキー
カーソルを上下左右に動かします。

アクションキー
・内蔵カメラ使用時、写真を撮影します。
・選択しているメニューやプログラムを実行します。
・文字入力時、漢字変換などを確定します。

⑥ （メール／ MULTI）キー　4-2

“電子メール”を起動します。
また、長押し（約 2 ～ 3 秒）で「マルチタスク管理」または「タスクマネージャー」が起動します。
WILLCOM UI を起動しているときは、WILLCOM UI の E メール機能が、WILLCOM UI が起動していないときはメール（Outlook）が起動します。

⑦ （通話）キー　3-2

電話をかけるときや電話を受けるときに使います。
待ち受け画面（Today 画面）や文字入力中にこのキーを押すと、“電話”が起動し電話番号の入力ができます。

⑧ （Windows Live）キー　8-11

マイクロソフト株式会社のインターネット総合サービス「Windows Live」に接続します。

⑨ ダイヤルキー

電話番号や文字を入力できます。ダイヤルキーの割り当てについては、1-35 ページをご覧ください。

⑩ 送話口（マイク）

自分の声をここから伝えます。

⑪ 近接センサー

通話中、近接センサーに顔の一部が近づくと画面へのタップ（入力）を禁止します（通話中に誤った入力を防ぐためのものです）。
近接センサーから離すと、通話中でも画面へのタップ（入力）が可能になります。この設定は変更することができます（☞ 9-11 ページ）。

⑫ （OK）キー

OK または × をタップするのと同じはたらきをします。

⑬ （終話／電源）キー 3-2

・通話中の電話を切ったり、インターネット接続を切断します。
・キーを長く（約２～３秒）押すと、電源の入／切ができます。
※キーロック中（☞1-6ページ）、節電状態または画面の電源が切れている状態でこのキーを押すと画面が表示されます。ただし、キーロックがかかっていますので、他のキーを押しても動作しません（キーロックを解除してください）。
・表示しているプログラムなどを消して、待ち受け画面（Today画面）に戻ります。

⑭ Backspace（バックスペース）キー

電話番号や文字を入力中にこのキーを押すと、カーソルの前（左側）の文字を削除します。また漢字変換中は、変換を取り消します。

⑮ 文字（文字）キー 1-34

ダイヤルキーの文字入力モードを切り替えます。
このキーを押して、表示された画面で文字入力モードを選択します。

⑯ ボリュームキー

音量を調節します。

⑰ 画面回転キー

画面を縦表示から横表示へ切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えます。
※使用するプログラムや操作している画面によっては、横表示に対応していません。この場合は、縦表示に切り替えてご使用ください。

モーションセンサーについて
この製品には、モーションセンサーがあります。
手に持っているときの傾きなどによって、縦表示や横表示に自動的に切り替わるようにできます（☞9-10ページ）。

⑱ カメラ起動／シャッターキー 6-3

“カメラ”を起動します。
“カメラ”起動中は、シャッターキーとしてはたらきます。

⑲ イヤホンマイク端子（平型）

イヤホンマイクなどを接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑳ W-SIMスロット 10-10

W-SIMを装着します。
通常はカバーで覆われています。交換時はカバーを開きます。

㉑ ACアダプター端子／USB端子 1-7

付属のACアダプター（EA-84）または付属のUSBケーブルを接続します。
他のACアダプターは接続しないでください。故障の原因になります。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉒ 内蔵カメラ 6-3

写真を撮影します。

㉓ カメラランプ

カメラ機能がはたらいているときに点灯します。

㉔ スピーカー

着信音や“予定表”のアラーム、再生している音楽が鳴ります。
※イヤホンマイクを接続しているときは、イヤホンから聞こえます。
音量を上げる（最大にする）と音割れする場合があります。

⑳ **充電池ぶた** 10-2

このふたを外し、充電池の取り外しやフルリセットをします。

㉖ **microSD カードスロット** 1-46

動作確認済みの microSD カードを装着します。

㉗ **USIM カードスロット** 10-11

USIM カードを装着します。

Xcrawl の LED 表示について

① **未読メール／不在着信ランプ：青色に点滅**

・未読のメール／ライトメールまたは不在着信があることを示します。

② **ワイヤレス LAN ランプ：青色に点灯**

・ワイヤレス LAN がオン（有効）になっていることを示します。

③ **アプリケーション起動ランプ：赤色に点灯**

・キーロック（☞ 次ページ）をして、画面が消えていても通信中であることを示します。

④ **充電ランプ（AC アダプター接続時）**

赤色に点灯：充電中であることを示します。
赤色に点灯していると電源を入れることができます。

緑色に点灯：満充電であることを示します。

赤色に点滅：充電池の残量がないため、本体の電源が入らないことを示します。
赤色の点灯に切り替わったら電源を入れることができます。

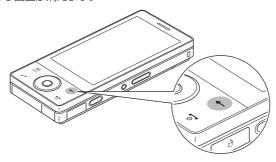
赤色と緑色が交互に点灯：充電池の温度が低すぎるか高いため、一時的に充電を停止したことを示します。

次のような場合、Xcrawl の周囲を光が回転します。
電話着信中、ライトメール送信中／受信中など

キーロックする

誤って画面をタップしたりキーが押されたりしても、動作しないようにできます。
キーロックするには、キーを使う方法とスタート画面を使う方法があります。

キーを使ってキーロックする

1 **[←]キーを長く（約２～３秒）押します。**
節電状態になり画面が消えます。

スタート画面を使ってキーロックする

1 **[スタート]をタップし、画面左下の[ロック]をタップします。**

キーロック中は

キーロック中は、キーを押したり画面をタップしても動作しません。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

キーロックを解除する

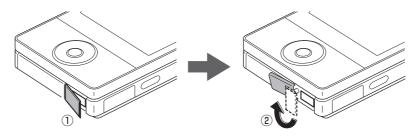
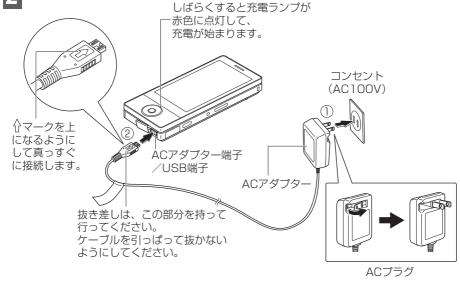
1 **[⏻]キーを押します。**
画面が点灯します。

2 **画面のアイコンをタップしたまま左右どちらかにスライドします。**

このアイコンをスライドします。

充電する

この製品を使用中に充電池が消耗したときは、すぐにこの製品の専用充電器である付属の AC アダプター（EA-84）を使って充電池を充電してください（他の AC アダプターは使用しないでください）。

1 **AC アダプターのカバーを開きます。**
カバーの左下から図（①）のようにし、カバーを回転させます（②）。

2 **下図のように①、②の順で、AC アダプターを接続します。**

3 **満充電になると、充電ランプが緑色になり、充電が完了します。**
節電状態で満充電になるまでに、通常、常温 25℃で約 4.5 時間かかります（充電池の残量や周囲温度によって変わります）。
この製品を使用しながら充電を行うと、満充電になるまでには長い時間がかかります。その他、充電について次ページのメモもご覧ください。

4 **AC アダプターをこの製品の端子から抜き、コンセントから取り外します。**

- AC アダプターをコンセントから抜くときは

・AC アダプターの上部を持って図の矢印方向に抜いてください。

- AC アダプターについて

・必ずこの製品に付属の AC アダプター（EA-84）を使用してください。
・AC アダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。AC アダプターおよび本体が故障することがあります。

MEMO

- 充電は、周りの温度が 5 ～ 35℃の場所で行ってください。5℃より低い、または 35℃より高い場所では、充電時間が長くなったり、充電を停止したりすることがあります。
- 充電ランプが赤色と緑色に交互に点灯しているときは、充電を停止していることを示します。
  この場合は、いったん本体の充電をやめて、周りの温度が 5 ～ 35℃の場所へ移動してください。
  特に本体の温度が高い場合は、本体の温度が下がるまで充電は避けてください。
- 充電は満充電になるまで行ってください。
- 長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より多くの時間がかかります。
- 充電池については、10-6 ページをご覧ください。
- 充電中にこの製品や AC アダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。
- AC アダプターを接続したときに、充電ランプが赤色に点滅している場合、充電池が放電しきっていて、本体の電源をオンにできない状態にあります。
  この場合、本体の電源をオンにできるまで、約 1 時間充電してください。
  充電ランプが赤色の点灯に切り替わったら、電源を入れることができます。
  充電中、赤色の点滅が消灯した場合、充電池または本体に異常があることが考えられます。
  充電池を取り外して、修理をお申し付けください。(「アフターサービスについて」10-39 ページ)
- 充電ランプが点灯しない場合、充電池が取り付けられていないことが考えられます。充電池が取り付けられているか確認してください。
- AC アダプターを接続した状態で（充電しながら）本体を使用すると、充電に時間がかかります。
  長時間充電が完了しない場合、充電を停止し充電ランプが消灯することがあります。
  このときは、本体の使用をやめ、AC アダプターを接続し直して、節電状態にしてから、満充電（充電ランプが緑色に点灯）になるまで充電してください。
- 節電状態やバックライト消灯状態のときに AC アダプターを抜き差しすると、それぞれの状態から復帰して画面が点灯します。

電源を入れる／切る

1 ［電源キー］キーを長く（約２～３秒）押します。

2 電源が入り、待ち受け画面（Today 画面）が表示されます。

3 電源を切るときは、［電源キー］キーを長く（約２～３秒）押します。

MEMO

- 充電池が消耗して電源が切れた後に、付属の AC アダプターを接続しても電源が入らないことがあります。充電ランプが赤色に点滅します。
  約 1 時間充電して、赤色の点灯に変わるまでお待ちください。
- （充電池を交換したときなど）電源が入らないときは、フルリセットしてみてください
  (☞ 10-2 ページ)。

モーションセンサーについて

この製品には、モーションセンサー機能があります。
手に持っているときの本体の傾きなどによって、画面の表示が縦表示や横表示に自動的に切り替わります。
センサー機能のオン／オフの切り替えは、9-10 ページをご覧ください。
センサー機能がオフのときや自動的に切り替わらないときは、本体側面の画面回転キーを押して切り替えてください。
※アプリケーションによっては、縦表示のみでのご利用となります。

待ち受け画面（Today 画面）を使う

待ち受け画面（Today 画面）の見かた

待ち受け画面には、電波状態、充電池残量やマナーモードなどの状態、メール／ライトメールの未読件数などが表示されます。

① **スタート**

タップするとスタート画面が表示され、プログラムを起動したり（☞ 1-31 ページ）、設定画面を開いたりできます。

② **タイトルバー**（☞ 1-23 ページ）

電波状態、ネットワーク接続中／通話中などを示すアイコンなどが表示されます。

③ **プログラム起動バー**（☞ 1-12 ページ）

メールの未読件数や不在着信の有無、Bluetooth の ON ／ OFF 状態などが表示されます。

④ **日付表示**

日付と時刻が表示されます。タップすると「日付／時刻設定」画面が表示され、日付／時刻を変更できます。

⑤ **W+Info**（☞ 1-21 ページ）

ウィルコムが提供する配信サービス「W+Info」で配信される記事や天気予報を見ることができます。

※「W+Info」から情報を受けるには、「W+Info」への登録が必要です。
W+Info は、このページに記載の待ち受け画面（Today 画面）でのみ起動できます。他の待ち受け画面（Today 画面）（☞ 9-2 ページ）に変更した場合、記事を見ることはできません。

⑥ **検索**

本体をスライドしてダイヤルキーを出すと、表示されます。

キーワードを入力してネット検索することができます。（アクション）キーを押すと、“Internet Explorer Mobile”が起動します。

⑦ **基本メニュー**（☞ 1-13 ページ）

よく使うアプリケーションや各種設定画面が表示されます。

Xcrawl や画面タップで、使いたい機能を選びます。

待ち受け画面（Today 画面）の操作について

待ち受け画面で、以下の操作をするときは、画面にカーソルがないことを確認してください。
画面にカーソルがあるときは、[⏻]キーを押して消してください。

(カーソル)キーの左を押す：着信履歴画面を表示します（☞ 3-8 ページ）。
(カーソル)キーの右を押す：発信履歴画面を表示します（☞ 3-8 ページ）。
(アクション)キーを押す　：メニューランチャを表示します（☞ 1-18 ページ）。
(カーソル)キーの下を押す：電話帳を表示します（☞ 3-38 ページ）。

MEMO

● **画面にカーソルがあるときの操作について**
左右の縦棒はカーソルを示します。
(カーソル)キーの上下左右を押すと、このカーソルが移動します。
(アクション)キーを押すと、カーソル位置の機能がはたらきます。

カーソル

プログラム起動バーについて

：**メールの未読件数表示**
タップすると、WILLCOM UI の E メール機能が起動します。

：**ライトメールの未読件数表示**
タップすると、“ライトメール”が起動します。

：**不在着信の件数表示**
タップすると、着信履歴画面が表示されます。

：**伝言メモの件数表示**
タップすると、伝言メモ画面が表示されます。

：**アラーム設定**
点灯しているときは、アラームがオンになっています。
タップすると、アラームの設定ができます。

：**ワイヤレス LAN の状態表示**
点灯しているときは、ワイヤレス LAN がオンになっています。
タップすると、オン／オフが切り替えられます。

：**Bluetooth の状態表示**
点灯しているときは、Bluetooth がオンになっています。
タップすると、オン／オフが切り替えられます。

3G：**インターネット接続方法表示**
インターネットに 3G（W-CDMA）で接続するか、PHS で接続するかが表示されます。
タップすると、3G と PHS が切り替えられます。
[!] が表示されている場合、インターネット接続の設定が 3G または PHS 以外に設定されています。
[!] をタップして接続設定を初期状態に戻すか、再度オンラインサインアップをすると 3G/PHS の切り替えができるようになります。

基本メニューを使う

本書では、ご購入時のデザインによる操作方法で説明しています。デザインは切り替えることができます（☞ 1-16 ページ）。デザインによって操作方法などが異なる場合があります。

1 **Xcrawl を回転し、表示したい項目を選択します。**
スタイラスで画面を左右になぞってもスクロールできます。

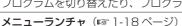
この部分を軽くなぞる

2 **(アクション)キーを押します。**
プログラムが起動します。

基本メニューの項目（①）について

E メール
“メール”が起動します。

電話帳（☞ 3-38 ページ）
“電話帳”が起動します。

マルチタスク管理（☞ 1-20 ページ）
プログラムを切り替えたり、プログラムを終了します。

メニューランチャ（☞ 1-18 ページ）
プログラムの起動やお気に入りのホームページを見ることができます。
プログラムの削除、移動などで自分の使いやすいメニューを作ることができます。

設定（☞次ページ）
着信音や壁紙など、各種の設定ができます。
スタート画面にある“設定”とは操作などが異なります。

発着信履歴（☞ 3-8 ページ）
電話の履歴画面が表示されます。

W+Info（☞ 1-21 ページ）
配信情報の一覧が表示されます。

MEMO

- 表示したい項目を選択後、(カーソル)キーの下を押すと、下の階層の項目（②）を選択できます。
  設定の場合、「音 / バイブ」「時計 / アラーム」などが選択できます。
  下の階層が表示されない項目もあります。
- 基本メニューは、ご購入時の待ち受け画面（Today 画面）でのみ使うことができます。
  他の待ち受け画面（Today 画面）（☞ 9-2 ページ）に変更した場合、使うことはできません。

設定画面を使う

待ち受け画面（Today 画面）から、着信音／音量／アラームや日付／時刻、マナーモードなどの設定ができます。ここで行う設定の項目は、スタート画面にある “設定” の中から、よく使うと思われるものをまとめています。

音／バイブ

電話着信音やＥメール／ライトメール受信音などの設定やバイブレータのオン／オフを設定します。

① 電話着信音、Ｅメール／ライトメール受信音などを設定します。
音選択 をタップし、音選択画面を表示します。音選択画面で 電話着信音 などをタップし、表示された画面で着信音を選択します。

② 音量設定 をタップし、音量設定画面を表示します。
音量設定画面で 受話音量 などをタップし、表示された画面で音量を設定します。

③ バイブレータのオン／オフを設定します。
右の画面例はオンになっています。

④ 元の画面に戻ります。

時計／アラーム

日付と時刻の設定やアラームの設定を行います。

① 日付／時刻設定 をタップし、表示された画面で日付と時刻を設定します。

② アラーム をタップし、表示された画面でアラームのオン／オフやアラームの時刻、サウンドなどを設定します。

マナーモード

マナーモードのオン／オフや設定を行います。

① モード設定 をタップし、表示された画面でマナーモードを選択します。

② オリジナル設定 をタップし、表示された画面で設定（システム音や着信音などのオン／オフ）をします。
①で「オリジナル」を選択したときに設定します。

文字サイズ

文字サイズの設定を行います。

① 一括設定 をタップし、表示された画面で大、中、小の3段階から選択します。

② 電話帳 をタップし、表示された画面で大、中、小の3段階から選択します。

③ 発着信履歴 をタップし、表示された画面で大、小の2段階から選択します。
一括設定 で「中」を設定した場合、発着信履歴は「小」になります。

ワイヤレスマネージャー

W-SIM、W-CDMA、ワイヤレス LAN、Bluetooth などのオン／オフを設定します。

① 無線機能のオン／オフを設定します。
オンにすると、全ての無線機能がオフになります。

② W-SIM 機能のオン／オフを設定します。

③ W-CDMA のオン／オフを設定します。

④ ワイヤレス LAN のオン／オフを設定します。

⑤ Bluetooth のオン／オフを設定します。

キー割当

ボタンの設定やエニーキーアンサーなどの設定を行います。

①	ショートカットキー設定 をタップし、表示された画面で、ボタンの設定を行います。
②	エニーキーアンサーのオン／オフを設定します。

メール

「メール設定」が起動します。

テーマ

待ち受け画面の壁紙や待ち受け画面に表示する情報を設定します。

①	壁紙 をタップし、表示された画面で壁紙を選択します。
②	コンポーネント選択 をタップし、表示された画面で表示する情報にチェックを付けます。W+Info の配信情報（記事）の表示形式を切り替えたり、基本メニューのデザインを選択できます。
③	コンポーネント設定 をタップし、各種設定を行います。 コンポーネント設定画面では、次の設定が行えます。 ・検索バー：検索エンジンの設定などを行います。 ・時計：日付を表示する／しない、12 時間制／24 時間制の選択を行います。 ・Xcrawl Launcher：基本メニューに表示する（選択できる）項目を設定します。 ・W+Info：W ＋ Info の表示切替を設定します。

システム

・本体の初期化を行ったり、ファームウェアや W-SIM の情報を表示します。
・初期化にはパスワードが必要で、初期パスワードは半角数字の「0000」に設定されています。
・パスワードは、半角数字 4 文字のみ設定できます。
・初期化についての注意点は、「②完全消去する（フォーマット）」（☞ 10-5 ページ）をご覧ください。

ソフトウェアアップデート

WILLCOM UI のアプリケーションソフトウェアを更新します。

自番号表示

電話番号、オンラインサインアップで取得したメールアドレスなどを表示します。

電話機能

電話設定画面（☞ 3-18 ページ）が表示されます。
この画面から各種電話設定を行います。

メニューランチャを使う

メニューランチャは、よく使うプログラムや Internet Explorer のお気に入りなどのアイコンを集めて、すぐに起動できる画面です。
この画面に表示されているプログラムや Internet Explorer のお気に入りなどのアイコンをタップすると、プログラムが起動したり、設定画面が表示されます。
また、アイコンの表示／非表示や順番を入れ替えて、よく使うプログラムとしてまとめることができます。

1 **待ち受け画面（Today 画面）で(アクション)キーを押します。**
メニューランチャが表示されます。

MEMO

- メニューランチャが表示されないときは、待ち受け画面（Today 画面）にカーソルがないことを確認してください。カーソルがあるときは、[⏻]キーを押して消してください。

2 **(カーソル)キーなどで、画面をスクロールしてアイコンをタップすると、プログラムが起動します。また、画面右下の部分をタップすると、スクロールボタンが表示されます。**
スタイラスで画面を上下になぞってもスクロールできます。

メニューランチャの項目を追加する

・一度、メニューランチャから削除したプログラムのみ追加することができます。
・Internet Explorer のお気に入りも追加することができます。

1 **メニューランチャ画面で、画面右下の[メニュー]－[新規追加]をタップします。**

2 **表示された画面で、追加する種類をタップします。**

3 **表示された画面で、追加する項目をタップします。**
追加した項目が、メニューランチャに表示されます。

メニューランチャの項目を並べ替える

1 **メニューランチャ画面で、画面右下の メニュー － 移動 をタップします。**
メニューランチャの移動画面が表示されます。

2 **表示された画面で、移動する項目をタップしたまま、移動先まで動かします。**
移動した項目と、移動先の項目が、入れ替わります。
他に移動したい項目があるときは、操作を続けます。

3 **画面右下の 移動終了 をタップします。**

メニューランチャの項目を削除する

1 **メニューランチャ画面で、画面右下の メニュー － 削除 をタップします。**
メニューランチャの削除画面が表示されます。

2 **削除したい項目をタップします。**
タップしたアイコンに、チェックが付きます。

3 **続いて削除するときは、削除したいアイコンをタップします。**

4 **画面右下の 確定 をタップします。**

5 **確認画面で、 はい をタップします。**

プログラムを切り替えたり終了する（マルチタスク管理）

マルチタスク管理を使うと、起動しているプログラムを切り替えて画面に表示したり、プログラムを終了したりすることができます。

1 待ち受け画面（Today 画面）の基本メニューで“マルチタスク管理”をタップします。

[MULTI] キーの長押し（約２～３秒）でもマルチタスク管理の画面を表示することができます。

① 待ち受け画面に戻ります。
② メニューランチャを表示します。
③ 起動しているプログラムが表示されます。タップすると、そのプログラムに切り替わります。
④ 選択したプログラムを終了します。[選択終了] をタップし、終了したいプログラムにチェックマークを付け、画面右下の [確定] をタップします。
⑤ 起動しているすべてのプログラムを終了します。

MEMO

- 終了するプログラムの使用状況によっては、終了しないことがあります。
  この場合、アイコンが消えず表示されたままとなりますので、再度終了の操作をしてください。

W+Info を使って配信された情報（記事）を見る

ウィルコムが提供する「W+Info」という配信サービスを利用して、この製品で記事を見ることができます。
このサービスを利用するには、オンラインサインアップした後、再起動を行い自動的に表示される登録画面で登録を行ってください。くわしくは、別冊の「かんたん操作ガイド」をご覧ください。
登録を行うと、定期的に配信された情報が自動的に待ち受け画面（Today 画面）に表示されます。

1 待ち受け画面（Today 画面）を表示し、配信された情報（記事）の見出しをタップします。

① 画像、配信情報（記事）の見出しが表示されます。“設定”のテーマ設定から、配信情報（記事）の表示形式を切り替えることができます（☞ 1-16 ページ）。

2 配信情報の一覧表示画面になります。

① W+Info	：W+Info 配信設定で設定している配信情報（記事）が表示されます。
② お知らせ	：ウィルコムからのお知らせが表示されます。

3 見たい配信情報をタップします。

4 配信情報の 1 件表示画面になります。

① 内容を表示します。	
② サイト	：Web ブラウザが起動し、記事の内容を表示します。

5 カーソル キーの左右を押して、前や次の情報（記事）を表示します。

カーソル キーの左：前の記事を表示します。
カーソル キーの右：次の記事を表示します。

6 画面左下の 戻る をタップすると、一覧表示画面に戻ります。

7 一覧表示画面で 戻る をタップすると、待ち受け画面（Today 画面）に戻ります。

■ 一覧表示画面のメニュー

最新ニュースに更新	最新の情報に更新する。
ウィルコム公式サイト	Webブラウザが起動しウィルコム公式サイトへ接続する。
表示設定	待ち受け画面に表示される配信情報（記事）の切り替えオン／オフを設定する。
W+Info 配信設定	サーバーに接続し、情報配信の設定をする。

タイトルバーに表示されるアイコンについて

ここでは、主なアイコンについて説明しています。使用状態によっては、ここで説明していないアイコンが表示されます。

電波状態のアイコン

電波の受信状態をアイコンで表示します。

圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ←→ 弱

：通信／電話機能（W-SIM（PHS））の停止状態を示します（☞ 3-33 ページ）。

：W-SIM をロックしている状態を示します（☞ 3-24 ページ）。

：W-SIM がこの製品に装着されていません。

：リモートロック中を示します（☞ 3-26 ページ）。

W-CDMA 電波状態のアイコン

：USIM カードがこの製品に装着されていません。

：W-CDMA のエリア外または電波の届いていない場所にいます。

：W-CDMAのエリア内または電波の届く場所にいます。電波状態は、6段階で示します。

：通信中であることを示します。

H：USIM カードが装着されているときに表示されます。このアイコンをタップすると通信の切断ができます。

その他のアイコン

：システム音量を設定します。

：安全運転モードがオン（有効）になっています。

：マナーモードがオン（有効）になっています。

：伝言メモがオン（有効）になっています。

：パソコンと接続されており、同期できる状態を示します。

充電池残量のアイコン

充電池の残量が表示されます。

：ある程度残っています。

：少なくなっています。

：あまり残っていません。充電してください。

：ほとんど残っていません。充電してください。

充電池の残量は、パワーマネージメント画面（バッテリタブ）（☞ 9-11 ページ）でも確認できます。

：充電中を示します。

通話中／通信中のアイコン ／PT

：通話中であることを示します。

32PF、64BE、64GR、PT：W-SIM 通信中、通信方式が表示されます。

内蔵ワイヤレス LAN のアイコン

：内蔵ワイヤレス LAN がオン(有効)になっていることを示します(☞ 2-12 ページ)。

：アクセスポイントを検知していることを示します。

：アクセスポイントを介してネットワークに接続しています（☞ 2-16 ページ）。

内蔵ワイヤレス LAN を使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐためオフ（無効）にすることをおすすめします（☞ 2-16 ページ）。

アラームのアイコン

予定にアラームを設定しているとき、アラーム時刻になると表示されます。また画面下部にその予定の内容が表示されます。画面下部に表示された予定の内容を消すには、画面左下の [アラームを消す] をタップします。

スタート画面について

スタート をタップすると、スタート画面が表示されます。
スタート画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。
※右の画面例は、実際の画面とは異なることがあります。
また、ここで紹介していないプログラムが搭載されている場合があります。

MEMO

- スタート画面には多くのアイコンがあるため、場合によっては目的のアイコンが隠れていることがあります。目的のアイコンが見つからないときは、(カーソル)キーの下を押して画面をスクロールしてください。
- 参照先の「アプリケーションマニュアル」は、ホームページに掲載のアプリケーションマニュアルを表します(☞0-11 ページ)。

Today（☞ 1-10 ページ）
待ち受け画面（Today 画面）が表示されます。

電話（☞ 3-2 ページ）
電話をかけることができます。

電子メール（☞ 4-4 ページ）
インターネットを経由して、パソコンやウィルコムの電話機などとメールの送受信ができます。

連絡先（☞アプリケーションマニュアル）
住所や電話番号、メールアドレスなどを管理します。

Internet Explorer（☞ 5-2 ページ）
ホームページの閲覧ができます。

予定表（☞アプリケーションマニュアル）
打ち合わせや会議などのスケジュールを入力し管理できます。

設定（☞ 9-2 ページ）
設定関連のソフトがまとめられています。

画像とビデオ（☞ 6-8 ページ）
静止画の表示や編集、動画を表示することができます。

Windows Media（☞ 6-30 ページ）
ビデオファイルやオーディオファイルを再生できます。

Marketplace
マイクロソフト社が提供する Windows Mobile 用ソフトのダウンロードサービスです。プログラムの購入やアップデートが行えます。

Messenger（☞ 8-11）
登録しているメンバーとの間で、チャットができます。

Microsoft My Phone
マイクロソフト社が提供するオンラインストレージサービスです。データのバックアップや同期だけでなく、他のサービス利用者とデータの共有などが行えます。

Windows Live（☞ 8-11）
Windows Live メールを確認できます。

電卓
10 桁の四則計算ができます。

ゲーム
ゲームソフトが 2 つ入っています。

メモ（☞アプリケーションマニュアル）
スタイラスを使って画面に手書きしたり、文字を入力することができます。
また、自分の声などを録音しメモに貼り付けることもできます。

仕事（☞アプリケーションマニュアル）
期限を決めて仕事の管理ができます。

Office Mobile（☞アプリケーションマニュアル）
表計算ソフトなど、ビジネスソフトが 4 つ入っています。

エクスプローラー（☞ 8-7 ページ）
本体メモリや取り付けたメモリカード内のフォルダやファイルを表示できます。また、新規のフォルダを作成したり、ファイルの削除やコピーなどができます（ファイルをタップしたままにして表示されるメニューから「コピー」などを選択します）。

ActiveSync（☞アプリケーションマニュアル）
ActiveSync を使ってパソコンの Microsoft Outlook の仕事や予定表などと同期します。

インターネット共有（☞アプリケーションマニュアル）
この製品をネットワーク上のルーターとして利用できます。

タスクマネージャー
起動中のプログラムを終了します。

検索（☞ 1-51 ページ）
「My Documents」フォルダとそのサブフォルダ内のファイルを検索することができます。

ヘルプ
この製品の使いかたなどが表示されます。

Adobe Reader LE（☞アプリケーションマニュアル）
PDF ファイルを表示することができます。

カメラ（☞ 6-3 ページ）
静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影ができます。

MSN マネー
マイクロソフト社が提供する個人向け財務管理ソフトです。

MSN 天気予報
マイクロソフト社が配信する気象情報サービスをこの製品で表示できます。

Quick GPS
位置情報の認識を速くするため、サーバーからデータをダウンロードします。

Windows Update
重要なセキュリティの問題が発生したときにのみ使用します。

リモートデスクトップモバイル（☞ 7-14 ページ）
外出先から、会社などのパソコンに接続して、データを閲覧したり編集したりすることができます。

検索ウィジェット
インターネットの検索サイトを利用してキーワードの検索などが行えます。

NAVITIME（☞アプリケーションマニュアル）
地図検索や目的地までの乗換検索、時刻表の検索などができます。

無線 LAN ツール（☞ 2-17 ページ）
ワイヤレス LAN のアクセスポイントの情報を取り込んで接続先として登録します。

バーコード リーダ（☞ 6-14 ページ）
内蔵カメラを使って QR コードなどを読み取ることができます。

名刺リーダ（☞ 6-17 ページ）
内蔵カメラで、名刺の名前や住所の文字を読み取って“連絡先”に登録することができます。

コラム リーダ（☞ 6-20 ページ）
内蔵カメラを使って、原稿を撮影すると文字を読み取ることができます。

情報リーダ（☞ 6-23 ページ）
内蔵カメラで雑誌のお店情報などを読み取って電話番号などを“連絡先”に登録します。

データ交換（☞ 7-13 ページ）
他の WS027SH や WS020SH、WS011SH と自分の名前や電話番号などを交換できます。

ライトメール（☞ 4-23 ページ）
ウィルコムが提供するショートメールサービスです。

手描きチャット（☞ 4-45 ページ）
手描きの文字や絵、写真などを使ってチャットができます。

Windows Live ID サインアップ
Windows Live を使用するのに必要な Windows Live ID を作成できます。

Sprite Backup（☞ 8-2 ページ）
この製品に保存しているデータなどを microSD カードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）します。

PDF SHOT（☞ 6-26 ページ）
内蔵カメラで、ホワイトボードに書かれた内容を取り込んで PDF 化します。

JBlend（☞ 8-10 ページ）
Java アプリケーションを実行するための Java 実行環境です。ゲームなどの Java アプリケーションなどを利用できます。

コミック＆ブンコビューア
XMDF 形式の電子書籍やコミックを読むためのビューアです。

オンラインサインアップ
この製品でメールやインターネットをするのに必要な情報を設定します。

設定画面について

着信音や待ち受け画面など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。スタート画面の “設定” をタップすると、設定画面が表示されます。それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

Bluetooth（☞ 7-5 ページ）
Bluetooth の設定や接続する機器を検索したりします。

Today（☞ 9-2 ページ）
待ち受け画面（Today 画面）の背景（壁紙）が変更できます。

ロック（☞ 9-4 ページ）
パスワードを設定して、この製品を他人が使えないようにします。

時計とアラーム（☞ 9-5 ページ）
時刻やアラームを設定します。

音と通知（☞ 9-7 ページ）
画面をタップしたときの音や各種イベントの通知方法を設定します。

Microsoft My Phone
マイクロソフト社が提供するオンラインストレージサービスです。データのバックアップや同期だけでなく、他のサービス利用者とデータの共有などが行えます。

◇ 個人 フォルダ◇

WCDMA 通信
パスワードを設定して、USIM カードを他人に使われないようにします。電話に関する設定は、この製品では使えません。

電話（☞ 3-18 ページ）
着信音や呼び出し時間など、電話に関する設定をします。

オーナー情報（☞ 9-8 ページ）
自分の名前や住所を入力しておき、電源を入れたときに表示するようにできます。

ボタン（☞ 9-8 ページ）
画面回転キーなどに割り当てる機能や（カーソル）キーを押したときの動作開始などの設定をします。

入力（☞ 1-44 ページ）
手書き入力の詳細設定などをします。
単語登録は Microsoft IME 用になっていますので、この製品では使いません。

◇ システム フォルダ◇

WS027SH 情報（☞ 9-10 ページ）
ファームウェアのバージョン情報を確認できます。

モーションセンサー（☞ 9-10 ページ）
モーションセンサーの ON/OFF を設定します。
ON の場合、この製品を持つ向きに合わせて、画面の向きも自動的に回転します。

近接センサー（☞ 9-11 ページ）
近接センサーの ON/OFF を設定します。
ON の場合、通話中に顔の一部が近接センサーに近づくと、画面へのタップ（入力）を禁止します。

パワーマネージメント（☞ 9-11 ページ）
節電状態になるまでの時間などを設定します。

着信音量（☞ 3-18 ページ）
着信音の音量を調節します。

ボリューム（☞ 9-13 ページ）
スピーカーやイヤホンマイクなど、各種の音量を設定します。

Xcrawl（エクスクロール）（☞ 9-14 ページ）
この製品の状態を表わすランプの点灯／消灯を設定します。

エラー報告（☞ 9-14 ページ）
エラーが発生したときに、マイクロソフト社に内容を報告する／しないを設定します。

カスタマー フィードバック
ソフトウェアの改善のためにマイクロソフト社に情報を提供する／しないを設定します。

ケータイ Shoin（☞ 9-20 ページ）
ケータイ Shoin の設定を行います。

タスク マネージャー
起動しているプログラムを表示します。

バックライト（☞ 9-15 ページ）
バックライトの明るさや減光するまでの時間などを設定します。

バージョン情報（☞ 9-16 ページ）
この製品のバージョン情報などを確認できます。

プログラムの削除（☞ 9-17 ページ）
追加したプログラムを削除します。

メモリ（☞ 9-17 ページ）
この製品のメモリや装着しているメモリカードの使用状況が確認できます。

地域（☞ 9-18 ページ）
表示される数値の形式などを設定します。

外付け GPS
専用のプログラムを使ってこの製品で緯度や経度などの情報を表示するとき、外部 GPS 端末から緯度や経度などの情報を取得するための通信ポートや、この製品で動作する専用プログラムの通信ポートなどを設定します。

暗号化（☞ 9-18 ページ）

microSD カードに保存するときに、ファイルを暗号化して保存します。

画面（☞ 9-19 ページ）

タップ位置の補正や文字のサイズを設定します。

証明書（☞ 9-19 ページ）

個人証明、中間証明、ルート証明が表示されます。

◇［接続］フォルダ◇

PC への USB 接続

ActiveSync で同期する場合、接続の方式を設定します。

ドメインへの登録

会社のリソースなどへ接続するために、ドメインに登録します。

ビーム（☞ 7-11 ページ）

赤外線通信対応機器からのデータを受信する／しないを設定します。

ワイヤレスマネージャー（☞ 2-12 ページ）

W-SIM、内蔵ワイヤレス LAN や Bluetooth の通信機能を ON（有効）／ OFF（停止）にします。

接続（☞ 2-4 ページ）

設定や詳細設定タブから、インターネットなどのネットワークに接続する設定をします。

無線 LAN（☞ 2-10 ページ）

内蔵ワイヤレス LAN の設定を行います。

アプリケーションプログラムを起動／終了する

アプリケーションプログラムの起動は、次のようにします。
・スタート画面から起動する
・基本メニューから起動する（☞ 1-13 ページ）
・メニューランチャから起動する（☞ 1-18 ページ）

スタート画面から起動する

1 **画面左上の スタート をタップします。**

2 **スタート画面の “ライトメール” などをタップします。**

MEMO
● スタート画面には多くのアイコンがあるため、場合によっては目的のアイコンが隠れていることがあります。目的のアイコンが見つからないときは（カーソル）キーの下を押して画面をスクロールしてください。

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に ✕ や OK をタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。

■マルチタスク管理画面でプログラムを選択して終了します。

1 **マルチタスク管理画面を表示します。**
基本メニューの“マルチタスク管理”をタップ、または MULTI キーを長押し（約２～３秒）します。

2 **画面左下の 選択終了 をタップします。**

3 **終了したいプログラムをタップしてチェックマークを付けます。**
複数のプログラムを終了するときは、同じ操作を繰り返します。

4 **画面右下の 確定 をタップします。**

MEMO
● スタート画面の “設定” — “システム” — “タスクマネージャー” をタップし、終了したいプログラム名を選び、画面左下の タスクの終了 をタップしても、終了することができます。

ご注意
● **「このプログラムはビジー状態にあるか・・・」と表示されたときは**
プログラムの状態によっては、「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている…」というメッセージ（画面）が表示されることがあります。このようなとき、終了してもよければ、 タスクの終了 をタップします。ただし、このプログラムで保存していないデータは削除されますのでご注意ください。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、以下の内容をご覧になりデータ記憶用メモリやプログラム実行用メモリの不足を解消してください。

■データ記憶用メモリの不足を解消する

Web ブラウザを使っていろいろなホームページを閲覧していると画像データなどをキャッシュファイルとして一時保存します。キャッシュファイルがデータ記憶用メモリを使っていることが考えられます。プログラムをインストールしたり、大きなファイルを保存していないのにデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、5-7 ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。また、このメモリが不足すると縦表示と横表示の切り替えが遅くなることがあります。

■プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったり、“Adobe Reader LE”を使って PDF ファイルを正しく開けなかったり、縦表示と横表示の切り替えが遅くなったときなどは「プログラム実行用のメモリ」が不足していることが考えられます。

このようなときは、前ページの「アプリケーションプログラムを終了する」をご覧になり、終了するプログラム名を選択し、画面左下の 選択終了 をタップします。

節電状態で着信する

ご購入時の状態では、最後の操作から一定時間が経過すると節電状態になり画面の電源が切れるように設定されています（☞ 9-15 ページ）。

節電状態になっているとき、次の場合は自動的に電源が入ります。

・ 電話がかかってきたとき
・ ライトメールを受信したとき
・ 予定表などで設定しているアラーム時刻になったとき

また、以下の操作を行うと電源が入ります。

・ 終話／電源キーを押したとき
・ パソコンに接続している USB ケーブルを接続したとき

MEMO

● 節電状態の設定は変更できます（☞ 9-15 ページ）。

本体の電源を切ったときは

終話／電源キーを長く押して電源を切ったときは、電話着信やメールなどの受信はできません。
予定表などで設定しているアラーム時刻になっても自動的に電源は入りません。本体の電源を切ったときは、終話／電源キーを長く押して電源を入れてください。

消灯したバックライトを点灯する

設定によってバックライトが消灯したとき（☞ 9-15 ページ）、バックライトを点灯（元の明るさ）します。

1 画面をタップしたり、ダイヤルキーのキーを押します。
ライトが点灯します。

MEMO

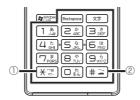
- しばらく操作しないと自動的にライトが消えます。この設定は変えることができます（☞ 9-15 ページ）。
- ライトを点灯して使用すると、使用時間が短くなります。
必要なとき以外は、ライトを消したり、明るさを調整して使用することをおすすめします（☞ 9-15 ページ）。
- ライトの特性上、ライト点灯時には濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。
- 画面が消えているときは、節電状態になっている可能性があります（☞ 9-12 ページ）。
節電状態の場合は、［⏻］キーを押して点灯します。
節電状態ではなくバックライトが消えているのみの場合、うっすらと画面の表示が見えます。

文字入力のしかた

文字を入力するには、次の 2 つの方法があります。

- ダイヤルキーを使って文字を入力する（☞ 1-36 ページ）
  - ・予測変換を使って文字を入力する（☞ 1-36 ページ）
- 文字入力パネルを使って入力する
  - ・キーボード入力パネルを使って文字を入力する
  - ・手書き入力パネルを使って文字を入力する（☞ 1-42 ページ）

ダイヤルキーの基本操作について

文字入力に必要なダイヤルキーの基本的な役割について説明します。

① このキーを長く押すとマナーモードになります。
② このキーを長く押すと安全運転モードになります。

ダイヤルキーの入力モードの確認と切り替え

ダイヤルキーで文字を入力するときの入力モードは、画面下に表示されます。

① 選択中の入力モード

あ ：「漢字／ひらがな」の入力	ア ：「全角カタカナ」の入力
_ｱ ：「半角カタカナ」の入力	a ：「全角英小文字」の入力
_a ：「半角英小文字」の入力	A ：「全角英大文字」の入力
_A ：「半角英大文字」の入力	_1 ：「数字」の入力

入力モードの切り替えは、文字キーを押し、(カーソル)キーと(アクション)キー、またはダイヤルキーで行います。

② 記号や顔文字などを入力するときにタップします

記号 ：記号の候補ウインドウが表示されます。
顔文字 ：顔文字の候補ウインドウが表示されます。
定型文 ：登録されている定型文の候補ウインドウが表示されます。
定型文の登録方法については、9-21 ページをご覧ください。
区点 ：区点コード入力ウインドウが表示され、区点コードを入力して文字や記号を入力できます。

③ 入力モードを切り替えるときにタップします。

あ ：「ひらがな」の入力になります。
Ａ ：「全角英字（大文字）」の入力になります。
ａ ：「全角英字（小文字）」の入力になります。
ア ：「全角カタカナ」の入力になります。
_A ：「半角英字（大文字）」の入力になります。
_a ：「半角英字（小文字）」の入力になります。
_ｱ ：「半角カタカナ」の入力になります。
_1 ：「半角数字」の入力になります。

ダイヤルキーの割り当てについて

ダイヤルキーには複数の文字や記号が割り当てられており、押す回数によって表示が切り替わります。

<table>
<tr><th>キー</th><th>かな漢字変換</th><th>カナ
[全角／半角]※1</th><th>英大文字
[全角／半角]※1</th><th>英小文字
[全角／半角]※1</th><th>半角数字</th></tr>
<tr><td>1</td><td>あいうえお
ぁぃぅぇぉ</td><td>アイウエオ
ァィゥェォ</td><td>.／_@1</td><td>.／_@1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコ</td><td>ABCabc2</td><td>abc2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>DEFdef3</td><td>def3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>たちつてとっ</td><td>タチツテトッ</td><td>GHIghi4</td><td>ghi4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>JKLjkl5</td><td>jkl5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>MNOmno6</td><td>mno6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>PQRSpqrs7</td><td>pqrs7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>やゆよゃゅょ</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>TUVtuv8</td><td>tuv8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>WXYZwxyz9</td><td>wxyz9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わをん□（スペース）</td><td>ワヲン□（スペース）</td><td colspan="2">□（スペース）$%+<=>[]^'{|}0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>*</td><td colspan="2">゛゜※2
↵（改行）※3</td><td colspan="2">↵（改行）</td><td>*</td></tr>
<tr><td>#</td><td>ー 、。！？・</td><td>[全角]ー、。!?･
[半角]-､｡!?･˜()'":;¥&</td><td colspan="2">[全角]ー,.!?／
[半角]-,.!?˜()'":;¥&</td><td>#</td></tr>
</table>

※1: 全角モードの場合は全角、半角モードの場合は半角の文字が入力されます。
全角と半角で入力が違うキーについては、[全角]または[半角]で違いを記載しています。
※2: か／さ／た行の入力中の文字がある場合は、濁音（濁点）の文字が表示されます。また、は行の場合は次にキーをタップすると、濁音（濁点）／半濁音（半濁点）の文字が表示されます。
※3: 未確定文字がない場合に改行します。

ダイヤルキーを使って文字を入力する

ここでは、ダイヤルキーを使った文字の入力方法について説明します。まずは、文字を入力する前にダイヤルキーの入力モードを確認します。

候補の語句を表示して文字を入力する（予測変換機能）

文字を入力すると、入力した文字から予測される語の候補を表示します。
表示された変換候補から目的の語を選択（タップ）して文字入力することができます。（予測変換を有効にしている場合 ☞ 9-20 ページ）。

1 **ダイヤルキーを使って文字を入力します。**
ダイヤルキーの文字割り当ては前ページをご覧ください。

①予測変換ウィンドウが表示されます。

1 文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

MEMO

- 同じ文字や同じ行の文字などを続けて入力する場合は、(カーソル)キーの右を押してから入力します。

（例）「あいかぎ」と入力する。

[1] (カーソル)キーの右 [1] [1] [2] (カーソル)キーの右

[2] [2] [＊] キーを順に押します。

2 文字を入力していき、変換したい語が予測変換候補ウィンドウに表示されたら、(カーソル)キーの下を押します。

予測変換ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

MEMO

- ケータイ Shoin（予測タブ）で「近似予測変換辞書を有効にする」のチェックを外している場合（☞ 9-20 ページ）、文字を入力してから(カーソル)キーの下を押すと文字が変換されます。
- ケータイ Shoin（全般タブ）で「ダイレクト候補選択を行う」のチェックを付けている場合（☞ 9-20 ページ）、(カーソル)キーの下を押した後、ダイヤルキーで候補が選択できます。

3 (カーソル)キーの上下左右で入力したい語を選択し、(アクション)キーを押します。

選択した変換候補が確定されます。
「おはよう」と入力して確定すると、予測変換ウィンドウに「ございます」などが表示されます。
続けて、予測変換ウィンドウに表示されている変換候補を選択していくだけで、「おはようございます。」などの文章を入力することができます。

MEMO

- 予測変換ウィンドウに表示されている変換候補を直接タップしても入力できます。
- 一度変換すると変換した語句が学習され、予測変換ウィンドウに優先して表示されるようになります。
  学習結果を消去するときは、下記の手順でリセットしてください。
  1. 画面右下の 機能メニュー をタップし、設定 をタップします。
  2. ケータイ Shoin（全般タブ）の 学習リセット をタップします。
  3. 確認画面で はい をタップします。
  4. OK をタップします。
  5. OK をタップします。
- 予測変換を使っているときも、文章を入力してから、変換中の漢字を別の漢字にすることができます。くわしくは、「変換中の漢字を別の漢字にする」（☞ 1-39 ページ）をご覧ください。

■ ダイヤルキーの割り当てを利用して文字を入力する（ワンタッチ変換）

ダイヤルキーに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用し、文字を入力することができます。

(カーソル)キーの上でワンタッチ変換を利用するには、「入力中↑キーで通常変換を行う」のチェックを外してください（☞9-20ページ）。

（例）「あはやあ」を「おはよう」に変換します。

1 「あはやあ」を入力します。

2 画面左下の ワンタッチ変換 をタップします。

①ワンタッチ変換ウィンドウが表示されます。

3 (カーソル)キーを使って入力したい語を選択し、(アクション)キーを押します。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

（例）「新しい規格を提案する」を「新しい企画を提案する」に変換します。

1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。

2 (カーソル)キーの下を押します。

3 (アクション)キーを押します。

カーソルが次の文節に移ります。

4 (カーソル)キーの上下左右を使って、入力したい語を選択します。

5 (アクション)キーを押します。
手順 **4** で選択した変換候補が入り、カーソルが次の文節に移ります。

MEMO
- 続けて文字を変換する場合は手順 **4** ～ **5** を繰り返します。

6 (アクション)キーを押します。

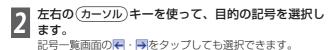
「記号」・「顔文字」・「定型文」を入力する

予測変換を使って「記号」・「顔文字」・「定型文」を入力することができます。

ご注意
- 「記号」・「顔文字」・「定型文」を入力するには、予測変換ウィンドウに表示された変換候補から目的の語句を選択（確定）しておいてください（ひらがなを1文字入力して(アクション)キーを1回押した状態です）。
入力中の文字が確定していないと入力することはできません。

「記号」、「顔文字」、「定型文」を入力する

1 [文字]キーを押して表示されたメニューから[記号]、[顔文字]または[定型文]をタップします。
ここでは[記号]を選択します。

2 左右の(カーソル)キーを使って、目的の記号を選択します。
記号一覧画面の[←]・[→]をタップしても選択できます。

3 目的の記号が表示されたら(アクション)キーを押します。
記号一覧画面の[↓]をタップしても記号を選択できるようになります。

4 上下左右の(カーソル)キーを使って入力したい記号を選択し、(アクション)キーを押します。

MEMO
- 記号一覧画面に表示されている記号を直接タップしても入力できます。

文字入力パネルについて

文字入力パネルには、画面に表示されるキーをタップして文字を入力する「キーボード入力パネル」と手書き文字を入力する「手書き入力パネル」があります。
ここでは手書き入力パネルの使い方について説明しています。キーボード入力パネルの使い方は、ホームページに掲載のアプリケーションマニュアルをご覧ください（☞ 0-11 ページ）。

■ キーボード入力パネル

「ひらがな／カタカナ」入力パネル

「ローマ字／かな」入力パネル

■ 手書き入力パネル

「手書き検索」入力パネル

「手書き入力」入力パネル

文字入力パネルを表示する

1 **画面下の あ などをタップします。**
文字入力パネルが表示されます。

① 文字入力パネルの表示／非表示を切り替えます。

表示している文字入力パネルを消す

1 **画面下の あ などをタップします。**
表示している文字入力パネルが消えます。

文字入力パネルを切り替える

1 画面下の あ などの右横の ▲ をタップし、表示されたメニューから使用したい文字入力パネルをタップします。

①使用したい文字入力パネルを選びます。

手書き入力パネルを使って文字を入力する

付属のスタイラスを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

「手書き検索」入力パネルで文字を入力する

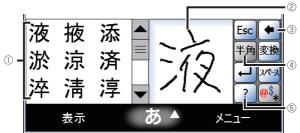
「手書き検索」入力パネルで文字を入力します。

（例）「液」と手書きして変換します。

1 **「手書き検索」入力パネルを表示します（☞前ページ）。**

2 **手書き入力枠に「液」と手書き入力します。**
手書きした文字の候補が入力パネルの左側に表示されます。

3 **認識候補から「液」をタップすると、「液」が入力されます。**

4 **↵ をタップすると、「液」の文字が確定されます。**

① **認識候補**	手書き入力枠に手書きした文字の候補が表示されます。入力したい文字をタップします。
② **手書き入力枠**	手書き入力します。
③ **←**	手書き中にタップすると、最後の 1 画が消去されます。手書き入力枠に何もないときは、カーソルの前（左側）の文字を削除します。
④ **半角**	タップして反転した状態でカタカナや英数字などを手書きし認識候補から選択すると、半角のカタカナや英数字を入力できます。
⑤ **？**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

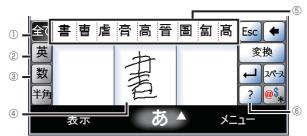
「手書き入力」入力パネルで文字を入力する

1 「手書き入力」入力パネルを表示します（☞ 1-41 ページ）。

2 枠に 1 文字ずつ手書きします。

・枠に文字を手書きすると認識されて、すぐに候補欄に認識候補が表示されます。
・別の枠に次の文字を書き始めると、候補欄の左端の候補が自動的に選択されます。
・別の枠に文字を書かないときは、しばらくしたあと候補欄の左端の候補が自動的に選択されます（選択される前に別の候補をタップすると、その文字が選択されます）。
・どの枠から書いてもかまいません。先に手書きした文字から認識します。

3 ひらがなを手書きし漢字に変換するときは、［変換］をタップします。

4 ［↵］をタップすると、文字が確定されます。

① **全て**	手書きした文字を認識するとき、ひらがな、漢字などすべての種類を候補にします。
② **英**	手書きした文字を認識するとき、英字および記号を候補にします。
③ **数**	手書きした文字を認識するとき、数字および記号を候補にします。
④ **手書き入力枠**	付属のスタイラスで 1 枠に 1 文字ずつ手書きします。
⑤ **候補欄**	認識された文字の候補が表示されます。入力したい文字を選択します。
⑥ **?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

■ 手書き認識の入力枠の数や、選択されるまでの時間を変更する

手書き認識の入力枠の数を変更したり、認識された文字が認識候補の中から自動的に選択されるまでの時間を変更できます。

1 スタート画面の “設定” をタップします。

2 “個人” をタップし、 “入力” をタップします。

3 入力方法 タブで、「入力方法」の右横の▼をタップして「手書き入力」を選択し、 オプション をタップします。

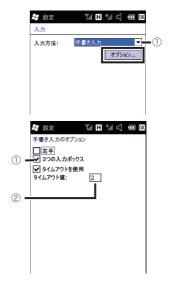
「手書き入力のオプション」設定画面が表示されます。

①「手書き入力」を選びます。

4 設定を変更します。

①チェックを外すと、入力枠は 2 つになります。

②選択されるまでの時間を変更します。
この数値の単位は、「秒」です。

5 設定の変更が終わったら ← キーを押します。

MEMO

- 「タイムアウトを使用」のチェックを外すと、自動的に選択されなくなります。
このときは、候補の中から目的の文字をタップします。

文字を編集する

文字を追加する

1 **追加したい場所にカーソルを移動させます。**
(カーソル)キーの上下左右でカーソルを移動させるか、文字を追加したい場所をタップします。

2 **文字を入力します。**
カーソルの位置に文字が追加されます。

文字を削除する

1 **削除したい文字の直後にカーソルを移動させます。**
複数の文字を削除したい場合は、画面をなぞって文字列を反転させます。

2 **[Backspace]キーを押します。**
- 複数文字削除の場合は、反転していた範囲がすべて削除されます。
- 1 文字削除の場合は、カーソルの直前の文字が削除されます。

MEMO

- キーボード入力パネルのときは、[←BS] をタップします。
手書き入力パネルでは、[←] をタップします。

メモリカードを使う

この製品には、市販の microSD カードを取り付けることができます。

ご注意

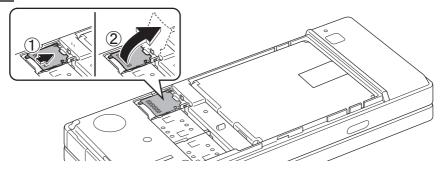
- microSD カードの取り付けや取り外しは、ゆっくりと確実に行ってください。
  急いで行うと、指をひっかけたり、スロットや端子を破損する原因になります。

MEMO

- 動作確認済みの microSD カードについては、ホームページ（URL http://www.sharp.co.jp/ws/）をご覧ください。
- この製品ではメモリカードをフォーマットできません。
  パソコンを使い、FAT（16GB のカードは FAT32）でフォーマットしてください（NTFS ではフォーマットしないでください）。
- メモリカードにファイルとして以下のものが保存できます。
  - ・画像／音楽ファイル　・Word Mobile ／ Excel Mobile などで作成したファイル
  - ・ボイスメモ　・メールに添付されているファイル
  - ・メモ　・バックアップファイル（☞ 8-2 ページ）　など
- “予定表”、“連絡先”、メール本文、ライトメールは、メモリカードに保存できません。
- microSD カードに保存するときに暗号化（☞ 9-18 ページ）したファイルは、他の機器（別の WS027SH やパソコンなど）では表示されません。
- メモリカードを使用中は消費電力が大きくなります。内蔵ワイヤレス LAN を使用可能な状態にしていたり、赤外線通信と同時に使用すると、電源オフになることがあります。

カードを取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。

2 裏側の充電池ぶたを取り外し、下図のようにスライドさせて（①）から、microSD カードスロットのカバーを開きます（②）。

MEMO

- カバーは、図の方向からのみ開きます。他の方向からは開きませんので、ご注意ください。また、カバーは開いたのち水平方向に保ち、ひねったりしないようにしてください。

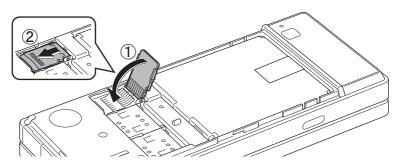
3 カードの切り欠き部分を図のようにして、端子側から確実に挿入します。

ご注意

● microSD カードは、無理に奥まで挿入しないでください

奥まで挿入した状態でカバーを閉じると、カバーが破損したり本体側にある端子が破損する原因になります。

4 下図のようにカバーを閉じて（①）、スロットをロックします（②）。

5 充電池ぶたを取り付け、⏻キーを長く（約 2 ～ 3 秒）押して電源を入れます。

ご注意

● microSD カードのご使用について

・カードの端子部を指などで触れないでください。
・表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。
・カードに強い力を加えないでください。
・カードは、スロットに確実に挿入してください。
・カードは必ず上図のようにして、まっすぐ挿入してください。斜めに傾けたまま無理やり挿入すると、破損の原因になります。
・この製品を落とさないでください。破損したり故障の原因となります。
・カードの取り付けや取り外しは、必ずこの製品の電源を切った状態で行ってください。電源が入った状態で行うと、カードの内容が壊れることがあります。

MEMO

● カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。

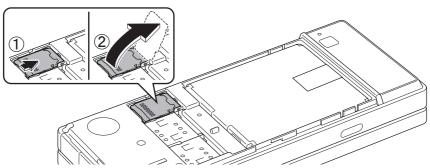
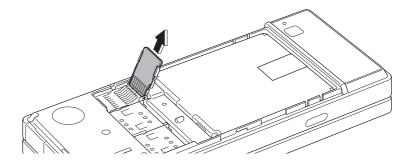
microSD カードのファイルを確認する

1 エクスプローラー画面（☞ 8-7 ページ）を表示し、画面左上の「My Documents ▼」などをタップします。

2 表示されたメニューから「 microSD カード」をタップします。
microSD カード内のフォルダやファイルが表示されます。

カードを取り外す

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。

2 裏側の充電池ぶたを取り外し、microSD カードスロットのカバーを開きます（☞ 1-46 ページ）。

3 スロットからカードを抜き取ります。

4 microSD カードスロットのカバーを閉じてロックしてから、裏側の充電池ぶたを取り付け、キーを長く（約２～３秒）押して電源を入れます。

ファイルやフォルダをコピーする

1 microSD カードを取り付け、エクスプローラー画面（☞ 8-7 ページ）を表示して、「My Documents ▼」などをタップし「 microSD カード」をタップします。

microSD カード内のフォルダやファイルが表示されます。

2 目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。

・コピーするときは コピー をタップします。

・移動するときは 切り取り をタップします。

3 画面左上の「 microSD カード▼」をタップし、 マイデバイス をタップします。

本体側のファイルやフォルダなどが表示されます。

4 貼り付け先または移動先のフォルダを開いた後、画面右下の メニュー ー 編集 ー 貼り付け をタップします。

手順 **2** でコピー／切り取りしたファイルが貼り付け／移動されます。

MEMO

- 手順 **2** で、目的のファイルを選択して画面右下の メニュー ー 編集 ー コピー ／ 切り取り をタップしてもコピー／移動できます。
- 手順 **4** で、画面をタップしたままにして表示されたメニューから 貼り付け をタップしても貼り付け／移動ができます。ただし、ファイルやフォルダが表示されている場所で画面をタップしたままにするとそのファイルやフォルダが対象となりますので、ご注意ください。
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- 「切り取り」したフォルダやファイルを貼り付けず、別のフォルダやファイルを「切り取り」すると、前の「切り取り」は解除されます。
- 本体に保存しているファイルやフォルダを別の階層にコピー／移動するときなどは、「My Documents ▼」をタップして、フォルダを選んでください。
- コピー元と同じ階層に「貼り付け」するとファイルやフォルダ名に「コピー〜」が追加されます。
- コピーをやめるときは、画面右下の メニュー ー 編集 ー 元に戻す コピー をタップして、元に戻します。

本体のファイルやフォルダを microSD カードにコピー／移動する

1 上記と同様にエクスプローラー画面（☞ 8-7 ページ）で本体メモリを開きます。

2 目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューの コピー または 切り取り をタップします。

3 microSD カード側に切り替え、画面右下の メニュー ー 編集 ー 貼り付け をタップします。

手順 **2** でコピー／切り取りしたファイルが貼り付け／移動されます。

カーソルキーを使う（Xcrawl）

（カーソル）キーには、次のような機能があります。

・カーソルを一つずつ上下左右に動かす（4方向）
・なぞってカーソルを動かす（スクロール機能）
・カーソルを一つずつ８方向に動かす

この製品では、これらの機能を合わせてXcrawl（エクスクロール）と呼びます。
ご購入時は、4方向のみが使えます。スクロール機能を使うときや、8方向に動かすときは、設定の変更が必要です。（☞9-14ページ）

カーソルを一つずつ上下左右に動かす（4方向）

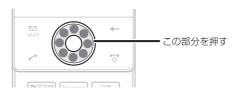
なぞってカーソルを動かす（スクロール機能）

選択項目やファイルの数が多いときなどに便利です。
ただし、スクロール機能が動作しない画面やアプリケーションがあります。

電話帳

スタート画面

カーソルを一つずつ８方向に動かす

対応しているアプリケーションのみで動作します。

MEMO

● ライトメール着信時やアプリケーション起動時には、（カーソル）キーの周囲が光ります。

保存しているファイルや情報を検索する

目的の情報をすばやく見付け出せます。
My Documents フォルダや microSD カード内のファイルや予定表、連絡先、仕事、メモに含まれている文字を検索します。

1 **スタート画面の “検索” をタップします。**
検索画面が表示されます。

2 **「検索」欄に検索したい語句を入力します。**

①ファイル名や連絡先などのデータ内に含まれる文字列を入力します。
▼をタップすると、以前に検索した文字列が表示されます。再度同じ文字列で検索する場合に利用します。

②データの種類を選択して検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

3 **画面左下の 検索 をタップします。**
検索が開始され検索結果が表示されます。

4 **見たいファイルやデータをタップします。**
ファイルやデータが表示されます。

MEMO

- microSD カードに保存されたファイルには、microSD カードの記号 “ ” が表示されます。

5 **検索をやめるときは、☒をタップします。**

ご注意

- ファイルやデータによっては、その内に含まれる文字列が検索されないものもあります。

2章　インターネットの準備

ネットワークに接続する方法

この製品でインターネットに接続するには、「W-CDMA を使う」、「PHS 電話機能を使う」、「ワイヤレス LAN を使う」の３つがあります。

■ W-CDMA を使って接続する方法

オンラインサインアップを行う（☞下記）と自動的に接続する方法が保存され、メールの送受信やホームページの閲覧を行うことができます。

※ お客様が加入しているプロバイダーの接続設定に関する情報を、ご自分でこの製品に登録して接続することはできません。

ご注意

- W-CDMA を使って接続する場合、USIM カードと W-SIM カードの両方を取り付けてください。USIM カードだけ取り付けている状態では、W-CDMA による通信はできません。

■ PHS 電話機能を使って接続する方法

「オンラインサインアップで設定を行う」と「加入しているプロバイダーの接続設定を行う」の２つの接続設定があり、お使いの環境に合わせて設定いただけます。

オンラインサインアップで設定を行う	自動的に接続する設定が保存され、すぐにメールの送受信やホームページの閲覧を行うことができます。	下記
加入しているプロバイダーの接続設定を行う	加入しているプロバイダーの情報（サーバーに接続する設定等）をご覧になり設定します。	2-4 ページ

■ ワイヤレス LAN を使って接続する方法

お使いの環境により設定する内容が異なります。お使いの環境に合わせて設定してください。

・「ワイヤレス LAN の接続設定をする」（☞ 2-10 ページ）

ワイヤレス LAN を使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐためオフ（無効）にすることをおすすめします（☞ 2-16 ページ）。

MEMO

- **ホームページの閲覧やメールの送受信を行うときは**
  ホームページの閲覧　：Internet Explorer（☞ 5-2 ページ）をご覧ください。
  メールの送受信　　　：メール（Outlook）（☞ 4-2 ページ）をご覧ください。
- **ネットワークに接続できないときは**
  2-18 ページや「困ったときは」（☞ 10-27 ページ）をご覧ください。

オンラインサインアップで設定を行う

オンラインサインアップを行うと、次のようなことができます。

・ E メール（ウィルコム）のメールアドレスの取得、メールサーバーの設定。
・ インターネットに接続する設定（W-CDMA と PHS 電話機能それぞれ）。

オンラインサインアップをする場合、あらかじめワイヤレス LAN をオフ（無効）にしておいてください。

1 **スタート画面の “オンラインサインアップ” をタップします。**
「接続中」のメッセージが表示され、センターに接続します。

2 **表示された画面の指示にしたがって設定を行います。**

■ メールアドレスについて

「詳細設定へ」－「6. メールアドレス変更」を選択してお好みのメールアドレスを入力します。ここではユーザーネームのみを入力します。ドメインは自動的に設定されます。

ユーザーネームは、以下の制限の中でお客様がご自由に設定できます。

- 文字数：4 文字以上 20 文字以下
- 文字種：半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）
- 1 文字目は英字のみ使用できます。
- 英字は、すべて小文字として扱われます。

MEMO

- **同じユーザーネームが既に登録されている場合**
  設定したユーザーネームはご利用いただけません。別のユーザーネームを指定してください。

3 **オンラインサインアップを完了します。**

4 **再起動の確認画面で OK をタップします。**

MEMO

- **ライトＥメールの設定は利用しないでください。**
  この製品はライトＥメールに対応していないため、オンラインサインアップの「詳細設定へ」-「9. その他の設定」で「◆ライトＥメール」の項目はかならず「利用しない」にチェックを付けてください。
  ※ライトＥメールを着信すると「未対応着信あり」と表示されることがあります。
- **お知らせメール受付の選択について**
  ウィルコムからのお知らせを付けるか、付けないかを選択することができます。
- **W+Info とは**
  ウィルコムから配信される最新のニュースなどを自動的に受信し、待ち受け画面（Today 画面）に表示します。
  登録する場合は、待ち受け画面（Today 画面）の「ニュースや天気予報等を配信します 登録はこちらから」をタップします。OK をタップし、利用規約をよくお読みの上、登録してください。

オンラインサインアップを完了すると設定される内容

オンラインサインアップを完了すると自動的に以下の情報が設定されます。

●インターネットに接続するための情報

「センタ名称設定」（☞ 2-18 ページ）という名称と、その中に W-CDMA の接続設定「CLUB AIR-EDGE 3G」と PHS 電話機能「CLUB AIR EDGE」の接続設定の２つが保存されます。

●メールを送受信するための情報

“電子メール”に情報が設定されます。
メールアカウントが保存されます（メールアカウント内には次の情報が保存されます）。

- メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
- サーバー情報（受信メールサーバー、送信メールサーバー）

ご注意

- **設定された内容は、変更／削除しないでください。**

オンラインサインアップを完了して設定された「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」／「CLUB AIR-EDGE 3G」の内容、メールアカウントの内容は変更／削除しないでください。
これらの内容を変更／削除すると、インターネットへの接続やメールの送受信ができなくなります。

MEMO

- W-SIM を複数お使いの場合、W-SIM の入れ替えの際に接続設定が切り替わることがあります。W-SIM を入れ替えたときは、接続設定を確認してお使いください。

W-CDMA と PHS の接続設定を切り替える

1 待ち受け画面（Today 画面）の 3G または PHS をタップします。

3G（W-CDMA）をタップした場合は PHS に、PHS をタップした場合は 3G（W-CDMA）に切り替わります。次回以降、設定した方法で接続されます。

MEMO

- **インターネットへの接続方法の設定を確認するときは**
  待ち受け画面（Today 画面）で確認してください（☞上記）。または、ネットワーク管理画面（☞ 2-8 ページ）を表示して、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」を確認してください。オンラインサインアップを行ったあとは、「センタ名称設定」が選択されています。
- **ウィルコムのサーバーに接続するための設定を確認するときは**
  「インターネット接続設定を変更する／削除する」（☞ 2-9 ページ）をご覧になり各項目を表示して確認してください。

オンラインサインアップで設定した内容を確認／変更する

・オンラインサインアップで設定した内容を変更するときは、スタート画面の“オンラインサインアップ”をタップし、確認画面で 詳細設定 をタップしてセンターに接続します。センターに接続して表示された画面で確認や変更したい項目をタップします。設定を変更したあとは、画面下方にある この内容で登録する をタップしてください。

・メールアドレスを変更する場合はセンターに接続して表示された画面から「6. メールアドレス変更」をタップしてメールアドレスを変更してください。メールアドレスを変更した場合、変更前のアドレス宛のメールは届かなくなります。

加入しているプロバイダーの接続設定を行う（W-SIM）

既に加入しているインターネットプロバイダーを使用して、インターネットに接続するための設定について説明します。
ここでは、基本的な設定のしかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

MEMO

- 各項目に入力するときは、大文字・小文字・全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
  また、数字の「0」（ゼロ）と英語の「O」（オー）、数字の「1」と英字の「l」などの区別も確認してください。
- PHS に接続を変更した場合、料金コースによって別途パケット通信費がかかる場合があります。ご利用の際には、ご契約の料金コースをご確認ください。

この製品に設定するプロバイダー情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

・接続先アクセスポイントの電話番号
・ユーザー名
・パスワード
・プライマリ DNS
・セカンダリ DNS

※ 項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

1 スタート画面の“設定”をタップします。

設定画面が表示されます。

2 設定画面で“接続”をタップし、“接続”をタップします。

接続画面が表示されます。

3 詳細設定 タブをタップし、ネットワークの選択 をタップします。

4 インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の 追加 をタップします。

5 表示された画面で接続方法の名前を入力し OK をタップします。

MEMO

- すでに作っている接続方法の中に複数の接続設定を作る場合は、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」の▼をタップして「既定のインターネット設定」などを選びます。
- オンラインサインアップ（☞2-2 ページ）を行った後、ご自分でご入会しているプロバイダーの情報を設定するときは、「既定のインターネット設定」ではなく「センタ名称設定」になっています。

6 OK をタップします。

接続画面に戻ります。

7 設定 タブをタップし「新しいモデム接続の追加」をタップします。

新しい接続画面が表示されます。

① 手順 **5** で入力した名称が表示されます。

8 接続名を入力し、さらに「モデムの選択」欄を「W-SIM」にして、次へ をタップします。

① タップするとヘルプが表示されます。

② この接続設定の内容がわかるような名前（プロバイダー名など）を入力します。

③「W-SIM」を選択します。

9 接続先のアクセスポイントの電話番号を入力し、次へ をタップします。

① 接続先プロバイダーのアクセスポイントの電話番号を入力します。

MEMO

- ご利用の通信速度、通信手段により、アクセスポイントの電話番号の後に記号（##64 や ##7 など）の入力が必要となります。
  詳しくは、ご利用のプロバイダーにご確認ください。
- インターネット接続時に分計発信を行う場合は、アクセスポイントの電話番号＋記号（##64 や ##7 など）の後に追加します。
  例）通常発信の場合：
  03-5204-XXXX##64
  分計発信の場合：
  03-5204-XXXX##64,01

10 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、詳細設定 をタップします。

①「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと、接続のたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力する手間が省けます。

MEMO

- 「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと便利ですが、この製品を紛失した場合、他人にメールを読まれたり、通信料金を請求されたりするおそれがあります。
  接続するたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力したいときは、「ユーザー名」、「パスワード」欄を空欄にしておきます。
- 「ユーザー名」や「パスワード」をまちがえて入力すると、プロバイダーに接続できません。よく確かめて入力してください。
- 「ユーザー名」、「パスワード」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。次の表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	PPP ログイン名、ログイン名、ユーザー名、アカウント、アカウント ID、接続 ID、ID 番号、接続アカウント、ユーザー ID、ダイヤルアップログイン名、認証 ID
パスワード	PPP パスワード、パスワード、接続パスワード、認証パスワード、ダイヤルアップパスワード、初期パスワード、ID パスワード

11 TCP／IP タブをタップします。

「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」にチェックが付いていることを確認します。

①「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」が選択されていることを確認します。

12 サーバー タブをタップし、サーバーの設定を行います。

・DNS サーバーを自動的に取得する場合は「サーバー割り当てのネームサーバーアドレス」を選択します。

・DNS サーバーを入力する場合は「指定されたサーバーアドレス」を選択し、プライマリ DNS、セカンダリ DNS を入力します。

① 半角の数字で入力します。

MEMO

- セカンダリ DNS サーバーがないプロバイダーの場合は、「セカンダリ DNS」の欄は空欄にします。
- 「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
プライマリ DNS	ネームサーバー 1、Domain Name Server（1）、ドメインネームサーバー、DNS サーバー、DNS、プライマリ DNS サーバー
セカンダリ DNS	ネームサーバー 2、Domain Name Server（2）、セカンダリ DNS サーバー

13 OK をタップします。

手順 **10** の「ユーザー名／パスワードの入力」画面に戻ります。

14 画面右下の 完了 をタップします。

- **2-5 ページの手順 4 で 追加 をタップし、ご自分で接続方法を作りその中に 1 つの接続設定を作った場合**

  この手順で終了です。

- **2-5 ページの手順 4 で複数の接続設定を作った場合**

  以下の手順 **15** ～ **17** を行ってください（接続設定の選択を行ってください）。

15 「既存の接続を管理」をタップします。

作成した設定が表示されます。

16 作成した設定のラジオボタンにチェックを付けます。

チェックが付いている設定に接続します。

① 接続方法の名称が表示されます。

② チェックが付いている設定に接続します。

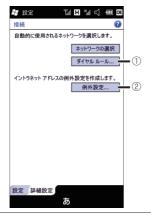
17 をタップします。

インターネットへの接続方法を切り替える（W-SIM）

新しいネットワークを作成したり、イントラネットアドレスの例外設定ができます。

1 **設定画面で "接続" をタップし、"接続" をタップします。**

詳細設定画面が表示されます。

2 **詳細設定 タブをタップします。**

① この製品ではダイヤルルールは使用しません。ダイヤルルール画面に移り設定をしないでください。

② イントラネットアドレスでピリオド（.）が使用されている例外アドレスを設定します。

3 **ネットワークの選択 をタップします。**

ネットワーク管理画面が表示されます。

オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に作成されて表示されます。

オンラインサインアップで取得した情報を使ってインターネットに接続する場合、この設定は変更しないでください。変更するとインターネットに接続できなくなり、ホームページの閲覧やメールの送受信ができなくなります。この設定を削除した場合などは、もう一度オンラインサインアップをしてください。

① 表示されている接続名称の中に作成した接続設定の編集ができます。

② 新しい接続設定を作成します。

4 **をタップします。**

インターネット接続設定を変更する／削除する

インターネット接続設定を変更する

1 設定画面で “接続”をタップし、 “接続”をタップします。

2 詳細設定 タブをタップし、ネットワークの選択 をタップします。

3 変更したい接続方法の名前（「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」など）を選択し、編集 をタップします。

4 変更する接続名を選択し、編集 をタップします。

接続名やモデムを選択する画面（☞2-5ページの手順**8**）が表示されます。

5 次へ をタップして画面を切り替えて設定内容を変更します。

2-5ページ以降の画面が表示されますので、くわしくは2-5～7ページの手順**8**～**14**をご覧になり内容を変更します。

MEMO

- 「パスワード」の項目は「*」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。

インターネット接続設定を削除する

1 設定画面で “接続”をタップし、 “接続”タップします。

2 詳細設定 タブをタップし、ネットワークの選択 をタップします。

3 変更したい接続方法の名前（「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」など）を選択し、編集 をタップします。

4 削除する接続名をタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。

ご注意

- **削除の取り消しはできません**

よく確認してから削除してください。

ワイヤレス LAN の接続設定をする

内蔵のワイヤレス LAN を利用する場合はお使いの環境により設定する内容が異なります。
お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。

①自宅のワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するときは

以下の設定をしてください。

・「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」(☞ 2-12 ページ)
・「アクセスポイントの設定をする」(☞ 2-12 ページ)
・「ネットワークに接続する」(☞ 2-15 ページ)

②公衆ワイヤレス LAN に接続するときは

ワイヤレス LAN サービスを提供している店舗などから、インターネットに接続することができます。
公衆ワイヤレス LAN を利用するための申し込みが必要な場合があります。
申し込みや接続に必要な情報など、お使いの公衆ワイヤレス LAN サービスについてあらかじめ確認したあと、以下の設定をしてください。

・「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」(☞ 2-12 ページ)
・「アクセスポイントの設定をする」(☞ 2-12 ページ)
・「ネットワークに接続する」(☞ 2-15 ページ)

③社内のワイヤレス LAN に接続する

社内のワイヤレス LAN に接続するときは、IP アドレスが決められていたり、ネームサーバーやプロキシサーバーが設定されている場合がほとんどです。これらの情報をネットワーク管理者に確認したあと、以下の設定をしてください。

・「IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」(☞右記)
・「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」(☞ 2-12 ページ)
・「アクセスポイントの設定をする」(☞ 2-12 ページ)
・「ネットワークに接続する」(☞ 2-15 ページ)

IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う

社内のネットワークに接続する場合などでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定が必要になることが多くあります。
ここでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定を行います。

1 設定画面で “接続”をタップし、“無線 LAN”をタップします。

2 ネットワークアダプター タブをタップします。

1「ネットワークカードの接続先」を選択します。

社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択し、自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。

2「AR6000 WLAN Adapter SD」をタップします。

3 表示された画面で、IP アドレスの設定を行います。

- DHCP サーバーを使用する場合は、「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」にチェックを付けます。
- 固定の IP アドレスを使用する場合は、「指定した IP アドレスを使用する」にチェックを付け、IP アドレスやサブネットマスクなどを入力します。
  IP アドレスなどを入力するときは、社内のネットワーク管理者におたずねください。

4 ネームサーバー タブをタップし、DNS サーバーアドレスおよび WINS サーバーアドレスの情報を入力します。

サーバーアドレスについても、社内のネットワーク管理者におたずねください。

5 OK をタップします。

「ネットワークアダプターの構成」画面に戻ります。

6 OK をタップします。

社内のネットワークに接続するとき、プロキシの設定が必要な場合があります。

手順 **7** 以降をご覧になりプロキシの設定を行ってください。

プロキシの設定が不要な場合は「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞次ページ）に進みます。

7 接続画面で “接続” をタップします。

8 接続画面（設定 タブ）で、既定の社内ネットワーク設定の「プロキシサーバーの設定」をタップします。

9 表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。

10 さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。
必要に応じて、詳細設定 をタップし、HTTP プロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

プロキシサーバーなどについては、社内のネットワーク管理者におたずねください。

11 OK を数回タップし、待ち受け画面（Today 画面）に戻ります。

「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞次ページ）に進みます。

内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする

1 スタート画面の "設定" をタップします。

2 設定画面で "接続" をタップし、"ワイヤレスマネージャー" をタップします。

3 内蔵ワイヤレス LAN を「ON」にします。

① しばらくすると MAC アドレスが表示されます。

MEMO

- **MAC アドレスについて**
  「内蔵ワイヤレス LAN」を「ON」にしてしばらくすると、MAC アドレスが表示されます。
  ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定で、MAC アドレスを登録している機器のみ接続できるように設定しているときは、上記画面の MAC アドレスをワイヤレス LAN アクセスポイントに設定してください。
- 内蔵ワイヤレス LAN 使用中は消費電力が大きくなります。赤外線通信を使用したり、USB、microSD などの接続機器によっては、充電池残量の警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。

4 OK をタップします。
タイトルバーに が表示され、近くのアクセスポイントを自動的に検出します。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出した場合
「ネットワークに接続する」
（☞ 2-15 ページ）に進んでください。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出しなかった場合
「アクセスポイントの設定をする」
（☞下記）に進んでください。

アクセスポイントの設定をする

ワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するための情報を設定します。

ご注意

- **自動設定機能を持つワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するときは**
  この製品は、一部のワイヤレス LAN アクセスポイントが持つ自動設定機能には対応していません。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントがワイヤレス LAN の設定を自動で行うように設定している場合、この設定を無効にして、手動で設定しておいてください。

MEMO

- **アクセスポイントの情報を確認しておく**
  「ネットワーク名（SSID）」、「データ暗号化」、「ネットワークキー（WEP キー）」など、ワイヤレス LAN アクセスポイントの情報が必要になることがあります。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントの説明書もあわせてお読みください。パソコンからアクセスポイントの設定ページなどを表示して調べることもできます。

1 設定画面で "接続" をタップし、"無線 LAN" をタップします。

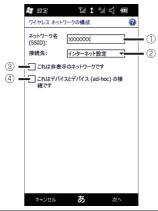
2 ワイヤレス タブが選択されていることを確認して、「新しい設定の追加」または「ネットワークの検索」をタップします。

近くにワイヤレス LAN アクセスポイントを検出した場合は、ネットワーク名（SSID）が表示されます。

① 検出されたネットワーク名や設定を追加したネットワーク名が表示されます。

MEMO

- 内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にしている状態で電源を切った場合は、電源を入れて約 5 秒以内には電源を切らないようにしてください。

3 ネットワーク名の入力、接続先の選択をし、次へ をタップします。

① アクセスポイントに設定されているネットワーク名（SSID）を入力します。

② 自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択します。

③ ネットワーク名（SSID）を表示しないようにしているアクセスポイントに接続する場合、チェックを付けます。

④ チェックがないことを確認します（インフラストラクチャ通信）。
アクセスポイントを使用しないアドホック通信を利用する場合は、チェックを付けます。

MEMO

- **ワイヤレス LAN の通信形態について**
  ワイヤレス LAN の通信形態には、次の 2 つがあります。
  - **インフラストラクチャ通信**
    ワイヤレス LAN アクセスポイントを介して通信します。
  - **アドホック通信**
    ワイヤレス LAN アクセスポイントを介さず、ワイヤレスで接続できる機器同士で直接通信を行います。
- ワイヤレスネットワークの構成画面（☞前ページ）では、「これはデバイスとデバイス(ad-hoc）の接続です」にチェックを付けないようにしてください。
  チェックを付けるとアドホック通信になります。この製品ではアクセスポイントを介して（インフラストラクチャ通信)、インターネットに接続します。

4 セキュリティ関連の設定を行い、次へ をタップします。

① ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて認証方式を選択します。

② ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて暗号化方式を選択します。
暗号化方式が異なると接続できません。
ワイヤレス LAN アクセスポイント側でネットワークキー（WEP キー）が設定されている場合は、「WEP」を選択します。また、ネットワークキーが設定されていない場合は、「無効」を選択します。
※①認証で「WPA」または「WPA-PSK」、「WPA2」、「WPA2-PSK」を選択している場合は、「TKIP」または、「AES」を選択します。

③ ネットワークキーを入力するときなどは、チェックを外し④のネットワークキーを入力します。

④ ワイヤレス LAN アクセスポイントと同じネットワークキーを設定してください。
暗号化キーに使用可能な文字種および文字数は、以下のとおりです。
- **暗号化方式で「WEP」を選んだ場合**
  ASCII 文字　：5 文字または 13 文字
  16 進数　　：10 桁または 26 桁
- **認証方式で「WPA-PSK」／「WPA2-PSK」を選び、データ暗号化方式で「TKIP」／「AES」を選んだ場合**
  ASCII 文字　：8 文字〜 63 文字
  16 進数　　：64 桁（ワイヤレス LAN アクセスポイントによっては対応していません。）

※ ASCII 文字で入力できる文字種は 0 〜 9、a 〜 z、A 〜 Z の英数字です。（大文字と小文字は別の文字として区別されます。）
※ 16進数で入力できる文字種は0〜9、a 〜 f、A 〜 F の英数字です。（大文字と小文字は同一文字として認識されます。）

⑤ ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて「キーインデックス」を選択します。必要に応じてキーのインデックスを変更します。
この製品は、1 〜 4 までの間でキーのインデックスを設定します。

ご注意

- **通信データを暗号化することを強く推奨します**
  通信データを暗号化することを強く推奨します。
  データ通信の暗号化を設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載した装置からこの製品を検索できるため、データを盗まれたり、データを破壊されたりする危険性があります。

5 アクセスポイントの設定に合わせて、IEEE802.1X 認証を使用する場合は、暗号化の方法などを設定します。

① IEEE802.1X 認証を使用しない場合は、チェックが付いていないことを確認してください。

② 暗号化の方法を選択します。

6 完了 をタップします。

「ワイヤレスネットワークの構成」画面に戻ります。

アクセスポイントを自動的に検出し、接続されます。

自動的に接続されない場合は「アクセスポイントを指定して接続する」(☞次ページ)をご覧になり接続してください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を変更する

1 ワイヤレスネットワークの構成画面(ワイヤレス タブ)で変更するネットワーク名をタップしたままにして、表示されたメニューから 編集 をタップします。

2 設定内容を変更します。

画面の内容についてくわしくは 2-13 〜このページの手順 **3** 〜 **5** をご覧ください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を削除する

1 ワイヤレスネットワークの構成画面(ワイヤレス タブ)で削除するネットワーク名をタップしたままにし、表示されたメニューから 設定の削除 をタップします。

ご注意

● **削除の取り消しはできません**

接続設定を削除すると、取り消しはできません。よく確認してから削除してください。

ネットワークに接続する

内蔵ワイヤレス LAN を有効にしてアクセスポイントを検出したときや、アクセスポイントの設定をしたあと手動でネットワークに接続する方法を説明します。

公衆ワイヤレス LAN のアクセスポイントに接続するときは以下の方法で接続を行ったあと Internet Explorer Mobile を起動して認証操作を行う必要がある場合があります。くわしくはお使いのワイヤレス LAN サービスを提供している会社におたずねください。

アクセスポイントを自動的に検出したとき

近くにアクセスポイントがあるときは、タイトルバーに が表示され、画面下部に「ネットワークが検出されました」のメッセージが表示されます。

①「XXXX」はネットワーク名が表示されます。

ネットワーク名を確認して、画面左下の OK をタップします。

表示が消えた場合は、タイトルバーの をタップすると再度表示されます。以下の手順でネットワークに接続してください。

MEMO

● **複数のアクセスポイントを検出したときは**

アクセスポイントを選択して、画面左下の OK をタップします。

1 ネットワークの接続先を選択する画面で接続先を選択します。

新しいネットワークが検出されました
XXXXXXX [セキュリティ有効]" ネットワークの接続先:
① インターネット設定（または VPN 経由）
② 社内ネットワーク設定
設定
接続　あ　メニュー

①「インターネット設定」： 自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。
②「社内ネットワーク設定」： 社内のネットワークに接続するときに選びます。

2 画面左下の 接続 をタップします。

ネットワークキーが必要な場合は、ネットワークキーの入力画面が表示されますので、アクセスポイントに設定されているネットワークキーを入力して、接続 をタップしてください。
タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

アクセスポイントを指定して接続する

目的のアクセスポイントに接続できないときなど、アクセスポイントを指定してネットワークに接続します。

1 設定画面で "接続" をタップし、 "無線 LAN" をタップします。

① 検出されたネットワーク名や設定を追加したネットワーク名が表示されます。
② 接続状態が表示されます。

MEMO

- **接続状態の表示について**
  - **利用可能**
    接続して利用できるネットワークがあるとき表示されます。
  - **利用不可**
    設定したネットワークに接続を試みたが接続できなかったときに表示されます。
  - **接続中**
    利用可能なネットワークに接続を試みているときに表示されます。
  - **接続済み**
    利用可能なネットワークへの接続が確立されているときに表示されます。

2 ネットワーク名をタップしたままにして表示されたメニューから 接続 をタップします。

タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

内蔵ワイヤレス LAN の接続を切る

ワイヤレス LAN を使用しない場合は、内蔵ワイヤレス LAN 機能をオフ（無効）にすることをおすすめします。
内蔵ワイヤレス LAN 機能がオン（有効）の場合は、通常より充電池を消耗し、この製品の使用時間が非常に短くなります。

1 設定画面で "接続" をタップし、 "ワイヤレスマネージャー" をタップします。

2 内蔵ワイヤレス LAN を「OFF」にして、 OK をタップします。

タイトルバーの が消えます。

無線 LAN ツールを利用する

ワイヤレス LAN のアクセスポイントの情報を、「接続先」として登録できます。複数の接続先を登録しておくと、接続先に優先順位をつけて管理できます。

1 **スタート画面の“無線 LAN ツール”をタップします。**

初めて起動したときは、利用規約が表示されます。
利用規約に同意する場合は、画面左下の［同意します］をタップします。

2 **［無線 LAN 接続ツール］をタップします。**

初めて使用したときは、接続設定画面が表示されます。

MEMO

- **2 回目以降は、次のように操作します**
  ①［無線 LAN 接続ツール］を長く（約 2 ～ 3 秒）タップして接続先一覧画面を表示させます。
  ②［登録］をタップします。
  ③「その他無線 LAN」が選択されていることを確認し、画面右下の［次へ］をタップします。
  接続設定画面が表示されます。

3 **接続名、ネットワーク名（SSID）を入力し、画面右下の［次へ］をタップします。**

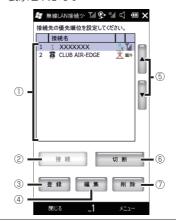
詳細設定画面が表示されます。

4 **ネットワークキーなどを入力し、画面右下の［完了］をタップします。**

5 **確認画面で［OK］をタップします。**

有効なアクセスポイントを検出すると、「XXXX エリアに入りました。接続しますか？」とメッセージが表示されます。

6 **［はい］をタップします。**

接続先の一覧画面に、新しい接続先が表示されます。

① 登録した接続先の一覧が表示されます。
② 選択している接続先との通信を確立します。
③ 新規の接続設定画面になります。
④ 選択している接続先の接続設定画面になります。
⑤ 選択している接続先の優先順位を設定します。
⑥ 通信を切断します。
⑦ 選択している接続先の設定情報が削除されます。

7 **画面左下の［閉じる］をタップします。**

メールの送受信やインターネットへの接続がうまくいかないときは

メールの送受信やインターネットに接続できない場合、インターネットに接続する方法が正しく設定されていないことが考えられます。
以下の画面で、設定されている接続方法を確認してください。

■ ネットワーク設定

◇ ネットワーク管理画面 ◇

「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 2-5 ページ）。

■ タップして表示されるメニューについて

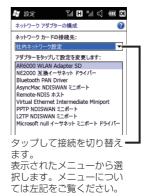
・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定です。
・「既定のインターネット設定」や「既定の社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。
・ご自分で新規に接続を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。
※この取扱説明書では、「既定のインターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「既定の社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「既定のインターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「既定の社内ネットワーク設定」を選択してください。

内蔵ワイヤレス LAN をお使いの場合は

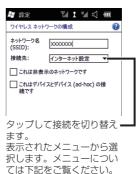
以下の画面も確認してください。

◇ ネットワークアダプタの構成画面 ◇

「ネットワークカードの接続先」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 2-10 ページ）。

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては左記をご覧ください。

◇ ワイヤレスネットワークの構成画面 ◇

「接続先」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 2-13 ページ）。

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

■ 表示されるメニューについて

・「インターネット設定」：
自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。
・「社内ネットワーク設定」：
社内のネットワークに接続するときに選びます。

3章　電話

電話　3-2

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする　3-18

ウィルコムのサービスを利用する　3-36

電話帳　3-38

電話

電話のかけかた、受けかたなどについて説明します。

電話をかける

ダイヤルキーを押して電話番号を入力し、電話をかけます。

1 **この製品の電源を入れます。**

2 **[通話]キーを押します。**
“電話”が起動します。

3 **ダイヤルキーを押して、電話番号を入力します。**
押した電話番号が画面上に表示されます。

4 **[通話]キーを押します。**
相手に電話がかかります。相手がでたら、話しをします。

5 **通話を終えるときは、[終話]キーを押します。**
しばらくすると、待ち受け画面（Today画面）に移ります。再度、電話をかけるときは[通話]キーを押します。

ご注意

● **電話を切るときは**
[終話]キーを押してください。[×]をタップしても（画面を閉じても）電話は切れません。

MEMO

● 入力できる番号の桁数は 64 桁までです。
● 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力せずに電話をかけても、電話はかかりません。
● PHS／携帯電話に電話をかけるときは、「0」から始まる 11 桁の電話番号を入力してください。
● ご購入時、自分の電話番号は相手に通知するように設定されています。
この設定を変えたり（通知しないようにしたり）、その通話だけ通知しないようにできます。設定の変更については 3-23 ページ、ある相手だけ通知しないようにする方法は 3-11 ページをご覧ください。
● 入力途中で番号を間違えたときは、[Backspace]キーを押すと、最後の番号（右端の番号）を削除します。
● 入力途中の番号を最初から入力したいときは、[終話]キーを押し、一度、待ち受け画面（Today 画面）に戻った後、[通話]キーを押し、ダイヤルキーを押します。
● 待ち受け画面（Today 画面）で[通話]キーを押し、画面左下の[キーパッド]をタップしてキーパッドを表示させ、画面のダイヤルキーをタップしても番号の入力はできます。

MEMO

● 通話キーを押した直後のダイヤル画面には、発信・着信した最新の相手や“連絡先”の内容が表示されます。
この表示をタップして電話をかけることもできます。

MEMO

- ダイヤル画面に表示される「留守番電話」は、この製品では使えません。
- ご購入時は、通話中に誤ってタップしても動作しないように近接センサーがはたらき、通話中（耳に押し当てているとき）にはタップ操作ができません。耳から離すとタップ操作ができるようになります。常にタップ操作ができるように設定を変更することもできます（☞9-11 ページ）。
- ヘッドセットなどを使って電話をするときは、充電池の消耗をおさえるため、キーロックをして画面をオフにしておくことをおすすめします。

電話を受ける

かかってきた電話に出ます。

1 **電話がかかってきたら、着信音が鳴り、(カーソル)キーの周囲を光が回転します。**

① “連絡先”に登録しているときは、名前／顔写真も表示されます。

② 相手が発信者番号を通知しているときは電話番号が表示されます。

発信者番号を通知していないときは、以下の内容で表示されます。

「ユーザ非通知」:

相手が電話番号を通知していません。

「通知不可能」:

相手が通知できないエリアや電話機からの電話です。

「公衆電話発信」:

公衆電話からの電話です。

MEMO

- 設定によっては音は鳴らず、バイブレータによって電話がかかってきたことを知らせます。
- 着信音は、ボリュームキーの長押しで消すことができます。
- 着信中に着信音の音量を変えられません。あらかじめ音量の調整をしておいてください（☞3-18 ページ）。

2 **[通話]キーを押し、相手と話しをします。**

・エニーキーアンサー(☞3-23 ページ)の設定をオンにしていると、[通話]キー以外のキーを押しても電話を取ることができ、相手と話しができます。

・通話中に相手の声の大きさを変えるときは、側面のボリュームキーで調節します。

3 **相手と話しが終わったら、[終話]キーを押します。**

MEMO

- かかってきた電話にすぐに出られないときは、[終話]キーを押すと保留応答の状態にできます。この場合、「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」の応答メッセージが流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
  画面右下の[無視]をタップしても同じメッセージが流れます。
  保留応答中に電話に出るときは[通話]キーを押します。
- **電話に出ることができなかったときは**
  待ち受け画面（Today 画面）の[アイコン]に不在着信の件数が表示されます。このアイコンをタップすると、着信履歴画面が表示されます。
- この製品では、電話を切ったときに自動的にウィルコムの留守番電話サービスにメッセージがあるか確認をします。ウィルコムの留守番電話サービスに登録している場合、メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます（☞3-36 ページ）。

通話中に保留する

通話中、話しを保留できます。保留中は、お互いの声は聞こえません。
保留中はメロディが流れます。

1 **画面左下の 保留 をタップします。**

① 保留中は、 保留解除 に変わります。

2 **保留を解除するときは、 保留解除 をタップします。**

相手と通話できます。

MEMO

- 保留 が表示されていないときは、画面左下の 通話状況 をタップすると表示されます。

一度かけた番号に電話をかける（リダイヤル・発信履歴を利用する）

一度かけた電話番号に再度、電話をかけます。

1 **待ち受け画面（Today 画面）で、(カーソル)キーの右を押します。**

発信履歴画面が表示されます。

2 **履歴画面で相手を選択し、[発信]キーを押します。**

相手に電話がかかります。

MEMO

- 手順 **2** で相手をタップし、発信画面で[発信]をタップしても、電話をかけられます。
- 発信履歴画面では、履歴の削除ができます。削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[削除]－[1 件削除]をタップします。発信履歴すべてを削除するときは[全件削除]、数件を削除するときは[選択削除]をタップします。
- 発信履歴を利用して電話をかけるときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-23 ページ）の設定にしたがいます。
- 発信履歴は、ご購入時の待ち受け画面（Today 画面）でのみ使うことができます。他の待ち受け画面（Today 画面）（☞ 9-2 ページ）に変更した場合、使うことはできません。

かかってきた番号に電話をかける（着信履歴を利用する）

かかってきた電話番号に電話をかけます。

1 **待ち受け画面（Today 画面）で、(カーソル)キーの左を押します。**

着信履歴画面が表示されます。

2 **履歴画面で相手を選択し、[発信]キーを押します。**

相手に電話がかかります。

MEMO

- 手順 **2** で相手をタップし、着信画面で[発信]をタップしても、電話をかけられます。
- 着信履歴画面では、履歴の削除ができます。削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[削除]－[1 件削除]をタップします。着信履歴すべてを削除するときは[全件削除]、数件を削除するときは[選択削除]をタップします。
- 着信履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-23 ページ）の設定にしたがいます。
- 着信履歴は、ご購入時の待ち受け画面（Today 画面）でのみ使うことができます。他の待ち受け画面（Today 画面）（☞ 9-2 ページ）に変更した場合、使うことはできません。

電話機能の“通話履歴”を使って電話をかける

一度かけた電話番号、またはかかってきた電話番号に、電話をかけます。

1 待ち受け画面（Today 画面）で、[電話]キーを押します。

“電話”が起動します。

2 画面の 通話履歴 をタップします。

通話履歴画面が表示されます。
通話履歴画面には、かけた番号、かかってきた番号が共に表示されます。

MEMO

- 通話履歴 が表示されていないときは、画面左下の キーパッド をタップします。

3 通話履歴画面で相手を選択し、[電話]キーを押します。

相手に電話がかかります。
通話履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには OK をタップします。

“電話帳”の電話番号を使って電話をかける

電話帳を利用して電話をかけます。
電話帳は、“連絡先”のデータを利用しています。あらかじめ、連絡先に必要な情報を登録してください。

1 待ち受け画面（Today 画面）で、(カーソル)キーの下を押します。

電話帳の一覧画面が表示されます。

① (カーソル)キーの上下左右を使って相手を選択します。

MEMO

- 一覧画面には、電話番号は表示されません。

2 電話をかける相手をタップします。

電話帳の 基本 タブ画面が表示されます。

3 電話番号をタップします。

相手に電話がかかります。

MEMO

- 電話帳を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-23 ページ）の設定にしたがいます。

スピードダイヤルを使って電話をかける

よく電話をかける相手をスピードダイヤルに登録しておくことで、決まった操作で電話をかけることできます。履歴や電話帳から、かけたい相手を探す手間が省けます。

スピードダイヤルに登録する

1 **ダイヤル画面で［スピードダイヤル］をタップします。**

スピードダイヤル画面が表示されます。
［スピードダイヤル］が表示されていないときは、画面左下の［キーパッド］をタップしてください。

2 **画面右下の［メニュー］－［新規作成］をタップします。**

連絡先の選択画面が表示されます。

3 **スピードダイヤルに登録したい相手をタップします。**

4 **短縮番号の右の［▲］［▼］をタップして、登録する番号を選択します。**

99 番まで登録できます。
ここで、名前、電話番号を変更することもできます。

5 **［OK］をタップします。**

スピードダイヤル画面に戻ります。

6 **［OK］をタップします。**

ダイヤル画面に戻ります。

スピードダイヤルを使って電話をかける

1 **ダイヤル画面で［スピードダイヤル］をタップします。**

スピードダイヤル画面が表示されます。

2 **電話をかけたい相手を選択し、［通話］キーを押します。**

相手に電話がかかります。

MEMO

- 手順 **2** で相手を選択した後、画面左下の［ダイヤル］をタップしても電話をかけられます。

発信／着信履歴画面について

■ 発信履歴画面

■ 着信履歴画面

① タブをタップすると、着信履歴、すべての履歴、発信履歴画面が表示されます。

② 発信履歴画面では発信した日時、着信履歴画面では着信した日時が表示されます。

③ 発信履歴画面では発信した相手（電話番号）、着信履歴画面では着信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。

④ 発信／着信／不在着信がアイコンで表示されます。
：発信した相手
：着信した相手
：不在着信した相手

⑤ “連絡先”にその電話番号を登録しているときは、その番号に対応したアイコンが表示されます。
は、連絡先に登録していない相手を示します。

⑥ 伝言メモがあるときに表示されます。

履歴画面を切り替える

履歴画面で、(カーソル)キーの左または右を押すと、発信履歴／全履歴／着信履歴が切り替わります。

通話履歴画面について

ここでは、ダイヤル画面で 通話履歴 をタップしたときの通話履歴画面について説明します。
通話履歴 が表示されていないときは、画面左下の キーパッド をタップしてください。

① 発信／着信／不在着信がアイコンで表示されます。

：発信した相手

：着信した相手

：不在着信した相手

② 連絡先に登録している相手の場合、ここに電話番号が表示されます。

③ 連絡先に登録している相手の場合、ここに名前が表示されます。

④ 発信した日時、または着信した日時が表示されます。

⑤ 連絡先に登録している電話の種別が表示されます。

発信中、ポーズを使う

電話番号の後ろに「p」（ポーズの略）とサービスの番号を入力すると、各種プッシュホンサービスを利用することができます。
入力の例：03XXXXXXXXp12XX （12XXがサービスの番号）
連絡先に例のように登録してもサービスを利用することができます。

ダイヤル画面で利用する

1 ダイヤル画面で「電話番号」、「p」、「サービス番号」などを入力します。

「p」は、[＊]キーを長く（約２～３秒）押すと入力できます。

2 [発信]キーを押します。

「p」の前の番号までが発信され、電話がかかります。

3 相手先とつながった後、再度[発信]キーを押します。

「p」より右の番号がトーン信号で発信されます。

MEMO

- ポーズ（「p」）は複数入力できます。複数のポーズ（「p」）が入っているとき、最初のポーズまでを発信して止まります。[発信]キーを押すと次のポーズまでを発信し２つ目のポーズで止まります。再度、[発信]キーを押すと次のポーズまでを発信します。以降同様に動作します。

相手の声の大きさ（受話音量）を変える

●側面のボリュームキーで調節する

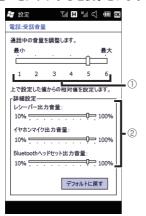
ご注意

- **音量変更に注意してください**

  音量を上げるときは、1 段階ずつ上げてください。

- **相手に話す自分の声の大きさは変えられません。**

●電話画面（基本タブ）の受話音量で変える

電話画面（基本タブ）の受話音量で、受話音量を調節します。
電話画面（基本タブ）の受話音量は、スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”をタップして基本タブの“受話音量”をタップすると表示されます。

① 音量のレベルに直接タップして調節します。

② ①で設定した音量を最大音量として、個別に音量を設定します。

伝言メモ

電話に出られないときなどに相手からのメッセージをこの製品に録音してあとで聞けるように設定できます。

伝言メモを設定する

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”のマナータブをタップします。**

2 **“伝言メモ”をタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。

① チェックを付けると、伝言メモ機能が有効になります。

② 電話がかかってきて呼び出しが始まり伝言メモ機能に切り替わるまでの時間を設定します。

③ チェックを付けると「ただいま電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。
チェックを外すと、「ただいま電話にでることができません。しばらくたってからおかけ直し下さい。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません）。

3 **OKをタップします。**

MEMO

- 伝言メモの録音件数、録音時間
  ・録音件数：5 件
  ・録音時間：1 件につき最大約 15 秒
  録音件数が 5 件のとき伝言メモ機能がはたらくと、相手にはアナウンスのみ流れます。録音はできません。
- この伝言メモは、ウィルコムが提供している留守番電話サービスとは異なります。この製品の伝言メモとウィルコムの留守番電話サービスの両方を利用しているときは、呼び出し時間が短い方が優先されます。伝言メモの呼び出し時間の設定は前ページ手順**2**の画面を、ウィルコムの留守番電話サービスの呼び出しの設定は 3-36 ページをご覧ください。
- **伝言メモを解除するには**
  伝言メモ画面で、「伝言メモ機能を有効にする」のチェックを外します。

伝言メモを聞く

伝言メモで録音メッセージを受けたときは、待ち受け画面（Today 画面）に アイコンが表示されます（ アイコンは、伝言メモ画面に録音メッセージがあるときに表示されます）。

1 **キーを押して電話のダイヤル画面を表示します。**

2 **画面右下の メニュー － 伝言メモ をタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。

① 録音メッセージがあることを示します。

MEMO

- 待ち受け画面（Today 画面）に アイコンが表示されているときは、 アイコンをタップしても伝言メモ画面が表示されます。

3 **再生したいメッセージがあるものを選択し、画面左下の 再生 または画面右下の メニュー － 再生 をタップします。**

録音されたメッセージが受話口から流れます。

MEMO

- 録音されたメッセージを消去するとき、消去するメッセージを選択して メニュー － 消去 をタップし、確認画面で はい をタップします。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

電話をかけるとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、3-2 ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-23 ページをご覧ください。

1 **キーを押し、ダイヤルキーを押して電話番号を入力します。**

2 **画面右下の メニュー － 通話 － 184 発信 をタップします。**

この場合、自分の電話番号を通知せずに電話をかけます。
分計発信するときは、 184 分計発信 をタップします。

3 **通話を終えるときは、 キーを押します。**

電話が切れます。

MEMO

- 通常、自分の電話番号を通知しない状態のときに一度だけ通知するときは、上記の手順で メニュー － 通話 － 186 発信 をタップすると、自分の電話番号を通知します。
  また、分計発信するときは、 186 分計発信 をタップします。

パワーサーチを行う

待ち受け中に、一番電波の強い基地局を選択できます。

1 **[✓]キーを押し、画面右下の[メニュー] − [パワーサーチ]をタップします。**

2 **パワーサーチが始まります。**
パワーサーチ終了後、元の画面に戻ります。

MEMO
- パワーサーチを行っても、場所によっては電波状態が変わらないことがあります。

ご注意
- **パワーサーチ実行中のときは**
  キーを押したりタップしないでください。

通話中にトーン信号（プッシュ信号）を送る

ダイヤルキーを使って、トーン信号（プッシュ信号）を送ることができます。
銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用できます。

1 **相手先に電話をかけます。**

2 **ダイヤルキーを押すと、数字が画面上に表示され同時にその数字のトーン信号（プッシュ信号）が送られます。**

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスをご利用いただくことにより、国際電話をかけられます（事前のお申し込みは不要です）。

この製品から海外へかける

例）アメリカの「212-XXX-XXXX」へかける場合

1 **[0][1][0]と国番号に続いて相手の電話番号を入力します。**

MEMO
- 通話料については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 申込手数料、月額料金は不要です。

海外からこの製品へかける

例）アメリカからこの製品（070-XXXX-XXXX）へかける場合

1 **以下の電話番号を入力します。**

※アクセス番号は、国によって違います。

自分の電話番号を見る

この製品に設定されている電話番号を表示します。

1 キーを押し、画面右下の メニュー － 自局番号表示 をタップします。

MEMO
- 通話中も同様の操作で表示できます。

2 画面に自分の電話番号とオンラインサインアップで登録したメールアドレスが表示されます。

① 国・地域／事業者が表示されます。

② この製品の電話番号

③ オンラインサインアップで登録したメールアドレス
オンラインサインアップをしていないときは、表示されません。

3 OK をタップすると、元の画面に戻ります。

かかってきた番号／かけた番号を“電話帳”・“連絡先”に登録する

発信履歴、着信履歴、通話履歴から電話番号を“連絡先”に登録し活用できます。

発信履歴／着信履歴の電話番号を“電話帳”に登録する

1 待ち受け画面（Today 画面）で、(カーソル)キーの左または右を押します。
着信履歴画面または発信履歴画面が表示されます。

2 着信履歴画面または発信履歴画面で、登録する電話番号を(カーソル)キーの上下を使って選択します。

3 画面右下の メニュー － 電話帳に登録 をタップし、新規登録 または 追加登録 をタップします。
※ 追加登録 をタップした場合は、電話番号を追加したい相手をタップし、手順 **4** に移ります。

MEMO
- 電話帳に登録する操作は、実際には“連絡先”に登録されます。

4 電話番号の種別（PHS や携帯電話、勤務先電話など）をタップします。
選択した種別に電話番号が登録されます。たとえば、PHS を選択すると、PHS の項目に電話番号が入ります。

ご注意
- **追加登録のとき、「電話番号の種別」の選択に注意してください**

手順 **3** で 追加登録 をタップした場合、すでに電話番号が入っている「電話番号の種別」を選択すると、手順 **2** で選択した電話番号に置き換わります。追加登録するときは「電話番号の種別」の選択に注意してください。

5 “電話帳”の新規入力画面または編集画面になりますので、各項目をタップして、情報を入力します。

6 入力が終わったら、画面右下の 確定 をタップします。
手順 **2** で選択した電話番号が入った電話帳のデータが保存されます。

通話履歴の電話番号を“連絡先”に登録する

1 ダイヤル画面で、 通話履歴 をタップします。
通話履歴画面が表示されます。

2 登録する電話番号を(カーソル)キーの上下を使って選択します。

3 画面右下の メニュー － 連絡先に保存 をタップします。

4 <新しい連絡先>が選択されていることを確認して、画面左下の 選択 をタップします。

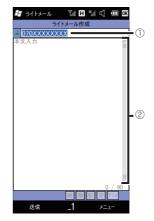
5 “連絡先”の入力画面になりますので、各項目をタップして情報を入力します。

6 入力が終わったら、OKをタップします。

発信履歴や着信履歴を使ってライトメールを作る

電話をかけた相手や電話をうけた相手の電話番号を使って、ライトメールを作成できます。
ここでは、発信履歴画面を使って、ライトメールを作成する方法を説明します。
着信履歴画面を使った場合も同じようにできます。

1 待ち受け画面（Today 画面）で、(カーソル)キーの右を押します。
履歴画面が表示されます。

2 送信する相手を選択し、画面右下の メニュー － ライトメール作成 をタップします。
選択した相手の電話番号が入った“ライトメール”の新規作成画面が表示されます。

① 選択した相手の電話番号

② 本文入力欄

3 本文入力欄をタップし、本文を入力します。

4 画面左下の 送信 をタップします。
ライトメールが送信されます。

電話のメニュー

ダイヤル画面のメニュー

連絡先		“連絡先”を表示する。
連絡先を開く※ 1		選択している相手の“連絡先”の概要を表示する。
通話を開く※ 2		選択している番号を“連絡先”に登録したり、通話記録を表示／削除する。
スピードダイヤルを開く※ 3		選択している相手のスピードダイヤル編集画面を表示する。
通話	**発信**	電話をかける。
	184 発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186 発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-37 ページをご覧ください。
	184 分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける。
	186 分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける。
連絡先に保存※ 2		選択している番号を、新たに“連絡先”に登録する。
貼り付け		コピーしている電話番号などを貼り付ける。
パワーサーチ		一番電波の強い基地局を選択する。
自局番号表示		この製品に設定されている電話番号を表示する。
伝言メモ		録音している伝言メモをリスト表示する。
通話履歴		通話履歴画面を表示する。
オプションの表示		電話設定画面を表示する。
表示	**通話と連絡先**	通話記録と“連絡先”を表示する。
	すべての通話	すべての通話記録を表示する。
	スピードダイヤル	スピードダイヤルに登録している相手を一覧表示する。

※ 1：ダイヤル画面の履歴で、連絡先に登録している相手を選択しているときに表示されます。
※ 2：ダイヤル画面の履歴で、電話番号を選択しているときに表示されます。
※ 3：ダイヤル画面の履歴で、スピードダイヤルに登録している相手を選択しているときに表示されます。

通話画面のメニュー

保留	通話を保留する。保留中は、保留解除になる。
ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにする。
ハンズフリーをオン	ハンズフリーで通話ができる（☞ 7-9 ページ）。
貼り付け	コピーしている電話番号などを貼り付ける。
連絡先の表示※ 1	通話している相手の“電話帳”の 概要 タブ画面を表示する。
連絡先に保存※ 2	入力した番号を、新たに“連絡先”に登録する。
通話履歴	通話履歴画面を表示する。
スピードダイヤル	スピードダイヤルに登録している相手を一覧表示する。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する。
オプションの表示	電話設定画面を表示する。

※ 1：連絡先に登録している相手を選択しているときに表示されます。
※ 2：電話番号を入力したときに表示されます。

発信／着信履歴画面のメニュー

電話帳に登録	新規登録	選択している番号を、新たに“電話帳”に登録する。
	追加登録	選択している番号を、登録している“電話帳”のデータに追加で登録する。
伝言メモ		伝言メモ画面を表示する。
削除	１件削除	選択している履歴を削除する。
	選択削除	タップし、チェックマークを付けた履歴を削除する。
	全件削除	すべての履歴を削除する。
ライトメール作成		選択している相手を宛先とする、“ライトメール”の新規作成画面を表示する。
文字サイズ		文字サイズを大・小から選択する。

通話履歴画面のメニュー

通話	発信	電話をかける。
	184 発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186 発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-37 ページをご覧ください。
	184 分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける。
	186 分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける。
連絡先に保存		選択している番号を、新たに“連絡先”に登録する。
削除		選択している履歴を削除する。
フィルター	すべての通話	すべての通話記録を表示する。
	不在着信履歴	不在着信履歴だけ表示する。
	発信履歴	発信履歴だけ表示する。
	着信履歴	着信履歴だけ表示する。
すべての履歴を削除		すべての履歴を削除する。
通話時間		累積の通話時間、最近の携帯電話での通話時間を表示する。

発信／着信画面のメニュー

電話帳に登録	新規登録	選択している番号を、新たに“電話帳”に登録する。
	追加登録	選択している番号を、登録している“電話帳”のデータに追加で登録する。
特番付加発信	184 発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186 発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-37 ページをご覧ください。
	184 分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける。
	186 分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける。
伝言メモ		伝言メモを再生する。
削除		表示している履歴を削除する。
ライトメール		表示している相手を宛先とする、“ライトメール”の新規作成画面を表示する。

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする

着信音の音量を調節する

電話を着信したとき着信音の音量を変えるには、以下のような方法があります。

●設定画面であらかじめ調整する

1 スタート画面の“設定”をタップし、“システム”－“着信音量”をタップします。

2 つまみをドラッグして調整します。

3 調節が終われば OK をタップします。

着信音のメロディを変える

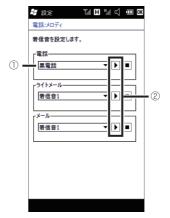
着信音のメロディを変更できます。また、この製品に保存している音楽ファイル（WAVE ファイル、MIDI ファイル）を着信音にできます（☞次ページ）。
待ち受け画面（Today 画面）から変更するときは 1-14 ページをご覧ください。

メロディを変える

1 スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”をタップします。

電話設定画面が表示されます。

2 呼出 タブをタップし、“メロディ”をタップします。

電話、ライトメール、メールそれぞれに着信音のメロディを設定します。

① 着信音のメロディを選択します。
「黒電話」、「着信音 1」などは、この製品に入っているメロディです。

② メロディを再生します。■ をタップすると停止します。

3 設定が終われば、OK をタップします。

音楽ファイルを着信音のメロディに設定する

前ページの操作の前に、あらかじめ次の操作を行います。

①エクスプローラー画面を表示して、着信音にしたい音楽ファイルを表示します。
②音楽ファイルをタップしたままにして、表示されたメニューから「電話の着信音に設定」をタップします。
③表示された確認画面で ok をタップします。
④他に着信音にしたい音楽ファイルがあるときは、①から操作を繰り返します。

以降は、前ページの操作手順2で、設定した音楽ファイルが選択できるようになります。

ご注意

- **着信音として選択できるファイルは**
  着信音として選択できるのはWAVEファイル、MIDIファイルです。
  MP3やWMAは選択できません。
  また、MIDIファイルによっては、再生できないものもあります。

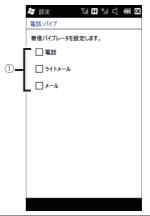
MEMO

- 追加した音楽ファイルは、「My Documents」の「着信音」フォルダに保存されます。消したいときは、次の操作で消すことができます。
  ①エクスプローラー画面を表示して、「My Documents」の「着信音」フォルダを選択します。
  ②消したい音楽ファイルをタップしたままにして、表示されたメニューから「削除」をタップします。
  ③確認画面で ok をタップします。

バイブレータの設定をする

バイブレータの設定ができます。
待ち受け画面（Today画面）から設定するときは1-14ページをご覧ください。

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”をタップします。**
電話設定画面が表示されます。

2 **呼出タブをタップし、“バイブ”をタップします。**

①電話着信時、ライトメール受信時、メール受信時それぞれに、バイブレータのオン／オフを設定します。
チェックを付けるとバイブレータはオンになり、チェックを外すとオフになります。
バイブレータのパターンは固定です。変えることはできません。

3 **設定が終われば、OKをタップします。**

通話中の着信を通知する

通話中に、着信があったときやＥメール（ウィルコム）のアカウントにメールを受信したことを音とメッセージの表示で通知することができます。
ただし、通話中に着信があっても、通話を切り替えることはできません。

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”をタップします。**
電話設定画面が表示されます。

MEMO
- 待ち受け画面（Today 画面）から、基本メニューの「設定」－「電話機能」をタップしても電話設定画面を表示できます。

2 **基本 タブで“データ通信”をタップします。**
通話中着信の ON ／ OFF を設定します。

① ON にすると、通話中に電話などがかかってきたとき通知音が鳴りメッセージが画面に表示されます。
※ 通信中に着信したときの設定は、右記をご覧ください。

3 **設定が終われば、OK をタップします。**

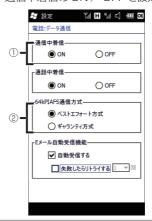
インターネット接続中などデータ通信中に着信する

W-SIM でデータ通信中に、通信を切断して電話を受けるようにできます。
W-SIM でパケット方式で通信しているときのみ有効です。

MEMO
- データ通信は、「インターネットに接続しているとき」「メールを送受信しているとき」
- パケット方式は、4X ／ 2X ／ 1X パケット方式になっているときです。
  この設定が利用できるか、ご加入のサービスをご確認ください。

ご注意
- **ファイルのダウンロード中でも着信します。**
  ダウンロードしている途中でも回線を切断して着信します。ご利用の際には注意してください。

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”をタップします。**
電話設定画面が表示されます。

2 **基本 タブで“データ通信”をタップします。**
通信中着信の ON ／ OFF を設定します。

① ON にすると自動的に回線を切断して着信します。OFF にすると着信しません(回線はつながったままです)。

② 64kPIAFS で接続するとき、ベストエフォート方式で通信するのかギャランティ方式で通信するのかを設定します。

- **ベストエフォート方式**
  基地局の利用状況や電波の状況により、64Kbps と 32Kbps をフレキシブルに選択し、切れにくい通信環境を実現する方式です。
- **ギャランティ方式**
  64Kbps 固定の通信方式です。
  64Kbps の通信が確保できないときは回線を切断します。

3 **設定が終われば、OK をタップします。**

自動受信の回数を指定する

ウィルコムアカウントの場合に有効になります。
自動受信できなかったときに、再度自動受信を行う回数を指定します。

1 **スタート画面の “設定” をタップし、“個人” − “電話” をタップします。**
電話設定画面が表示されます。

2 **基本 タブで “データ通信” をタップします。**
自動受信を行う回数を指定します。

① 自動受信できなかったときに、再度自動受信を行う回数を指定します。

ライトメール受信時の呼び出し時間を設定する

ライトメール受信時に、受信したことを知らせる着信音の時間を設定します。
ここで設定した時間、または回数まで呼び出しを行います。

1 **スタート画面の “設定” をタップし、“個人” − “電話” をタップします。**
電話設定画面が表示されます。

MEMO
- 待ち受け画面（Today 画面）から、基本メニューの「設定」−「電話機能」をタップしても電話設定画面を表示できます。

2 **呼出 タブをタップし、“呼出時間” をタップします。**

① ライトメール受信時、呼び出し時間を設定するのか、“メロディ”（☞ 3-18 ページ）で設定した音を何回再生するのかを設定します。

3 **設定が終われば、OK をタップします。**

マナーモードを設定する

マナーモードの設定を行います。
待ち受け画面（Today 画面）から設定するときは 1-15 ページをご覧ください。

1 **スタート画面の “設定” をタップし、 “個人” － “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナー タブをタップし、 “マナーモード” をタップします。**

① マナーモードにする／しないを設定します。

② マナーモードにしたときのモードの種類を選択します。

標準	システム音※1 ：OFF 着信音 ：OFF バイブレータ ：ON 伝言メモ ：ON
サイレント	システム音※1 ：OFF 着信音 ：OFF バイブレータ ：OFF 伝言メモ ：ON
おやすみ	システム音※1 ：ON 着信音 ：OFF バイブレータ ：OFF 伝言メモ ：ON
オリジナル	システム音※1、着信音※2、バイブレータ、伝言メモ※3の設定ができます。

※1 システム音とは、画面タップやアラーム、音楽などスピーカーから出力する再生音です。

※2 システム音がONのときのみ、着信音の設定（ON/OFF）ができます。

※3 伝言メモがONのときは、伝言メモの設定（☞3-10ページ）にしたがいます。

3 **設定が終われば、 OK をタップします。**

安全運転モードの設定をする

車を運転中などで電話にでることができない場合、安全運転モードにできます。

1 **スタート画面の “設定” をタップし、 “個人” － “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナー タブをタップし、 “安全運転” をタップします。**

① 安全運転モードにする／しないを設定します。

② ①にチェックを付けた場合に、電話機応答、ネットワーク応答のどちらかを選択します。

- **電話機応答**
  この製品が応答します。
- **ネットワーク応答**
  ウィルコムのネットワークが応答します。
  ウィルコムの留守番電話サービスへの申し込みが必要です。

③「伝言メモに録音する」にチェックを付けると、相手にアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。

チェックを付けない場合、アナウンスだけ流れます。

④「留守番電話サービスを利用する」にチェックを付けると、留守番電話サービスのアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。

チェックを付けない場合、アナウンスだけ流れます。

※ネットワーク応答を利用するときはウィルコムの留守番電話サービスに申し込む必要があります。

3 **設定が終われば、 OK をタップします。**

発信者番号通知などを設定する

発信者番号の通知、圏外警告音、エニーキーアンサーの設定をします。

発信者番号通知：電話をかけたとき、自分の電話番号を相手に通知します。

圏 外 警 告 音：圏外に移動したときに警告音を鳴らします。

エニーキーアンサー：着信した電話を［通話］キー以外のキーでも取ることができます。

1 **スタート画面の “設定” をタップし、 “個人” － “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

MEMO

- 待ち受け画面（Today 画面）から、基本メニューの「設定」－「電話機能」をタップしても電話設定画面を表示できます。

2 **基本 タブをタップし、 “発着信／通話” をタップします。**

①「ON」	：	相手に自分の番号を通知します。
「OFF」	：	相手には「非通知」と表示されます。
②「ON」	：	警告音が鳴ります。
「OFF」	：	警告音は鳴りません。
③「ON」	：	［通話］キー以外のキーでも電話を取れます。
「OFF」	：	電話を取るときは、［通話］キーを押します。

3 **設定が終われば、OK をタップします。**

MEMO

- エニーキーアンサーが ON の場合でも、［MULTI］、［←］、［Windows Live］、画面回転キーでは電話は取れません。

セキュリティをかける

万一のため、通話や通信に制限をつけたり、W-SIM や USIM カードをロックすることができます。

通話通信機能の制限

次のことができなくなります。

・電話をかける
・インターネット接続※
・ライトメールの送信
・USB 接続
・メールの送受信※
・内蔵ワイヤレス LAN
・Bluetooth
・赤外線通信

※ USIM カードを使ったデータ通信は、3-34 ページをご覧になりロックしてください。

W-SIM ロック（☞次ページ）

次のことができなくなります。

・通話
・ライトメール送受信
・インターネット接続

PIN コードを設定することで W-SIM（PHS 電話機能）をロックします。

PIN コードを入力すると、上記機能が使えるようになります。

USIM カードのロック（☞ 3-34 ページ）

USIM カードを使ったデータ通信（インターネット接続など）ができなくなります。

通話／通信機能を制限する

1 **スタート画面の “設定” をタップし、 “個人” － “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **セキュリティ タブをタップし、 “通話通信制限” をタップします。**

3 **暗証番号入力画面が表示されますので、暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞ 3-25 ページ）。

MEMO

- 暗証番号を一定回数以上間違えると、次に正しい暗証番号を入力しても「暗証番号が違います。」と表示されます。
  このようなときは、いったん電源を切った後、再度電源を入れて、暗証番号を入力してください。

4 表示された画面で、「制限する」にチェックを付け、OK をタップします。

これでロックがかかります。

■ 通話／通信機能の制限を解除する

1 前ページの手順 1 ～ 3 を行い表示された画面で「制限しない」にチェックを付けます。

2 OK をタップします。

ロックが解除されます。

W-SIM をロックする

1 スタート画面の "設定" をタップし、"個人" – "電話" をタップして、セキュリティ タブをタップします。

2 "W-SIM ロック" をタップし、表示された暗証番号画面で暗証番号を入力します。

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます。（☞次ページ）。

3 W-SIM ロック設定画面で、PIN コードを入力します。入力できる PIN コードは 4 桁～ 16 桁の数字です。確認のために、「確認」欄に同じ PIN コードを入力します。

4 設定 をタップし、表示された画面で OK をタップします。

5 表示された W-SIM ロック設定画面で、OK をタップします。さらに、セキュリティ設定画面で OK をタップします。

6 電源を切ります。

■ W-SIM をロックした状態で電源を入れた場合

PIN コード入力画面が表示されます。

① PIN コードを入力して、画面右下の 入力 をタップします。

W-SIM のロックが一時的に解除され、通話／通信機能が使えるようになります。

電源を切ると、再度 W-SIM がロックされます。

MEMO

- 上記手順①で、画面の キャンセル をタップした場合、通話／通信機能以外の機能が使えます。

  この状態で通話機能を使おうとすると、PIN コード入力画面が表示されます。また、通信機能を使おうとすると、使用できない旨のメッセージが表示されます。

ご注意

- **PIN コードは絶対に忘れないでください**

  PIN コードは、盗難などによって他人にこの製品の電話／ライトメールなどを使われないようにするために、W-SIM をロックする暗証番号です。

  PIN コードを忘れると通信／電話機能が使えなくなりますので、絶対に忘れないようにしてください。

  PIN コードを忘れたときは、PUK コードを入力します（☞次ページ）。

■ ロックを解除する（完全解除）

電源を切っても、W-SIM がロックされないようにします。

1 前ページの「W-SIM をロックする」の手順 1 ～ 2 と同様にして、W-SIM ロック設定画面を表示します。

2 表示された画面で、PIN コードを入力し 解除 をタップします。

ロックが解除され、通信／電話機能を使えます。

■ PIN コードを変更する

PIN コードの変更は、PIN コードが設定されているときにできます。

1 前ページの「W-SIM をロックする」の手順 1 ～ 2 と同様にして、W-SIM ロック設定画面を表示します。

2 PIN コード変更 をタップします。

3 「現在の PIN コード」欄に現在の PIN コードを入力します。そして、「新しい PIN コード」欄に新しい PIN コードを入力し、さらに「確認」欄に新しい PIN コードを再度入力します。

4 変更 をタップします。

PIN コードが変更されます。

ご注意

● PIN コードを間違って入力すると

ロックを解除するときなど、間違った PIN コードを 10 回入力すると PUK コードの入力が必要となりますので、PIN コードを忘れないようにしてください。この PUK コードの入手方法は、W-SIM の箱に付属の取扱説明書に記載していますので、そちらをご覧になり PUK コードを入手し入力してください。

暗証番号を変更する

ご購入時に設定されている暗証番号（「0000」（半角数字 0（ゼロ）4 つ））を別の暗証番号に変更できます。

ご注意

● 暗証番号は絶対に忘れないでください

この暗証番号を忘れると、W-SIM を使った機能（電話、メール、ライトメール、インターネットなど）ができなくなります。
万一のために、暗証番号は控えておいてください。

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “個人” － “電話” をタップします。

電話設定画面が表示されます。

MEMO

● 待ち受け画面（Today 画面）から、基本メニューの「設定」－「電話機能」をタップしても電話設定画面を表示できます。

2 セキュリティ タブをタップし、暗証番号変更 をタップします。

3 「現在の暗証番号」に現在の暗証番号を入力します。

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）4 つ）になっています。

4 「新しい暗証番号」の欄に新しい暗証番号を入力し、さらに「確認」欄に同じ暗証番号を入力し、 変更 をタップします。

5 確認メッセージが表示され、 OK をタップすると暗証番号が変わります。

リモートロックを利用する

この製品を紛失した場合に、個人情報の漏洩や悪用を防ぐため、他の機器から遠隔操作してこの製品を使用できないようにロックすることができます。
リモートロック中は、以下の操作だけできます。
- 電話を受ける
- 電話を切る
- 電源を入れる／切る

リモートロックするには、以下の方法があります。
- 電話をかける。
- ライトメールを送信する。
- ウィルコムのホームページから行う。
- ウィルコムの各種設定変更メニューや代行サービスを利用する。

MEMO

- 遠隔操作のための機器には、別のウィルコムの電話機や、サブアドレス通知可能なPHS電話機・ISDN対応電話機などが必要です。
  サブアドレス通知とは、電話番号のあとに続けて入力できる「＊数字」のことです。
- ウィルコムのメニューやサービスについてくわしくは、ウィルコムのホームページをご覧いただくか、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

ご注意

- **リモートロックはW-SIMに対して設定できます**
  USIMカードに対してリモートロックを設定することはできません。

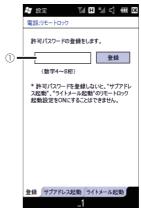
リモートロックを設定する

リモートロックを起動するには、準備として次の３つの設定が必要です。
- 許可パスワード(４～８桁の数字)を登録する。
- リモートロック起動設定を「ON」に設定する。
- この製品を遠隔操作する機器の電話番号を登録する。

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “個人” － “電話” をタップします。
電話設定画面が表示されます。

2 セキュリティ タブをタップし、 “リモートロック” をタップします。

3 表示された画面でW-SIMの暗証番号を入力します。
ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字０（ゼロ）が４つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞前ページ）。

4 許可パスワードを入力します。

①４～８桁の半角数字を入力します。

5 登録 をタップし、表示された画面で OK をタップします。

6 **リモートロック起動設定をします。**

・**電話（※）をかけてリモートロックを起動するときは**

※ サブアドレス通知可能な PHS 電話機

サブアドレス起動 タブをタップし、リモートロック起動設定を「ON」にし、リモートロック許可番号（電話番号）を入力します。

サブアドレス起動 タブ

・**ライトメールを送信してリモートロックを起動するときは**

ライトメール起動 タブをタップし、リモートロック起動設定を「ON」にし、リモートロック許可番号（電話番号）を入力します。

ライトメール起動 タブ

① リモートロック起動設定の ON ／ OFF を設定します。

② この製品のリモートロックを起動することを許可する電話番号を設定します。
3 つの入力欄すべてに何も入っていないときは、どの電話番号からでもリモートロックを起動できます。

7 登録 **をタップします。**

8 **設定が終われば、** OK **をタップします。**

MEMO

● 許可番号を削除するときは、保存している許可番号の右横の クリア をタップします。変更するときも、いったん クリア をタップし削除したのち、新しい番号を入力します。

リモートロックを起動する

リモートロック許可番号に登録した機器から、この製品に電話をかける、またはライトメールを送信してリモートロックを起動します。

■ 電話をかけてリモートロックを起動する

1 **他の電話機からこの製品に電話をかけます。**

この製品の電話番号→「＊ 01」→許可パスワードの順にダイヤルキーをタップして発信します。

この製品の電話番号

070−XXXX−XXXX
−＊01−XXXXXXXX

許可パスワード

■ ライトメールを送信してリモートロックを起動する

1 **他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。**

ライトメール本文に「ソウサ 1XXXXXXXX」と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「1」は数字、「XXXXXXXX」は許可パスワードを入力します。

リモートロックを解除する

リモートロック起動許可番号に登録した機器からこの製品に電話をかける、またはライトメールを送信してリモートロックを解除します。

MEMO

- リモートロック解除後、自動的に再起動が行われます。
- フルリセットや完全消去（フォーマット）を行ってもリモートロックは解除されません。

■ 電話をかけてリモートロックを解除する

1 他の電話機からこの製品に電話をかけます。

この製品の電話番号→「＊ 00」→許可パスワードの順にダイヤルキーをタップして発信します。

この製品の電話番号

070−XXXX−XXXX
−＊00−XXXXXXXX

許可パスワード

■ ライトメールを送信してリモートロックを解除する

1 他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。

ライトメール本文に「ソウサ0XXXXXXXX」と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「0」は数字、「XXXXXXXX」は許可パスワードを入力します。

リモートロックを起動し完全消去（フォーマット）を行う

ご注意

- **この操作を行うと、保存データはすべて削除されます**

この操作を行うとき、十分注意してキー入力をしてください。

■ 電話をかけてリモートロック起動と完全消去（フォーマット）を行う

1 他の電話機からこの製品に電話をかけます。

この製品の電話番号→「＊ 03」→許可パスワードの順にダイヤルキーをタップして発信します。

この製品の電話番号

070−XXXX−XXXX
−＊03−XXXXXXXX

許可パスワード

■ ライトメールを送信してリモートロック起動と完全消去（フォーマット）を行う

1 他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。

ライトメール本文に「ソウサ3XXXXXXXX」（「XXXXXXXX」は許可パスワード）と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「3」は数字、「XXXXXXXX」は半角数字を入力します。

着信制限をする

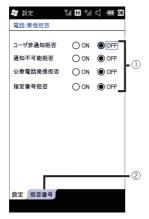
非通知の番号や指定した電話番号からの着信を拒否する設定をします。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”をタップして、セキュリティタブをタップします。

MEMO
- 待ち受け画面（Today 画面）から、基本メニューの「設定」－「電話機能」をタップしても電話設定画面を表示できます。

2 “着信拒否”をタップします。

3 表示された画面で W-SIM の暗証番号を入力します。

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞ 3-25 ページ）。

① 着信拒否を設定します。それぞれの項目を「ON」にすると着信拒否します。
- ・ユーザ非通知拒否：
  電話番号を非通知にしている電話
- ・通知不可能拒否：
  相手が通知できないエリアや電話機
- ・公衆電話発信拒否：
  公衆電話からの電話
- ・指定番号拒否：
  ②で指定した電話番号からの電話

② ①の指定番号拒否を「ON」にしたときに、着信拒否する電話番号を設定します（☞下記）。

4 設定が終われば、OK をタップします。

着信拒否をする／着信拒否を解除する

特定の電話番号に対して、着信拒否を設定できます。着信拒否した電話番号の相手は話し中になります。
登録できる電話番号は 10 件です。

着信拒否をする

1 左記と同様にして、着信拒否設定画面（設定タブ）を表示します。

2 指定番号拒否の「ON」にチェックを付けます。

3 拒否番号タブをタップします。

着信拒否設定画面（拒否番号タブ）が表示されます。

4 入力項目に電話番号を入力します。

5 登録をタップします。

手順 **4** で入力した電話番号が着信拒否電話番号として登録されます。

6 設定が終われば、OK をタップします。

3 電話

着信音などの設定

着信拒否を解除する

■ 一時的に着信拒否を解除する

一時的に着信拒否を解除するときは、着信拒否設定画面（設定タブ）で「指定番号拒否」を「OFF」にします。

■ 設定している着信拒否の電話番号を削除し、着信拒否を解除する

1 着信拒否設定画面（拒否番号タブ）を表示します。

2 着信拒否を解除する電話番号の欄にカーソルを移します。

3 解除する電話番号を削除します。

4 削除した欄の右側の登録をタップします。

削除した電話番号の着信拒否が解除されます。

5 解除が終われば、OKをタップします。

位置情報を通知する

位置情報通知機能とは、この製品が受信している複数の基地局の基地局情報をセンターに通知する機能です。
ウィルコム位置検索サービスなどの位置情報通知サービスへ申し込む（有料）と、この機能を利用して位置情報サービスなどを受けることができます。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“電話”をタップして、セキュリティタブをタップします。

MEMO

- 待ち受け画面（Today 画面）から、基本メニューの「設定」－「電話機能」をタップしても電話設定画面を表示できます。

2 “位置情報”をタップし、表示された暗証番号画面で W-SIM の暗証番号を入力します。

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞ 3-25 ページ）。

3 位置情報設定画面（設定タブ）で、位置情報の通知などを設定します。

①LI（位置情報通知）機能のオン／オフを設定します。
チェックを付けると、LI 機能がオンになります。

②登録した通知許可番号（☞下記）から位置情報送出の要求があったときに、位置情報を通知する／しないを設定します。
チェックを付けると位置情報を通知します。

③位置情報を通知したときに、確認音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
チェックを付けると確認音が鳴ります。

通知許可番号とパスワードを登録する

前ページ手順 **3** の画面で 通知許可番号 タブをタップし、この製品から送出した位置情報を受け取る番号（通知許可番号）とパスワードを設定します（5 つまで設定できます）。
それぞれの入力欄に通知許可番号と通知許可パスワードを入力し 登録 をタップします。
※通知許可パスワードは 8 桁までです。

MEMO

- 登録した通知許可番号を削除するときは、削除する通知許可番号の欄にカーソルを移し、画面左下の 登録解除 をタップして、表示された確認画面で OK をタップします。

電話帳のデータを読み込む／書き込む

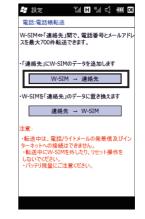
他の商品で W-SIM に保存した電話帳のデータをこの製品に読み込みます。
また、この製品の“連絡先”に保存しているデータを W-SIM に書き込みます。

1 **電話帳のデータが入った W-SIM を取り付けます（☞ 10-10 ページ）。**

2 **スタート画面の “設定” をタップし、 “個人” − “電話” をタップして、 その他 タブをタップします。**

3 **“電話帳転送” をタップします。**

■ W-SIM のデータを読み込む

1 **W-SIM →連絡先 をタップし、確認画面で はい をタップします。**
W-SIM の電話帳のデータが、この製品の“連絡先”に読み込まれます。

■ 連絡先のデータを W-SIM に書き込む

1 連絡先→ W-SIM をタップし、確認画面で はい をタップします。W-SIM に書き込むときは、W-SIM に保存していた電話帳のデータをすべて消去してから“連絡先”のデータを書き込みます。

書き込めるデータ件数は最大 700 件です。ただし、1 件のデータ内容が多い場合は 700 件を書き込めないこともあります。

700 件以上ある場合は、“連絡先”のリストでフリガナに入力している文字の順（※）で先頭から 700 件までを書き込みます。

※数字→アルファベット→カナ（50 音）の順

4 表示された画面で OK をタップします。

MEMO

● **W-SIM に書き込める“連絡先”の項目**

W-SIM にデータを書き込むとき、書き込める“連絡先”の項目は以下の項目です。

※ 1 フリガナの項目は必要です。フリガナがないデータは W-SIM に書き込むことができません。

※ 2 書き込める電話番号の項目（PHS、携帯電話、自宅電話など）は、最大 3 項目です。

下記の 1 つ目のご注意もご覧ください。

· 名前　· フリガナ
· 自宅住所　· Web ページ
· 電子メール　· 電子メール 2
· 電子メール 3　· 誕生日
· PHS　· 携帯電話
· 自宅電話　· 勤務先電話
· 自宅 FAX　· 自宅電話 2
· メモ

また、PHS や携帯電話などの電話番号の項目は、“連絡先”と W-SIM との間で以下の関係になっています（最大 3 項目まで書き込み／読み込みができます）。

“連絡先”		W-SIM の種別
① PHS	⟷	PHS
②携帯電話	⟷	携帯
③自宅電話	⟷	自宅
④勤務先電話	⟷	会社
⑤自宅 FAX	⟷	FAX
⑥自宅電話 2	⟷	種別無し

ご注意

● **W-SIM に書き込める電話番号の項目は、最大3項目です**

PHS ／携帯電話／自宅電話／勤務先電話／自宅 FAX ／自宅電話 2 の項目に番号を入力していても４つ目以降は書き込むことはできません。書き込むときの優先順位は、上記①②③・・・の順になります。

● **他の電話機で使っている W-SIM の電話番号を読み込むとき**

他の電話機で電話番号 1 ～ 3 を同じ種別にして電話番号を登録していると、最初の 1 つ目しか読み込めません。

例えば、電話番号 1 ／ 2 ／ 3 の種別を「PHS」にして電話番号を登録していると、1 つ目の PHS 番号しか“連絡先”に読み込めません。

W-SIM のバージョン情報を表示する

この製品に挿入されている W-SIM のバージョン情報を確認できます。

1 スタート画面の “設定” をタップし、“個人” － “電話” をタップして、その他 タブをタップします。

2 “W-SIM 情報” をタップします。
W-SIM バージョン情報確認画面が表示されます。

3 確認が終われば、OK をタップします。

無線機能（W-SIM）をオン／オフする

この製品に装着されている W-SIM 機能のオン／オフを設定します。

1 スタート画面の “設定” をタップします。

2 “接続” をタップし、“ワイヤレスマネージャー” をタップします。
ワイヤレスマネージャー画面が表示されます。

3 W-SIM の項目で、「OFF」または「ON」をタップします。
ON が見えているときは ON、OFF が見えているときは OFF になります。
OFF の場合、W-SIM 機能がオフになり、電話やメール送受信などができなくなります。

4 確認が終われば、OK をタップします。

3 電話

着信音などの設定

USIMカードにセキュリティをかける

USIMカードには、PIN1コード、PIN2コードの2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご購入時は「0000」に設定されていますが、お客様がご自身で変更することができます。

PINコードを設定する（USIMカードをロックする）

電源を入れたときに暗証番号（PIN1コード）を入力するように設定します。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“WCDMA通信”をタップします。

2 「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」をタップします。

3 暗証番号（PIN1コード）を入力します。

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字0（ゼロ）が4つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞右記）。

4 入力をタップします。

元の画面に戻り、「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」にチェックが付きます。

■ 電源を入れたときにPIN1コードを入力する

「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」にチェックを付けると、電源を入れたときに暗証番号（PIN1コード）の入力画面が表示されます。

1 PIN1コードの入力画面で暗証番号（PIN1コード）を入力し、入力をタップします。

PINコードを変更する

ここでは、暗証番号（PIN1コード）の変更について説明していますが、暗証番号2（PIN2コード）も同じように変更できます。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“WCDMA通信”をタップします。

2 左記の手順2～4を行い、「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」にチェックを付けます。

3 暗証番号の変更をタップします。

4 現在の暗証番号（PIN1コード）を入力し、入力をタップします。

5 新しい暗証番号（PIN1コード）を入力し、入力をタップします。

6 もう一度、新しい暗証番号（PIN1コード）を入力し、入力をタップします。

ご注意

- **暗証番号は絶対に忘れないでください**

  万一のために暗証番号は控えておいてください。

PINコードの設定を解除する

1 スタート画面の“設定”をタップし、“個人”－“WCDMA通信”をタップします。

2 「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」をタップします。

3 暗証番号（PIN1コード）を入力します。

4 入力をタップします。

元の画面に戻り、「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」のチェックが外れます。

■ PUK コードについて

PUK コードは、暗証番号(PIN1 コード)、暗証番号 2(PIN2 コード)がロックされた状態を解除するためのコードです。PUK コードについては、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

PIN1 コードや PIN2 コードの入力を 3 回間違えると PIN ロックがかかりますので、PUK コードを入力して解除します。

PUK コードの入力を 10 回連続して間違えると PUK ロック状態となります。

PUK ロック状態になったときは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ウィルコムのサービスを利用する

次のウィルコムのサービスを利用できます。

留守番電話サービス
・ メッセージを確認する
・ メッセージを聞く
・ 留守番電話サービスの設定を変更する

着信転送サービス

料金分計サービス
・ 料金分計で電話をかける

留守番電話サービスを使う

この製品の電源をオフにしているときやすぐに電話に出られないとき、エリア外にいるときなどにウィルコムの「留守番電話センター」がメッセージを預かります。
このサービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です。

留守番電話サービスについて
・ メッセージの最大録音時間　：1 件につき約 60 秒
・ メッセージの最大保存件数　：20 件
・ メッセージの保存期間　：約 73 時間

このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・ 申込　：必要
・ 月額料　：有料

メッセージを確認する

留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。
この製品では、電話を切ったときに自動的に留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。メッセージがあるときは、「センター留守電あり」と表示されます。

MEMO
- 以下の方法でも確認できます。
  1 [通話]キーを押して“電話”を起動します。
  2 [1] [4] [1] [通話]を入力します。
  3 数秒後、「ツー」という音を確認し、[電源]キーを押します。
  メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く

メッセージを聞きます。

1 **[通話]キーを押して、[*] [9] [3] [1] [通話]を入力します。**
留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO
- プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からメッセージを聞くとき
  0077-780-931 に電話をかけ、ガイダンスにしたがって操作します。このときお使いのこの製品の電話番号と留守番電話サービスの暗証番号が必要です。
- 手順 **1** で [*] [9] [3] [1] の代わりに [*] [9] [3] [1] [1] を入力してもメッセージを聞くことができます。このときは、録音されたメッセージを聞く前に、発信者の電話番号をガイダンスで聞くことができます。ただし、発信者の電話機によっては電話番号を聞くことができない場合もあります。

ご注意
- **留守番電話サービスについて**
  留守番電話サービスでは、ライトメールを受け取ることはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する

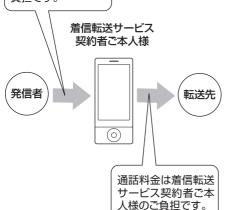
留守番電話サービスの設定を変更できます。
・ 受付時間 ： 5:00 ～ 24:00（年中無休）

1 **[通話]キーを押して、[1] [4] [3] [通話]を入力します。**
留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO
- 一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけ、設定の変更ができます。

着信転送サービスを使う

着信転送サービスは、この製品の電源をオフにしているときやエリア外にいるときなどに、かかってきた電話を指定した他の電話に転送するサービスです。
転送先は他のウィルコムの電話や一般電話、携帯電話などから選択できます。
「留守番電話サービスの設定を変更する」（☞前ページ）と同じ番号に電話をかけ、設定を変更できます。
このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・申込　：不要
・月額料　：無料

MEMO

- このサービスは、留守番電話サービスと同時に利用できません。
- 海外への転送は対応していません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。

料金分計サービスを使う

料金分計サービスは、通話料金の請求先を2箇所に分けるサービスです。ビジネス関係とプライベート関係などの使い分けができます。
料金分計サービスを使わないときはご契約者（主計先）へ通話料金の請求、料金分計サービスを使うときはあらかじめ登録した分計先へ通話料金の請求となります。
このサービスは有料です。また、このサービスを使うにはあらかじめ契約が必要です。くわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・申込　：必要
・月額料　：有料

料金分計で電話をかける

1 キーを押して“電話”を起動します。

2 電話番号を入力します。

3 画面右下の メニュー － 通話 － 分計発信 をタップします。
電話がかかります。

4 通話を終えるときは、キーを押します。
電話が切れます。
この通話にかかった料金は登録した分計先へ請求されます。

MEMO

- 料金分計は、上記の手順を毎回行います（連絡先に分計発信を登録することはできません）。
- 手順 **3** で、電話番号の通知／非通知の設定によって、184分計発信または186分計発信を選択できます。
たとえば、自分の電話番号を通知する設定にしている場合、手順 **3** での メニュー － 通話 － 184分計発信 をタップすると、自分の電話番号を通知せず、さらに料金分計されます。
- 各パケット方式での料金分計サービスはご利用になれません。

電話帳

電話帳を登録する（新規作成）

1 待ち受け画面（Today画面）で、(カーソル)キーの下を押します。

電話帳の一覧画面が表示されます。

2 画面右下の メニュー をタップします。

3 表示された画面で、新規 をタップします。

4 基本 タブ画面で名前（姓、名）、電話番号、メールアドレスなどを入力します。

MEMO

- 自宅住所や会社住所などを入力するときは、詳細 タブをタップして詳細画面に切り替え、入力します。

5 入力が終わったら、画面右下の 確定 をタップします。

入力した内容が登録されます。

電話帳を表示する

1 待ち受け画面（Today画面）で、(カーソル)キーの下を押します。

電話帳の一覧画面が表示されます。

① 表示する行（あ行やか行など）をタップします。また、(カーソル)キーの左右で前または次の行へ移動します。

② 読みで検索を行います。

③ 連絡先に登録されている名前（または勤務先）が一覧で表示されます。

MEMO

- 文字サイズを変更するときは、メニュー － 文字サイズ をタップし、表示された画面で、「大」、「中」、「小」を選択します。

2 名前をタップします。

電話帳の１件表示画面（基本）が表示されます。

MEMO

- 詳細 タブをタップすると詳細画面を表示します。
- 各項目は１行で表示されます。項目によっては、すべてが表示されません。タップするとすべての内容を表示します。

電話帳から電話をかける

1 １件表示画面で電話をかける番号を選択し、[通話]キーを押します。

相手に電話がかかります。

電話帳からメールを作成する

1 １件表示画面でメールアドレスを選択し、タップします。

相手のメールアドレスが入ったメールの新規作成画面が表示されます。

MEMO

- 複数のアカウントが登録されているときは、アカウントを選択する画面が表示されますので、アカウントを選択してください。

電話帳を修正／削除する

ご注意

- 電話帳を修正／削除すると、連絡先のデータも修正／削除されます。

電話帳を修正する

1 一覧画面で画面右下の メニュー － 編集 をタップします。

2 修正を行い、画面右下の 確定 をタップします。

電話帳を削除する

1 一覧画面で削除したい電話帳を選択し、画面右下の メニュー － 削除 － １件削除 、 選択削除 または 全件削除 をタップします。

選択削除 をタップしたときは、削除する電話帳をタップしてチェックマークを付け、 確定 をタップします。

2 確認画面で はい をタップします。

MEMO

- １件表示画面で、画面右下の メニュー － 削除 をタップしても、削除することができます。

メニュー

一覧画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">新規</td><td>アドレスを新規作成する</td></tr>
<tr><td colspan="2">編集</td><td>選択しているアドレスを編集する</td></tr>
<tr><td rowspan="3">削除</td><td>1 件削除</td><td>選択しているアドレスを削除する</td></tr>
<tr><td>選択削除</td><td>アドレスを複数選択して削除する</td></tr>
<tr><td>全件削除</td><td>全てのアドレスを削除する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤外線通信</td><td>1 件</td><td>選択しているアドレスを赤外線送信する</td></tr>
<tr><td>全件</td><td>全てのアドレスを赤外線送信する</td></tr>
<tr><td>文字サイズ</td><td>大／中／小</td><td>文字サイズを設定する</td></tr>
</table>

1 件画面のメニュー

選択した項目により、表示内容が変わります。

<table>
<tr><td colspan="2">編集</td><td>選択しているアドレスを編集する</td></tr>
<tr><td rowspan="5">特番付加発信</td><td>184 発信</td><td>番号の先頭に 184 を付加して電話発信</td></tr>
<tr><td>186 発信</td><td>番号の先頭に 186 を付加して電話発信</td></tr>
<tr><td>分計発信</td><td>番号を分計で電話発信</td></tr>
<tr><td>184
分計発信</td><td>番号の先頭に 184 を付加して分計で電話発信</td></tr>
<tr><td>186
分計発信</td><td>番号の先頭に 186 を付加して分計で電話発信</td></tr>
<tr><td colspan="2">削除</td><td>選択しているアドレスを削除する</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤外線通信</td><td>選択しているアドレスを赤外線送信する</td></tr>
<tr><td colspan="2">ライトメール作成</td><td>選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する</td></tr>
</table>

4章　メール

メール（Outlook）　4-2

ライトメール　4-23

手描きチャット　4-45

メール（Outlook）

この製品のメール機能は、メール（Outlook）と WILLCOM UI の E メール機能を搭載しています。
WILLCOM UI の E メール機能（以下”E メール機能”と言います）は、この製品に搭載されているメール（Outlook）を利用して、WILLCOM メールアカウントのメール閲覧、作成、送受信をする機能です。
E メール機能は、オンラインサインアップで設定される WILLCOM メールアカウントに対して動作します。

WILLCOM メールアカウント以外は、Outlook をご利用ください。
WILLCOM UI が起動していない場合、E メール機能は使用できません。

以下の URL に、E メール機能の取扱説明書を掲載しています。
http://menu.w-info.jp/down/willcom_ui.asp
※この製品から接続してください。

メール（Outlook）の基本動作について

メール（Outlook）はメールの送受信を行うと、サーバーとの間で同期（※ 1）を行うように設計されています。
つまり、メール送受信時、この製品の “メール” 内の「受信トレイ」（※ 2）／「削除済みアイテム」とサーバーを同じ状態に保つようになっています。
同じ状態に保たず、サーバーに残しておく設定もできます（☞ 4-7 ページ）。

※ 1 この同期は ActiveSync を使った同期とは異なります。
※ 2「受信トレイ」のみ同期の対象になります。「受信トレイ」内に新規フォルダを作るとそのフォルダは同期の対象にはなりません。

サーバーとの同期によって、次のようなことが起こります。

- この製品の「受信トレイ」のメールが削除される
  （「この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき」）
- サーバーからメールが削除される
  （「この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき」）

これらについて、詳細を説明していますのでご覧ください。

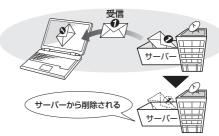
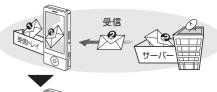
この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき

この製品の「受信トレイ」のメールが自動的に削除されますのでご注意ください。

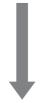
① この製品でプロバイダーのメールを受信します。

② パソコンで同じプロバイダーのメールを受信（パソコンの設定は、「メール受信時、サーバーからメールを削除する」）サーバーからメールが削除されます。

③ この製品でプロバイダーのメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。この製品には残っているがサーバーからは削除されているメールは同期がとられ、この製品の「受信トレイ」から削除されます。

受信トレイ
受信
サーバー

この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき

サーバーのメールが自動的に削除されますのでご注意ください。

① この製品でメールを受信します。

② この製品で受信メールを「削除済みアイテム」フォルダから削除します（☞ 4-16 ページ）。

削除済み
アイテム
削
除
受信トレイ

③ この製品でメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。サーバーには残っているが、この製品の「削除済みアイテム」フォルダから削除されたメールは同期がとられ、サーバーから削除されます。

MEMO

● メールをサーバーに残しておくこともできます（☞ 4-7 ページ）。

送受信するためのアカウントを設定する

すでにご入会されているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定する方法を説明します。この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。

MEMO

- オンラインサインアップで設定された接続情報を使ってメールの送受信ができます。プロバイダーによっては、プロバイダーへの接続情報の設定が必要です。設定が必要かどうかは、プロバイダーにお問合せください。

この製品に設定するメールの情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

- ・電子メールアドレス
- ・ユーザー名
- ・パスワード
- ・受信メールサーバー
- ・送信メールサーバー

※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

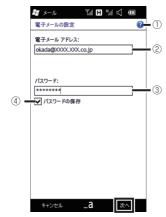
・各手順は、プロバイダーによって異なる場合があります。

1 **スタート画面の “電子メール”をタップします。**

アカウントの選択画面が表示されます。

2 **電子メールの設定 をタップします。**

電子メールの設定画面が表示されます。

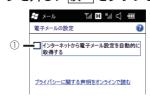
3 **お使いのメールアドレス、パスワードを入力し、次へ をタップします。**

① タップするとヘルプが表示されます。

② メールアドレスを入力します。

③ メールサーバーに接続するためのパスワードを入力します。

④ 入力したパスワードを保存するときは、チェックを付けます。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
パスワード	Mail パスワード、メールパスワード、初期パスワード

4 **「インターネットから電子メール設定を自動的に取得する」のチェックを外し、次へ をタップします。**

① チェックを外します。

5 「インターネット電子メール」を選択し、次へ をタップします。

①「インターネット電子メール」または「Exchange サーバー」を選択します。

・インターネット電子メール：
プロバイダーのアカウントを作成するときに選択します。

・Exchange サーバー：
Microsoft Exchange サーバーを使用するアカウントを作成するときに選択します。

詳細についてくわしくは、ネットワーク管理者におたずねください。

6 名前、アカウントの表示名を入力し、次へ をタップします。

① メールの送信者として相手に表示される名前を入力します。

② この製品に表示されるアカウント名を入力します。

7 受信メールのサーバー情報を入力し、次へ をタップします。

アカウントの種類が分からないときは、プロバイダにお問い合わせください。

① メールを受信するための受信メールサーバーの情報を入力します。

②「POP3」または「IMAP4」を選択します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
受信メールサーバー	POP サーバー、 受信メールサーバー、 メールサーバー

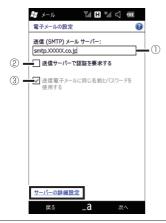
8 ユーザー名、パスワードを入力し、次へ をタップします。

① メールサーバーに接続するためのユーザー名を入力します。

② 手順 **3** で入力したパスワードが「＊」で表示されます。ここでは何もしません。

③ パスワードを保持するときはチェックを付けます。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mail アカウント名、メールアカウント、メールボックス名、メールボックスアカウント名、Mail アカウント
パスワード	Mail パスワード、メールパスワード、初期パスワード

9 送信メールのサーバー情報を入力し、「サーバーの詳細設定」をタップします。

① メールを送信するためのサーバー情報を入力します。

② 送信メールに認証が必要なときにタップしてチェックを付けます。

③ ②にチェックを付けたときに設定できます。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
送信メール	SMTP サーバー、送信メールサーバー

10 サーバーの詳細設定を行います。

オンラインサインアップで設定された接続情報を使う場合は、ネットワーク接続欄で、必ず「センタ名称設定」にします。設定が終われば、完了 をタップして 次へ をタップします。

① 受信メールに SSL 認証を使用するときにチェックを付けます。

② 送信メールに SSL 認証を使用するときにチェックを付けます。

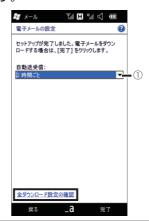
③ タップして接続を切り替えます。

MEMO

接続を選択する

お使いの状態にあわせて接続を選択してください。

※「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了して設定された接続情報を使ってメールを送受信するときに選択します。

11 自動送受信の設定を行い、「全ダウンロード設定の確認」をタップします。

① 自動接続し、メールを定期的にチェックする間隔を設定したり、手動で実行する設定をします。

12 受信するメッセージの設定を行い、「詳細設定」をタップします。

① 手順 **11** で設定した内容が表示されます。

② タップして過去何日分のメッセージを受信するかを設定します。

13 送信 をタップしたときの動作やサーバーから削除するかの設定を行い、完了 をタップして 次へ をタップします。

① チェックを外すと、送信をタップしたときに送受信を行いません。

② この製品からメールを削除したとき、サーバーから削除しないときは、「サーバーに残しておく」を選択します。

14 メールの形式や受信メールの容量の制限を設定して 完了 をタップします。

①「HTML」または「テキスト形式」を選択できますが、「テキスト形式」を選択することをおすすめします。

② タップして受信メールの容量の制限を選択します。

③ タップして添付ファイルの容量を選択します。
※プロバイダーによっては③が表示されません。

設定が完了します。

15 ダウンロードの確認画面が表示された場合、いいえ をタップします。

アカウントを修正する／削除する

■ アカウントを修正する

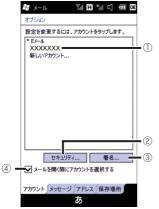
1 スタート画面の "電子メール" をタップします。

2 アカウントの選択画面で、修正するアカウントを選択します。

3 画面右下の メニュー ー オプション をタップします。

MEMO

- 「受信トレイ」の一覧画面が表示されたときは、画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプション］をタップします。

4 **修正するアカウントをタップします。**

① ご自分で設定したアカウント

② タップすると、インターネットに接続してホームページなどに接続する前に警告画面を表示することができます（☞4-18ページ）。

③ 署名を作成することができます（☞4-18ページ）。

④ チェックを外すと、“メール”を起動したときに、アカウントの選択画面を表示しないようにできます。

5 **表示された画面で、［アカウントの設定の編集］などをタップします。**

ここでは、［アカウントの設定の編集］をタップした場合の説明をしています。
［送受信スケジュール］や［ダウンロードサイズの設定］をタップすると、アカウント設定の一部のみを変更できます。

6 **［次へ］をタップし、画面を切り替えて修正します。**

4-4～前ページをご覧になり、修正してください。

7 **修正を終えた後、［完了］をタップします。**

MEMO

アカウントの設定を確認するときは

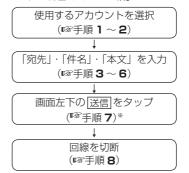
手順**6**で、修正をしないで［次へ］をタップし、画面を切り替えて確認してください。

■ アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、左記の手順**4**の画面でアカウントをタップしたままにし、表示されたメニューから［削除］をタップします。

メールを作って送る

メールを作って送信します。

■ メールを送るまでの流れ

※送受信を行い、正常に送信されたことを確認してください。
設定によっては（☞4-7ページ）、メールが「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。

1 **スタート画面の“電子メール”をタップします。**

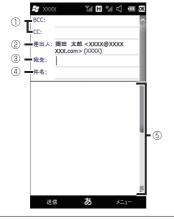
2 **メールを送りたいアカウントをタップします。**

3 画面右下の メニュー － 新規 をタップします。

新規メールの作成画面が表示されます。

① 手順 **2** で選択したアカウント名が表示されます。

4 宛先を入力します。

宛先の項目にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

①「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC：」に入れたアドレスは、BCC：で受信した人以外から見えないように送信されます。「CC:」や「BCC:」の宛先を入力するときは、スクロールバーを上に移動します。

②「差出人」欄

③ 宛先に直接、ダイヤルキーを使って入力します。

メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（；）で区切って入力します。

この製品の"連絡先"に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力することができます。くわしくは、「宛先入力時、"連絡先"に登録しているメールアドレスを利用する」（☞次ページ）をご覧ください。

④「件名」欄

⑤「本文」欄

5 「件名」欄をタップし、件名を入力します。

ご注意

- **メールの件名が全角で 19 文字以上になると**

  件名が文字化けする場合があります。件名は全角１８文字（半角３６文字）までにしてお使いください。

6 「本文」欄をタップし、本文を入力します。

MEMO

- よく使う文章をマイ テキストから選択して、入力できます。画面右下の メニュー － マイ テキスト をタップするとマイ テキストに登録されている文章一覧が表示されます。
  文章をタップすると、その文章が入力されます。
  また、 マイ テキストの編集 をタップし、メッセージを編集することができます。

7 画面左下の 送信 をタップします。

設定によって（☞ 4-7 ページの手順 **13**）、以下のいずれかが行われます。

- ・自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
- ・「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信することができます。

8 **ネットワークを切断します。**
タイトルバーの H をタップし、切断 をタップします。

MEMO

- 「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、メニュー － 送受信 をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。
- 「下書き」フォルダに保存するときは、OK をタップし確認画面で はい をタップするか、画面右下の メニュー － 下書きに保存 をタップします。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 **新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。**

2 **以下のどちらかの方法で宛先を選択します。**

- **画面右下の メニュー － 受信者の追加 をタップします。**
  メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先をタップします。
- **宛先の項目に名前やメールアドレスの先頭の数文字を入力（1 文字だけでも可能です）し、メニュー － 宛先の確認 をタップします。**
  “連絡先”に登録している名前やメールアドレスを検索した結果が表示されますので、目的の宛先をタップします。
  ※この方法を使うときは、あらかじめメールのオプション画面（アドレス タブ）で、「送信先に設定する連絡先のフィールド」が「すべての電子メールのフィールド」になっていることを確認してください（☞ 4-19 ページ）。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 **4-8 ～前ページの手順 1 ～ 6 の方法で、メールを作成します。**

2 **画面右下の メニュー － 挿入 をタップし、表示されたメニューから 画像 、ボイスメモ 、ファイル のいずれかをタップします。**

■ 画像を添付する場合

1「マイピクチャ」フォルダ内の画像ファイルが表示されます。
フォルダを切り替えるときは、「マイピクチャ」をタップし、表示されたメニューから別のフォルダをタップします。

① タップして、表示されたメニューから別のフォルダに切り替えることができます。

② タップして、並び順を変えることができます。

2 画像をタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル： xxxxx.jpg(xxKB)」などが表示されます。

■ ボイスメモを添付する場合

1 メール新規作成画面の下部に録音ツールバーが表示されます。

① 録音ツールバー

2 [●]ボタンをタップすると録音が始まります。

3 この製品の送話口（マイク）に自分の声などを録音します。

4 [■]ボタンをタップすると録音が終了し、録音したファイルが自動的に添付されます（「添付ファイル：xxxxx.wav(xxKB)」など）。

■ ファイルを添付する場合

1 ファイル選択画面が表示されます。

①タップすると別のフォルダに切り替えることができます。

2 リストから目的のファイルをタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.xlsx(xxKB)」などが表示されます。

3 画面左下の[送信]をタップします。

設定によって（☞4-7ページの手順13）、以下のいずれかが行われます。

- 自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
- 「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、以下のメモをご覧ください。

4 ネットワークを切断します。

タイトルバーの[H]をタップし、[切断]をタップします。

MEMO

- 「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、[メニュー]－[送受信]をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。
- 「下書き」フォルダに保存するときは、[OK]をタップし確認画面で[はい]をタップするか、画面右下の[メニュー]－[下書きに保存]をタップします。

送信トレイに保存しているメールをまとめて送る

「送信トレイ」フォルダに保存しているメールを、あとでまとめて送信できます。

1 **送信トレイを表示します。**

①「送信トレイ」フォルダに保存されているメール

2 **画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。

3 **ネットワークを切断します。**

タイトルバーの H をタップし、 切断 をタップします。

メールを受信する

1 **スタート画面の “電子メール”をタップします。**

2 **メールを受信したいアカウントをタップします。**

3 **画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。**

ネットワークに接続され、センター（サーバー）にある未受信のメールが受信されます。

4 **ネットワークを切断します。**

タイトルバーの H をタップし、 切断 をタップします。

MEMO

一定間隔で送受信を行ってメールを受信することもできます。

「送受信するためのアカウントを設定する」の手順 **12** の画面（☞ 4-7 ページ）で何分間隔で行うかを選択して設定すると、一定間隔で“メール”を起動して自動的にネットワークに接続し、センター（サーバー）にある未受信のメールを受信します。

ご注意

- 「受信トレイ」に入ったメールが消えるときは、以下のことが考えられます。
  - ・サーバーとこの製品の間で同期が行われ、削除されている可能性があります（☞ 4-2 ページ）。
    「受信トレイ」に入っているメールを消したくないときは、「受信トレイ」から別のフォルダに移してください(☞4-17ページ)。
  - ・「送受信するためのアカウントを設定する」の手順 **12** の画面（☞ 4-7 ページ）でメッセージのダウンロードを「すべてのメッセージ」以外に設定している場合、設定した日数分のメッセージしか表示されません。「すべてのメッセージ」に変更してください。

受信メールを見る

受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

■ 「受信トレイ」一覧画面などで表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合		
次に送受信を行って全文または添付ファイルを取得する場合		

※プロバイダーによっては、表示されるアイコンが異なる場合があります。

1 **画面左上の「送信トレイ」などをタップし、「受信トレイ」を選択します。**

① タップすると、メッセージの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

② 受信したメールが表示されます。

2 **見たいメールをタップします。**
メールの詳細が表示されます。

MEMO

- メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信したメッセージが途中で切れているか、添付ファイルがあることを知らせています。
※メッセージの内容はプロバイダーにより異なります。

- **続きのメッセージや添付ファイルを取得したいときは**

1「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」をタップします。
「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」になり、自動的にインターネットに接続し、ダウンロードを開始します。
しばらくすると、続きのメッセージや添付ファイルをダウンロードします。

※プロバイダーやダウンロードサイズの設定（添付ファイルのダウンロード）（☞4-7 ページの手順 **14**）によっては、上記の方法で添付ファイルをダウンロードできないことがあります。
この場合は、下記の方法で添付ファイルをダウンロードしてください。

1 添付ファイルをタップします。
「次回接続して電子メールを受信するときに、添付ファイルをダウンロードします。」と表示されます。

2 OK をタップします。

3 画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。

4 ネットワークを切断します。

メール（メッセージ）の全文／添付ファイルを取得する

1 **「受信トレイ」一覧画面で、続きのメッセージや添付ファイルを取得したいメール（メッセージ）をタップしたままにし、表示されたメニューから メッセージのダウンロード をタップします。**

アイコンが になり、自動的にインターネットに接続し、ダウンロードを開始します。
しばらくすると、続きのメッセージや添付ファイルをダウンロードします。

MEMO

- メールの詳細画面で［メニュー］－［メッセージのダウンロード］をタップしても、続きのメッセージや添付ファイルをダウンロードできます。

2 **ネットワークを切断します。**
タイトルバーの［H］をタップし、［切断］をタップします。

MEMO

- プロバイダーやダウンロードサイズの設定（添付ファイルのダウンロード）（☞4-7ページの手順**14**）によっては、上記の方法で添付ファイルをダウンロードできないことがあります。

添付ファイルを見る／保存する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。**

2 **添付ファイルをタップします。**

MEMO

- 手順**2**で添付ファイルをタップしても、正しく表示されない場合があります。
このようなときはいったん保存（☞右記）してから見るか、使用していないプログラムを終了してください。
※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 **添付ファイルをタップしたままにし、表示されたメニューから［名前を付けて保存］をタップします。**

2 **ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**
格納場所として「メインメモリ」を選択された場合は、「My Documents」フォルダの選択されたフォルダに保存されます。

3 **［保存］をタップします。**
指定したフォルダ、場所に保存されます。

MEMO

- 保存した添付ファイルは、“エクスプローラー”から開くことができます。

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、返信または転送するメールをタップします。**

2 **画面右下の［メニュー］－［返信／転送］－［返信］、［全員へ返信］または［転送］をタップします。**

・［返信］を選択した場合　：メールを送信してきた人のみに返信します。
・［全員へ返信］を選択した場合：送信者も含めて全員に返信します。
・［転送］を選択した場合　：元のメッセージを含めて、指定した宛先へ送信します。

MEMO

- **返信または全員へ返信する場合**
  「受信トレイ」一覧画面などで、返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 返信 または 全員へ返信 をタップしても返信できます。
- **転送する場合**
  「受信トレイ」一覧画面などで、転送するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 転送 をタップしても転送できます。

3 **返信内容の入力または転送先（宛先）／転送内容を入力します。**

4 **画面左下の 送信 をタップします。**
設定によって（☞ 4-7 ページの手順 **13**）、以下のいずれかが行われます。
・自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
・「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、 メニュー － 送受信 をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。そのあと、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。

5 **ネットワークを切断します。**
タイトルバーの **H** をタップし、 切断 をタップします。

メールを削除する

「受信トレイ」などで削除し、「削除済みアイテム」フォルダに移ったメールを削除すると、この製品から完全に削除されます。また、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除するとき、すべて削除する方法と 1 件ずつ削除する方法があります。
「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすぐに空にしたり、接続または切断するときに空にするなどの設定ができます（☞ 4-20 ページ）。

ご注意

- **サーバーに残っているメールも削除されます**
  「削除済みアイテム」フォルダから削除すると、次回のメール送受信によってサーバーと同期が行われサーバーに残っていたメールも削除されます。
  メールをサーバーに残しておくこともできます（☞ 4-7 ページ）。

受信メールを削除する（「削除済みアイテム」フォルダに移す）

1 **「受信トレイ」一覧画面などで削除するメールを選択し、画面左下の 削除 をタップします。**

2 **表示された確認画面で はい をタップします。**
削除したメールは、「削除済みアイテム」フォルダに移ります。

この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。この製品から削除するときは、「「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する」の操作を行います。

MEMO

- 「受信トレイ」一覧画面で削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップしても削除できます（「削除済みアイテム」フォルダに移ります）。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する

1 「削除済みアイテム」フォルダを表示します。

1 ここをタップします。

2 削除するメールのアカウントを[－]にします。

3 削除済みアイテムをタップします。

「削除済みアイテム」フォルダ内が表示されます。

2 画面右下の[メニュー]－[ツール]－[［削除済みアイテム］を空にする]をタップします。

3 表示された確認画面で[はい]をタップします。

手順 **1** で選択したアカウント内の「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールが削除されます。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを 1 件だけ削除する

1 「削除済みアイテム」フォルダを表示し、削除するメールを選択します。

2 画面左下の[削除]をタップします。

3 表示された確認画面で[はい]をタップします。

手順 **1** で選択したメールのみ削除されます。

MEMO

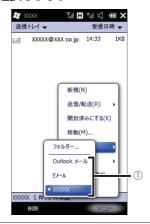
- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[削除]を選択し確認画面で[はい]をタップしても削除できます。

メールを整理する

新規にフォルダを作って、受信メールを関連した仕事ごとなどに振り分けて整理できます。

新規フォルダを作成する

まず、振り分けるためのフォルダを作成します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで画面右下の[メニュー]－[切り替え]をタップし、フォルダを作る「アカウント」を選択します。

① アカウントを選択します。

2 画面右下の[メニュー]－[ツール]－[フォルダーの管理]をタップします。

フォルダーの管理画面が表示されます。

3 「フォルダーの管理」画面内のフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[新しいフォルダー]をタップします。

「受信トレイ」フォルダの下に新規フォルダを作るときは、「受信トレイ」フォルダをタップしたままにします。

MEMO

- 「受信トレイ」フォルダや「送信トレイ」フォルダと同じ階層にフォルダを作るときは、アカウント名をタップしたままにします。

4 **「新しいフォルダー」画面でフォルダの名前を入力し、OK をタップします。**

入力した名前のフォルダが、手順 **3** で選択した（タップしたままにした）フォルダの下に表示されます。フォルダの中にフォルダを作成すると、＋ が表示されます。
＋ をタップすると中のフォルダが見えます。

5 **OK をタップします。**

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで移動するメールを選択し、画面右下の メニュー － 移動 をタップします。**

2 **移動画面で、移動先のフォルダを選択（反転）し、画面左下の 選択 をタップします。**

移動先のフォルダに移動します。
移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。

MEMO

- 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 移動 をタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 **画面右下の メニュー － ツール － フォルダーの管理 をタップし、「フォルダーの管理」画面を表示します。**

2 **名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前の変更 をタップします。**

フォルダー名の変更画面が表示されます。

3 **名前を変更して OK をタップします。**

- 既定のフォルダの名前は変更できません。名前を変更できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

1 **画面右下の メニュー － ツール － フォルダーの管理 をタップし、「フォルダーの管理」画面を表示します。**

2 **削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。**

3 **表示された確認画面で はい をタップします。**

フォルダとフォルダ内のメールはすべて削除されます。
「削除済みアイテム」フォルダには入りませんのでご注意ください。

メッセージのオプション設定について

1 メールの新規作成画面などで、画面右下の[メニュー]－[メッセージのオプション]をタップします。

メッセージの優先度やセキュリティ、表示言語（通常は日本語（JIS））を設定します。

2 設定が終わったら[OK]をタップします。

警告画面の設定や署名を作成する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の[メニュー]－[ツール]－[オプション]－[アカウント]タブをタップします。

① 警告画面の設定をします。
② 署名を作成します。

■ 警告画面の設定をする

メール本文中の文字列を認識してホームページを表示するときに警告画面を表示する／しないの設定をします。

1 [セキュリティ]をタップします。

2「デバイス外部のURLまたはリンク先に移動する前に警告する」にチェックを付けます。

3 [OK]をタップします。

オプション画面の[アカウント]タブに戻ります。

■ 署名を作成する

1 [署名]をタップします。

署名画面が表示されます。

2 署名に使用するアカウントを選択し、「このアカウントで署名を使用する」にチェックを付けます。

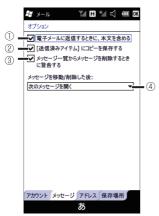
「返信／転送時に使用する」にチェックを付けると返信や転送時に署名が付きます。

3 署名を入力し、[OK]をタップします。

オプション画面の[アカウント]タブに戻ります。

2 設定が終わったら[OK]をタップします。

返信や送信時の動作を設定する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メッセージ タブをタップします。

① 返信するとき本文を含める場合は、タップしてチェックを付けます。

② [送信済みアイテム] にコピーを保存する場合、タップしてチェックを付けます。

③ メッセージの一覧からメッセージを削除するときに警告画面を表示する／しないの設定をします。

④ メッセージを移動／削除した後の動作を設定します。

2 設定が終わったら OK をタップします。

連絡先のメールアドレスを宛先に使用する設定をする

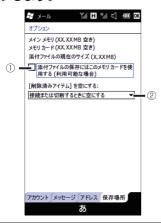
1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － アドレス タブをタップします。

①「すべての電子メールのフィールド」にしておくと、連絡先に登録している名前からその人のメールアドレスを参照します。
新規メール作成時に宛先に名前を入力すると、メールアドレスが入ります（☞4-10 ページ）。

② Exchange Server にあるアドレス帳を参照するときに設定します。

2 設定が終わったら OK をタップします。

添付ファイルの作業先や削除済みアイテムの削除方法を設定する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプション］－［保存場所］タブをタップします。

① メモリカード側に作業用として添付ファイルを保存し、本体メモリの空きを作ります。
チェックを付けているときはメモリカードを取り付けてください。

② ［削除済みアイテム］を空にする方法を設定します。

2 設定が終わったら［OK］をタップします。

ご注意

microSD カードに保存した添付ファイルは、メール以外から開くことができません

「添付ファイルの保存にはこのメモリカードを使用する（利用可能な場合）」にチェックしても、microSD カードに保存されたファイルは“メール”以外（エクスプローラーなど）から開けません。またこのファイルを削除したり、microSD カードを取り外すと、添付ファイルが開けなくなります。

マイテキストメッセージを編集する

1 新規メール作成画面の「本文」欄の入力で画面右下の［メニュー］－［マイ テキスト］－［マイ テキストの編集］をタップします。

① 編集したいメッセージをタップします。

② メッセージを編集します。

2 設定が終わったら［OK］をタップします。

メールのメニュー

新規作成／返信／転送画面のメニュー

受信者の追加		連絡先に登録しているメールアドレスを入力する。
宛先の確認		宛先欄に入力した文字から、連絡先に登録している名前を検索する。
挿入	画像	画像を添付ファイルとして添付する。
	ボイス メモ	録音したファイルを添付ファイルとして添付する。
	ファイル	ファイルを添付ファイルとして添付する。
マイ テキスト		よく使う文書を入力する。
下書きに保存		下書きに保存する。
スペル チェック		英単語のスペルをチェックする。
メッセージの取り消し		メールの作成を取り消す。
メッセージのオプション		メッセージのオプションを設定する。

「受信トレイ」／「送信トレイ」／「下書き」／「送信済みアイテム」／「削除済みアイテム」フォルダのメニュー

新規		新規メールの作成画面を表示する。	
返信／転送	返信	メールを送信してきた人のみに返信する。	
	全員へ返信	メールを全員に返信する。	
	転送	メールを転送する。	
開封済みにする／未読にする		未読メールを開封済みに、開封済みメールを未読にする。	
フラグ※1		フラグには、設定／終了／クリアのメニューがあり、フラグの設定や終了、クリアができます。	
移動		メールを他のフォルダに移動する。	
切り替え		フォルダやアカウントを切り替える。	
ツール	並べ替え	メッセージの種類	メッセージの種類別で表示する。
		差出人	差出人順で表示する。
		受信日時	受信日時順で表示する。
		件名	件名順で表示する。
	フォルダーの管理	フォルダを作成／変更する。	
	“Eメール”をクリア	選択中のアカウントの「受信トレイ」、「送信済みアイテム」フォルダ内のメッセージをすべて削除する。	
	[削除済みアイテム]を空にする	「削除済みアイテム」フォルダ内のすべてを削除する。	
	新しいアカウント	新しいアカウントを設定する。	
	オプション	オプション設定画面を表示する。	
メッセージの選択	すべて	表示しているフォルダのすべてのメッセージを選択状態にする。	
	以下すべて	選択しているメッセージ以降を選択状態にする。	
	複数	複数のメッセージを選択状態にする。	
選択範囲の取り消し		選択状態を取り消す。	
送受信		メールの送受信をする。	

※1　ActiveSyncで同期すると表示されます。

受信メール詳細画面のメニュー

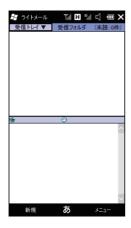
削除		メールを削除する。
返信／転送	返信	メールを送信してきた人のみに返信する。
	全員へ返信	メールを全員に返信する
	転送	メールを転送する。
未読にする		開封済みメールを未読メールにする。
フラグ※1		フラグには、設定／終了／クリアのメニューがあり、フラグの設定や終了、クリアができます。
表示	文字サイズ	文字サイズを変更する。
	言語	言語を切り替える。
メッセージのダウンロード		続きのメッセージや添付ファイルをサーバーから取得します。
送受信		メールの送受信をする。

※1　ActiveSyncで同期すると表示されます。

ライトメールを作って送る

ライトメールを作って送ります。

1 **スタート画面の “ライトメール” をタップします。**

“ライトメール” が起動します。

MEMO

- ご購入時、ライトメールの画面は 2 分割されています。これを 3 分割にして、フォルダを表示することができます（「受信トレイ」／「送信トレイ」のフォルダ部、リスト表示部、ライトメール本文）。表示の切り替えについては、4-28 ページをご覧ください。ここでは、2 分割画面を例に説明します。

2 **画面左下の 新規 をタップします。**

新規作成画面が表示されます。

① **宛先入力欄**

② **本文入力欄**

3 **宛先入力欄をタップしてカーソルを表示し、ダイヤルキーなどで電話番号（宛先）を入力します。**

MEMO

- ライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます（☞ 4-32 ページ）。

4 本文入力欄をタップしてカーソルを表示し、本文を入力します。

入力できる文字数は全角 45 文字（半角 90 文字）です。

① 入力した文字数が表示されます。

分母の 90 は、半角 90 文字のことです。全角 1 文字を入力すると、分子が 2 つ増えます。

② タップすると絵文字などを入力するパッドが表示されます。

- 絵 ：絵文字が入力できます。画面右下の カテゴリ→ をタップすると Web 用絵文字が入力できます。
- 顔 ：顔文字が入力できます。
- 記 ：記号が入力できます。
- 定 ：定型文が入力できます。
- アニメ ：アニメーション絵文字が入力できます。

5 本文の入力が終わったら、画面左下の 送信 をタップします。

メールが送信されます。送信したメールは送信済フォルダに入ります。

- 相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「メール送信に失敗しました 再送信しますか？」と表示されます。この画面で はい をタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「メール送信に失敗しました 再送信しますか？」と表示されますので、 いいえ をタップし送信待フォルダに入れます。あとでこのメールを再送信する方法については 4-31 ページをご覧ください。
- 通話／通信機能を制限（☞ 3-23 ページ）しているときは、ライトメールの送信はできません。
- メールの作成を途中で止めるときは、画面右下の メニュー − 編集中止 をタップします（ OK をタップしても同様の操作になります）。表示されたメッセージで はい をタップすると下書きフォルダに保存されます。ここで いいえ をタップすると作成中のメールは保存されません。

MEMO

- 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。
- ライトメールでは分計発信はできません。
- ライトメールを送信するとご購入時は相手に自分の電話番号を通知するように設定されています。この設定を変える（常に通知しないようにする）には、3-23 ページをご覧になり設定を変更してください。
  また、1 回だけ電話番号を通知しないようにするときは、画面右下の メニュー − 184 送信 をタップします。
- ライトメール作成中に電話がかかってきた場合でも、作成中の状態は保持されています。

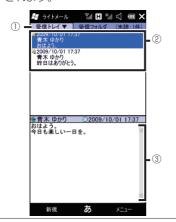
受信したライトメールを読む

1 ライトメールを受信すると、着信音が鳴ります。

また、待ち受け画面（Today画面）に「[アイコン]」と表示され、未読のライトメールがあることがわかります（☞ 1-12ページ）。

2 待ち受け画面（Today画面）の「[アイコン]」をタップして"ライトメール"を起動します。

3 読みたいメールを選択します。

ライトメールの本文が画面下部に表示されます。

① 受信トレイ▼ などをタップして、フォルダを切り替えます。

② 選んだフォルダ（トレイ）内のメールが表示されます。ここで、読みたいメールを選択します。

[アイコン]：未読メール　[アイコン]：既読メール

③ ライトメールの本文が表示されます。

4 別のライトメールを読むときは、別のメールをタップします。

MEMO

- **メール本文のURL/Eメールアドレス/電話番号を利用する**

メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、Eメールの作成や連絡先への登録ができます。

1 URL/Eメールアドレス/電話番号をタップします。

2 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@willcom.com など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#･*などの記号

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作りかけたメールを送信せずにいったん保存し、あとで追加や修正し送信できます。

メールを下書きとして保存する

1 4-23 ～ 24 ページの手順 1 ～ 4 と同様にメールを作ります。

2 画面右下の [メニュー] － [編集中止] をタップします。

MEMO
- [OK] をタップしても同様の操作になります。

3 表示された確認画面で、[はい] をタップします。
[いいえ] をタップすると、保存されません。
作りかけていたメールが下書きフォルダに入ります。このメールは送信されずに、下書きメールとして保存されます。
また、[キャンセル] をタップすると、メール作成画面に戻ります。

下書きとして保存しているメールに追加や修正し送信する

1 下書きフォルダを選択します。
下書きフォルダに入っているメールが表示されます。

2 編集するメールをタップし、画面右下の [メニュー] － [編集] をタップします。

3 メール本文の追加や修正をします。

4 画面左下の [送信] をタップします。
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

保存できるライトメールの件数

この製品に保存できるライトメールには、次のような制限があります。

保存できる件数
- 受信ライトメール：最大 200 件まで保存できます。
- 送信ライトメール：最大 100 件まで保存できます。
  ※送信ライトメールは、送信済みメール、送信待ちメール、下書きメールすべての合計が最大 100 件です。

最大件数を超えて受信したり送信した場合
- 最大件数を超えて受信すると、保護ライトメール（※）を除いて一番古い既読ライトメールから削除され、既読ライトメールがなくなると一番古い未読ライトメールから自動的に削除されていきます。
  このようなときは、未読メールを読み既読メールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
- 送信時も最大件数を超えて送信すると、保護ライトメールを除き、一番古い送信済みメールから削除され、送信済みメールがなくなると、次に、一番古い未送信ライトメール／下書きライトメールの順に削除されます。
  ※削除したくないメールがあるときは保護し、削除されないように設定できます。保護の設定については次ページをご覧ください。

ライトメールを保護する／保護を解除する

保存されるライトメールの件数には制限（☞前ページ）があり、この制限を超えてライトメールを受信したり送信すると古いライトメールから削除されます。
削除したくないライトメールは保護設定することにより、削除されずにフォルダに残ります。

保護できる件数

・送信トレイ：最大 50 件まで保護できます。
・受信トレイ：最大 100 件まで保護できます。

保護する

1 **受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。**

2 **保護するライトメールを選択し、画面右下の［メニュー］－［保護］をタップします。**
保護されたライトメールには、🔒が表示されます。

① ［受信トレイ▼］などをタップして、フォルダを切り替えます。

② 保護するライトメールを選択します。

MEMO

- 3 分割画面（次ページ）では、手順 **2** で保護するライトメールを必ず選択してください。手順 **1** の受信トレイや送信トレイなどが選択された状態では、［メニュー］－［保護］は表示されません。

保護を解除する

1 **保護しているメール（🔒が表示されているメール）を選択します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［保護］をタップします。**
保護が解除され、🔒が消えます。

2分割画面と3分割画面を切り替える

ご購入時、ライトメールの画面は2分割されています。これを3分割にしてフォルダを表示することができます。

1 受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示し、画面右下の メニュー ー 設定 をタップします。

2 その他設定 タブをタップし、「表示設定」の項目を 2分割画面 または 3分割画面 に切り替えます。

3 OK をタップします。
画面が切り替わります。

■ 2分割画面

■ 3分割画面

3分割画面でフォルダを切り替える

1 3分割画面で 送信トレイ などをタップし、送信待フォルダ などをタップします。

■ 3分割画面のとき

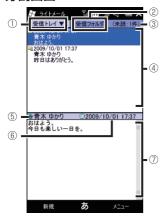
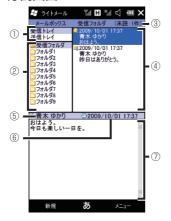
■ 2分割画面のとき

2分割画面では上記のように表示されます。

ライトメールの画面について

ここでは、ライトメールの画面について説明します。

受信トレイ画面

■ 2分割画面

■ 3分割画面

① 2分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。
3分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
切り替え方法は、前ページの「3分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 2分割画面：受信トレイ内の選択したフォルダが表示されます。
3分割画面：受信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

④ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。④でメールを選択しているとき(フォーカスがある状態)、画面右下の メニュー － 行数切替 － 1行表示 または 3行表示 を選択し、切り替えます。
また並び順を受信した順、差出人（電話番号）にできます。メニュー － 並び替え － 受信順 または 差出人順 を選択します。

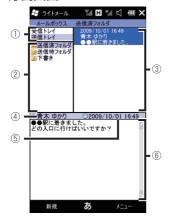
⑤ 送信者の電話番号が表示されます。
- "連絡先"に送信者の電話番号が登録されているときは、その名前が表示されます。
- 相手が電話番号を通知していないときは、「ユーザ非通知」と表示されます。
- 相手が通知できないエリアや電話機からのときは、「通知不可能」と表示されます。
- 公衆電話からのときは、「公衆電話発信」と表示されます。

⑥ 受信日時が表示されます。

⑦ 受信したライトメールの本文が表示されます。

送信トレイ画面

■ 2 分割画面

■ 3 分割画面

① 2 分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。

3 分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。

切り替え方法は、4-28ページの「3 分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 2 分割画面：送信トレイ内の選択したフォルダが表示されます。

3 分割画面：送信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。

リスト表示は、各メールを 3 行で表示するモードと 1 行で表示するモードがあります。③でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の［メニュー］－［行数切替］－［1 行表示］または［3 行表示］を選択し、切り替えます。

また並び順を送信した順、宛先（電話番号）にできます。［メニュー］－［並び替え］－［送信順］または［宛先順］を選択します。

④ ③で選択しているメールの宛先（電話番号）が表示されます。

⑤ 送信した日時が表示されます。

下書きメールの場合は、下書きフォルダに保存した日時が表示されます。

送信待メールの場合は、送信できずに送信待フォルダに保存した日時が表示されます。

⑥ ライトメール本文が表示されます。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

ライトメールを送信したとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にしたりできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、4-23 ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます（この設定は電話と共通です）。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-23 ページをご覧ください。

1 ライトメールを作成します（☞ 4-23 ページ）。

2 画面右下の［メニュー］－［184 送信］をタップします。

この場合、自分の電話番号を通知せずにライトメールを送信します。

MEMO

- 手順 **2** の［184 送信］、［186 送信］について
  ［184 送信］：相手に自分の電話番号を通知しません。
  ［186 送信］：非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知します。
- ライトメールでは分計発信はできません。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などでライトメールを送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

メールを選択して送信する

1 送信トレイ画面を表示します。

2 送信待フォルダを選択し、送信待フォルダ内のメールを表示します。

3 送信するメールを選択（反転）します。

4 画面右下の［メニュー］－［送信］をタップします。

メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

MEMO

- 手順 **3** でメールの宛先や本文をタップすると、手順 **4** では画面左下の［送信］をタップしメールを送信します。
- 手順 **3** で送信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから［送信］を選択してもメールが送信されます。

メールを一括送信する

送信待フォルダに入っているメールを一括して送ることができます。

1 送信待フォルダを選択します。

2 画面右下の［メニュー］－［一括送信］をタップします。

メールが順番に送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

メールを返信する／転送する

メールを返信する

受信したライトメールを返信します。

1 **受信トレイ画面を表示し、返信するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の メニュー － 返信 をタップします。**

MEMO

- 返信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから 返信 を選択してもメール作成画面が表示されます。

3 **メール作成画面が表示されます。**
宛先には手順 **1** で選択したメールの送信者（電話番号）が表示されます。

MEMO

- 受信したときの本文を引用して返信する／しないを設定できます。設定についてくわしくは（☞ 4-41 ページ）をご覧ください。

4 **本文を追加／修正して、画面左下の 送信 をタップします。**
メールを送信します。

メールを転送する

受信したライトメールを別の人に転送します。

1 **受信トレイ画面を表示し、転送するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の メニュー － 転送 をタップします。**

MEMO

- 転送するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから 転送 を選択してもメール作成画面が表示されます。

3 **メール作成画面が表示されます。**
本文には、受信メールの本文が表示されています。

4 **宛先を入力します。**

5 **本文を追加／修正して、画面左下の 送信 をタップします。**
メールを送信します。

送信時、宛先に受信履歴／送信履歴を利用する

ライトメールおよびチャットモード時、受信ライトメールの送信者（電話番号）や一度送信した宛先（電話番号）を宛先に利用できます。

ライトメールの受信履歴を利用する

受信したライトメールの送信者の電話番号を宛先として利用できます。

1 **ライトメール（☞ 4-23 ページ）およびチャットモード（☞ 4-35 ページ）の新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － ライトメール受信履歴 をタップします。**
履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先をタップします。**
新規作成画面に戻り、宛先（電話番号）が入力されます。
以降ライトメールは 4-23 ページ、チャットモードは 4-35 ページと同様に本文を入力し送信します。

MEMO

- 手順 **2** で、宛先入力欄をタップしたままにして、ポップアップメニューから 引用 － ライトメール受信履歴 をタップしても履歴画面が表示されます。

ライトメールの送信履歴を利用する

一度送信したライトメールの宛先（電話番号）を再度、宛先として利用できます。

1 **新規作成画面を表示します。**

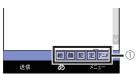
2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － ライトメール送信履歴 をタップします。**
履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先をタップします。**
新規作成画面に戻り、宛先（電話番号）が入力されます。
以降、本文を作成し送信します。

顔文字などの入力や連絡先から引用する

顔文字などを入力する

この製品に入っている記号、顔文字などを入力できます。

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面下部の 顔 などをタップします。

① タップすると顔文字などの入力パッドが表示されます。

2 表示された入力パッドから入力したい文字を 1 回または 2 回タップします。

MEMO

- 手順 **1**（☞上記）で画面右下の メニュー － 特殊文字入力 － 顔文字 などをタップしても入力パッドが表示されます。
  Web 用絵文字を入力するときは、画面下部の 絵 をタップし、表示された画面右下の カテゴリ→ をタップすると Web 用絵文字の入力ができます。
- コード入力をするときは、画面右下の メニュー － 特殊文字入力 － コード入力 をタップし、表示された画面に区点コードを入力します。
- 定型文の編集はできません。
- アニメーション絵文字は、アニメーション絵文字対応機種どうしでやり取りできます。
- チャットモードではアニメーション絵文字は、使えません。

連絡先などから引用する

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － 連絡先 をタップします。

2 表示された選択画面から目的の宛先をタップします。

3 引用する項目（名前や電話番号など）をタップすると、この項目が入力されます。

MEMO

- 手順 **1** で プロフィール を選択すると、自局電話番号または E メールアドレスを引用できます。

ブックマークを引用する

現在設定している Web ブラウザのブックマークを引用することができます。

1 ライトメールの本文入力時、画面右下の［メニュー］－［引用］－［ブックマーク］をタップします。

2 引用するブックマークを選択し、［OK］をタップします。

送信者や宛先の電話番号を使って電話をかける

受信メールの送信者（電話番号）や送信メールの宛先（電話番号）を使って、電話をかけられます。

1 受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。

2 送信者／宛先（電話番号）をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

3 表示されたメニューから［通話］－［発信］をタップします。

4 確認画面で画面左下の［ダイヤル］をタップします。

電話がかかります。

MEMO

- 電話をかけるのをやめるときは、画面右下の［メニュー］－［キャンセル］をタップします。
- 通常の電話をかけるときと同様に、手順 **3** で［発信］の代わりに［184 発信］や［184 分計発信］などを選択できます。

5 通話を終えるときは、［⏻］キーを押します。

電話が切れます。

ライトメールを削除する

受信メールや送信済みメールなどを削除できます。メールの削除には、1 件削除、選択削除、全件削除があります。

1 件ずつ削除する／全てのメールを削除する

1 1 件ずつ削除：
削除するメールを選択します。
全て削除：
メールを削除するフォルダを選択します。

2 1 件ずつ削除：
画面右下の［メニュー］－［削除］－［1 件削除］をタップします。
全て削除：
画面右下の［メニュー］－［削除］－［全件削除］をタップします。

3 確認画面で［はい］をタップします。

1 件ずつ削除：手順 **1** で選択したメールが削除されます。
全て削除：フォルダのメールが全て削除されます。

MEMO

- 1 件ずつ削除する場合は、削除するメールを選択してから、手順 **2** に移ってください。3 分割画面では、フォルダを選択している状態で手順 **2** を行うと［メール全削除］と表示されます。

選択したメールを削除する

1 受信トレイ画面などで、画面右下の［メニュー］－［削除］－［選択削除］をタップします。

2 確認画面で［ok］をタップします。

3 リストから削除するメールをタップします。

複数のメールを選択できます。
選択を解除するときは、画面右下の［中止］をタップします。

4 画面左下の 実行 をタップします。

5 確認画面で はい をタップします。

手順 **3** で選択したメールが削除されます。

チャットモードでやり取りする

チャットモードでやり取りすると、1 対 1 のチャットをやっているような画面でライトメールができます。

ご注意

- DX メール（ウィルコムのショートメッセージサービス）のチャット通信とは異なります。

チャットモードでメッセージを作成する

1 受信トレイ画面または送信トレイ画面で画面右下の メニュー － チャット開始 － 新規 をタップします。

チャットモードの新規画面が表示されます。

2 チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。

ライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、4-32 ページをご覧ください。

MEMO

- 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。

3 本文入力欄をタップし、本文を入力します。

入力できる文字数は全角 45 文字（半角 90 文字）です。

① 入力した文字数が表示されます。分母の 90 は、半角 90 文字のことです。全角 1 文字を入力すると、2 つ数字が増えます。

4 本文の入力が終わったら、 送信 ボタンをタップ、または画面左下の 送信 をタップします。

宛先（電話番号）の右側に「送信中」と表示され、送信が終了すると「送信完了」と表示されます。

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

5 チャットモードを止めるときは、画面右下の[メニュー]－[中止]をタップします（[OK]をタップしても同様の操作になります）。

・相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「再送信しますか？」と表示されます。この画面で[はい]をタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「再送信しますか？」と表示されますので、[いいえ]をタップし送信待フォルダに入れます。あとで再送信する方法については4-31 ページをご覧ください。
・通話／通信機能を制限（☞ 3-23ページ）しているときは、チャットモードでの送信はできません。

■ 送信済のメールを確認しながらメッセージを作成する

1 送信トレイ画面の送信済フォルダで、引用するメールを選択し、画面右下の[メニュー]－[チャット開始]－[引用]をタップします。

チャットモードの引用画面が表示されます。

① 選択したメールの本文がメッセージとして表示され参考にできます。

② **やりとり表示欄**

2 チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。

3 本文を入力します。

MEMO
- 引用するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[チャット開始]－[引用]をタップしてもチャットモードの引用画面が表示されます。
- 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。

4 [送信]ボタンをタップ、または画面左下の[送信]をタップします。

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

チャットモードで返信する

1 受信トレイ画面で返信するメールを選択し、画面右下の[メニュー]－[チャット開始]－[返信]をタップします。

チャットモードの返信画面が表示されます。（受信したメールの本文がメッセージとして表示されます。）

MEMO
- 返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[チャット開始]－[返信]をタップしてもチャットモードの返信画面が表示されます。
- 宛先（電話番号）は変更できません。

2 返信（本文）の入力が終わったら、[送信]ボタンをタップ、または画面左下の[送信]をタップします。

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

チャットモード画面について

① 宛先（電話番号）表示欄

新規画面：相手の宛先（電話番号）を入力します。

引用画面：本文を引用して送信する相手の宛先（電話番号）を入力します。

返信画面：選択したメールの送信者（電話番号）が表示されます。

②現在の状態表示

新規　　：チャットモードの新規画面のとき

引用　　：チャットモードの引用画面のとき

返信　　：チャットモードの返信画面のとき

送信中　：チャットモードで送信中

送信完了：チャットモードで送信したとき

送信失敗：チャットモードで送信に失敗したとき

受信完了：①で表示されている相手から、受信したとき

③ やりとり表示欄

返信／引用画面：選択したメールの本文が表示されます。

以降は以下のように表示されます。

（自分を表すアイコン）：> メッセージ

（相手を表すアイコン）：> メッセージ

④ 本文入力欄

①で表示されている相手に送るメッセージを入力します。

⑤ 送信ボタン

①で表示されている宛先（電話番号）に④で入力したメッセージが送信されます。

⑥ 絵文字などの入力ボタン

絵文字などの入力パッドが表示され、記号、顔文字、絵文字などが入力できます(☞ 4-33 ページ)。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などで送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。
この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

1 送信トレイ画面を表示します。

2 送信待フォルダを選択（反転）し、送信するメールを選択（反転）します。

3 画面右下の［メニュー］－［チャット開始］－［引用］をタップします。

4 チャット相手の宛先（電話番号）を入力し、［送信］ボタンをタップ、または画面左下の［送信］をタップします。

MEMO

- チャットモード中に電話がかかってきた場合でも、作成中の状態は保持されています。
- チャットモード中のライトメール受信について
  チャット相手から受信：
  やりとり表示欄に表示されます。
  チャット相手以外から受信：
  「新着メールが届きました」のメッセージが表示されます。
- アニメーション絵文字は使えません。

受信したライトメールを振り分ける

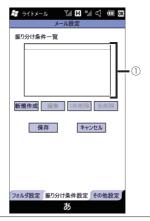
受信したメールを受信フォルダだけでなく、送信者（電話番号）を指定してその送信者（電話番号）のメールを受信フォルダ、またはフォルダ１～９に入れる(振り分ける)ことができます。

振り分けの設定をする

始めに、受信したメールを振り分けるための振り分け条件を設定します。

1 受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。

2 画面右下の［メニュー］－［設定］をタップします。
メール設定画面が表示されます。

3 メール設定画面で、［振り分け条件設定］タブをタップします。
メール設定画面（［振り分け条件設定］タブ）が表示されます。

① すでに設定している条件が表示されます。

4 新規作成 をタップし、振り分け条件を作成します。

振り分け条件作成画面が表示されます。

①「すべての送信者」または「電話番号」を選択します。

・「電話番号」を選択すると、②に入力した電話番号が対象となり、③で選んだフォルダの中にその電話番号のライトメールが振り分けられます。

・「すべての送信者」を選択すると、すべての送信者が対象となり、③で選んだフォルダの中に送信者すべてのライトメールが入ります。

② 電話番号（送信者）を入力します。この電話番号の人から送信されたメールを振り分けますので、入力する番号を間違えないでください。

③ 振り分け先となるフォルダを選択します（タップして反転します）。選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

MEMO

- ③で選択できるフォルダは 1 つだけです。複数のフォルダを選択できません。
- ある電話番号の振り分け先に指定したフォルダは、別の電話番号の振り分け先にも選択できます。たとえば、070-XXX-XXXX の振り分け先に「フォルダ 1」を選択し、070-YYY-YYYY の振り分け先にも「フォルダ 1」を選択できます。「フォルダ 1」には、070-XXX-XXXX と 070-YYY-YYYY の両方から送信されたメールが振り分けられます。

5 保存 をタップします。

メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）に戻り、手順 **4** で入力した電話番号などがリストに表示されます。

6 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で 保存 をタップします。

7 ライトメールを受信します。

作成した振り分け条件にしたがって、受信メールが振り分けられます。

設定した振り分けを修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で、編集したい振り分け設定を選択し、編集 をタップします。

2 表示された画面で、電話番号を編集したり振り分け先を変更するなどして、保存 をタップします。

3 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で 保存 をタップします。

設定した振り分けを削除する

設定した振り分け条件を削除します。

■ 1 つの設定を削除します（1 件削除）

1 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で、削除したい振り分け設定を選択し、1 件削除 をタップします。

2 確認画面で はい をタップします。

手順 **1** で選択した振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

■ すべての設定を削除します（全削除）

1 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で、全削除 をタップします。

2 確認画面で はい をタップします。

すべての振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

各種設定を行う

ライトメールの設定を行います。

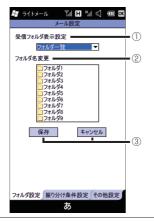
1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［設定］をタップします。**

設定画面が表示されます。

3 **フォルダの設定や振り分けの条件設定などを行います。**

◇［フォルダ設定］タブ◇

フォルダの表示方法や受信トレイのフォルダ１～９の名前を変更します。

① 受信トレイ画面の表示方法を設定します。

・フォルダ一覧：フォルダリストには、受信フォルダやフォルダ１～９が表示され、フォルダ単位でメールが表示されます。

・全受信メール：受信したメールがすべて表示されます。フォルダリストには、「全受信メール」と表示されます。

② フォルダ名を変更します。

※「受信フォルダ」の名前だけは変更できません。

名前を変更するフォルダをタップします。

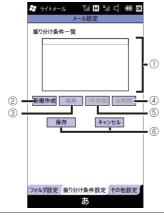
フォルダ名変更画面が表示されますので、名前を変更し［OK］をタップします。

［キャンセル］をタップすると、フォルダ名は変更されません。

このフォルダ名は、左記の振り分け条件設定に用意されているフォルダ１～９です。このフォルダ名を変更すると、受信トレイ画面で表示されるフォルダ名や左記の画面（メール設定画面（［振り分け条件設定］タブ））に表示されるフォルダ名も変更されます。

③ 変更を保存するときは［保存］をタップします。変更をやめるときは、［キャンセル］をタップします。

◇［振り分け条件設定］タブ◇

受信したメールを振り分けます。設定方法などの操作については、4-38ページをご覧ください。

① 設定した振り分け条件がリスト表示されます。

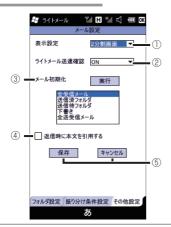
② 新規に振り分けを設定します。くわしくは、4-38ページをご覧ください。

③ 設定した振り分けを編集します（☞前ページ）。

④ 設定した振り分けすべてを削除します（☞ 4-39 ページ）。

⑤ 設定した振り分けを 1 件削除します（☞ 4-39 ページ）。

⑥ 変更を保存するときは [保存] をタップします。変更をやめるときは、[キャンセル] をタップします。

◇ [その他設定] タブ◇

① 2 分割画面と 3 分割画面を切り替えます（☞ 4-28 ページ）。

② ライトメール送信時に送信済の確認音を鳴らす／鳴らさないを選択します。
- 「ON」 ：確認音を鳴らします。
- 「OFF」：確認音は鳴りません。

③ 受信フォルダや送信済フォルダなどに入っているメールを削除します。
フォルダのリストからいずれかのフォルダを選択（反転）し、[実行] をタップします。

④ チェックをつけると、返信時に本文を引用します。

⑤ 変更を保存するときは [保存] をタップします。変更をやめるときは、[キャンセル] をタップします。

4 **設定が終われば [OK] をタップします。**

ライトメールのメニュー

受信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

返信		選択しているライトメールを返信する(☞4-32ページ)。
転送		選択しているライトメールを転送する(☞4-32ページ)。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する(☞4-35ページ)。
	返信	チャットモードの返信画面を表示する(☞4-36ページ)。
並び替え		受信順、差出人順に並び替える(☞4-29ページ)。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える(☞4-29ページ)。
削除	1件削除	選択しているライトメールを削除する(☞4-34ページ)。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する(☞4-34ページ)。
	全件削除※	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-34ページ)。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。 移動 をタップし、確認画面で OK をタップする。 次に、移動したいライトメールを選択して、画面左下の 実行 をタップする。表示された移動画面で移動先のフォルダをタップし、OK をタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する(☞4-27ページ)。
設定※		設定画面を表示する(☞4-40ページ)。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
送信		選択しているライトメールを送信する。
一括送信※		送信トレイ内の送信待フォルダのメールを一括して送信する(☞4-31ページ)。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する(☞4-35ページ)。
	引用	チャットモードの引用画面を表示する(☞4-36ページ)。
並び替え		送信順、宛先順に並び替える(☞4-30ページ)。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える(☞4-30ページ)。
削除	1件削除	選択しているライトメールを削除する(☞4-34ページ)。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する(☞4-34ページ)。
	全件削除※	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-34ページ)。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する(☞4-27ページ)。
設定※		設定画面を表示する(☞4-40ページ)。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信メール／受信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する。
通話	発信	表示されている電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-37ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-37ページ)。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-37ページ)。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する(☞4-35ページ)。
	引用※1	チャットモードの引用画面を表示する(☞4-36ページ)。
	返信※2	チャットモードの返信画面を表示する。
連絡先に登録	新規登録	電話番号などを新規登録する。
	追加登録	電話番号などを追加登録する。
転送※2		選択しているライトメールを転送する。
編集※1		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。"連絡先"など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。
削除		選択しているライトメールを削除する。
移動※2		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。[移動] をタップし、表示された移動画面で移動先のフォルダをタップし、[OK] をタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する(☞4-27ページ)。

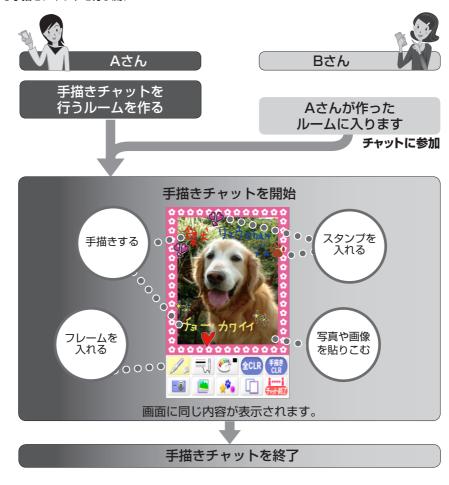
※1　送信メール本文選択時に表示されます。
※2　受信メール本文選択時に表示されます。

「受信トレイ」、「送信トレイ」選択時（3 分割画面に設定時のみ）

チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する。
	返信※1	チャットモードの返信画面を表示する。
	引用※2	チャットモードの引用画面を表示する。
一括送信※2		送信トレイ内の送信待フォルダのメールを一括して送信する（☞4-31ページ）。
メール全削除		受信トレイ内の1つのフォルダまたは送信トレイ内の1つのフォルダに入っているライトメールをすべて削除する。
フォルダ名変更※1		受信トレイの中にある「フォルダ1」～「フォルダ9」のフォルダ名を変更する。
表示切替※1		受信トレイの中のフォルダを表示するとき、「全受信メール」表示フォルダを切り替える。
設定		設定画面を表示する（☞4-40ページ）。

※1「受信トレイ」選択時に表示されます。
※2「送信トレイ」選択時に表示されます。

手描きチャット

“手描きチャット”が入っている製品同士で、手描きの文字や絵、写真をやりとりできます。
自分の画面に手描きをしたり写真を貼り込むと、相手の画面に同じ内容がすぐに表示されるので、会話をしているように楽しめます。
対応機種、料金などについては、下記 URL をご覧ください。
URL　http://tegakichat.jp/

●手描きチャットを行う流れ

MEMO

- 上記の流れ（操作）はコミュニティサイトによって異なります。

●サービス利用について

“手描きチャット”をご利用いただくにあたっては、事前に「利用規約」をご確認ください。「利用規約」は、以下の URL からご覧ください。
URL http://tegakichat.jp/

●ご使用の前に

ご使用の前に、次のことを確認してください。

■ 手描きチャットの登録をします。

手描きチャットを行うには、登録が必要です。手描きチャットの画面を表示して、登録を行ってください。

1 **手描きチャット画面を表示します（☞次ページ）。**

☞次ページ

2 **画面右下の チャット開始 をタップします。**

3 **表示された画面のリストからコミュニティの 1 つをタップし、確認画面で はい をタップします。**

ネットワークに接続します。

4 **表示された画面で、メールアドレスやパスワードなどの情報を入力して、登録を行います。**

ユーザー登録の方法などは、表示された画面をご覧になり、行ってください。

MEMO

- 手順 **3** でタップするコミュニティによっては、操作が異なることがあります。
  表示された画面にしたがって操作してください。

ご注意

- オンラインサインアップを完了して設定された「センタ名称設定」の内容は変更 /削除しないでください。変更 /削除すると、手描きチャットができなくなります。

手描きチャットを行う

手描きチャットを行います。最初に前ページの準備ができているか確認してください。ここでは、準備ができているものとして説明します。

Aさん

1 手描きチャットを行う相手と話をして、チャットを行うルーム名などを決めておきます。

2 スタート画面の “手描きチャット” をタップします。

3 右下の チャット開始 をタップします。

4 表示された画面で、コミュニティの 1 つをタップし、さらに はい をタップします。

ネットワークに接続します。

Bさん

1 スタート画面の “手描きチャット” をタップします。

2 右下の チャット開始 をタップします。

3 表示された画面で、コミュニティの 1 つをタップし、さらに はい をタップします。

ネットワークに接続します。

はじめて手描きチャットを使うときは

ユーザー登録を行います。必要な情報を入力し、登録してください。
ユーザー登録の方法などは、表示された画面をご覧になり、行ってください。手順 **4** でタップするコミュニティによっては、操作が異なることがあります。
表示された画面にしたがって操作してください。

次ページへつづく

Aさん
～つづき～

Bさん
～つづき～

5 表示された画面で、ルームを登録します。

●

●

●

4 表示された画面で、A さんと決めたルームに入ります。

●

●

●

前ページの手順 **4**（B さんの場合は手順 **3**）で、タップするコミュニティによっては、操作手順などが異なることがあります。
表示された手順にしたがって操作してください。

6 相手が参加すると画面右下のアイコンがに変わります。

チャットを開始します。

5 画面右下のアイコンがに変わります。

チャットを開始します。

次ページへつづく

Aさん
～つづき～

Bさん
～つづき～

手描きチャットを開始

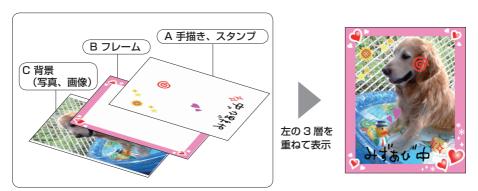
文字や絵（イラスト）を描いたり、写真を貼り付けたり、スタンプやフレームで会話をするように楽しめます。

ペン ペンの種類を選びます。 ➡ をタップし、ペンをタップします。	**カメラ** 写真を撮り、貼り込むことができます。 ➡ をタップし、写真を撮って OK をタップします。
太さ ペンの太さを３段階から選べます。 ➡ をタップし、太さをタップします。	**画像の読み込み** 保存してある画像を読み込むことができます。 ➡ をタップし、画像をタップして OK をタップします。
カラーパレット ペンで と を選んでいるときカラーを選べます。 ➡ をタップし、カラーをタップします。	**スタンプ** スタンプを画面に貼り付けることができます。 ➡ をタップし、スタンプをタップします。
すべてクリア 手描きした内容、スタンプ、フレーム、写真、画像をすべて消すことができます。	**フレーム** 画面をフレームで囲むことができます。 ➡ をタップし、フレームをタップします。
手描きをクリア 手描きした内容とスタンプをすべて消すことができます。 ※ フレームだけを消すときは、 をタップし、「なし」をタップします。	（未接続） （接続中）　**チャット状態アイコン** （チャット中） チャット状態を表しています。

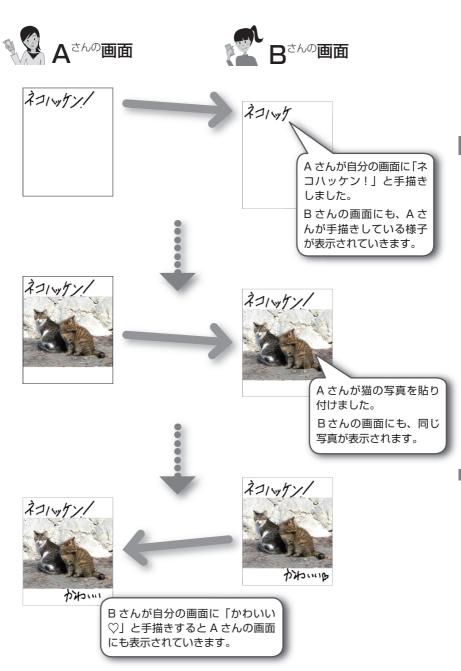
手描きチャットを終了

チャットを終了するときは、画面右下の メニュー － 終了 をタップし、確認画面で はい をタップします。

●手描きチャット画面について

手描きチャットの画面は、下図のように３つの層が重なって１つの画面になっています。
写真や画像をすでに貼り付けている場合、新しい写真や画像を貼り付けると、新しいものに置き換わります。

・　手描きした内容とスタンプは A に描かれます。
・　フレームは B に描かれます。
・　写真、画像は C に描かれます。

●やり取り例

猫が 2 匹で寄りそっているのを見つけた A さんが、猫好きな友人 B さんを誘って、手描きチャット を開始しました。

よく使うスタンプを集める

すでに入っているスタンプの中で、よく使うスタンプだけを集めることができます。

1 **手描きチャットの画面で をタップします。**

2 **画面下のタブ（ 記号 など）をタップします。**

3 **スタンプの 1 つをタップしたままにし、 My Stamp へ追加 をタップします。**

My Stamp タブに、スタンプが入ります。

手描き画面を保存する

やり取りした手描き画面を画像ファイルとして保存できます。
また、保存したファイルを壁紙として自分だけの待ち受け画面（Today 画面）にすることもできます。

■手描き画面を保存する

1 **手描きチャット画面右下の メニュー － 保存 をタップします。**

自動的に「YYYYMMDDHHMMSS」（年月日時分秒）のファイル名が付いて、「My Documents」フォルダの「マイピクチャ」フォルダの中に保存されます（たとえば、2009 年 5 月 15 日 14 時 35 分 20 秒に保存すると、「20090515143520」のファイル名が付きます）。
保存したファイルは、エクスプローラーから開きます。

MEMO

- 壁紙にする場合は、次のようにします。
  1. スタート画面の“画像とビデオ”をタップし、画像とビデオ画面で保存した画像をタップしたままにして表示されたメニューから [Today] の背景に設定する をタップします。
  2. 背景にするときの透過レベルを設定し、 OK をタップします。

手描きチャットのメニュー

保存	画面の内容を保存する。
メール作成	手描きチャットの画面を添付した新規のメール作成画面が表示されます。
ホームページ	手描きチャットのホームページに接続する。
情報	メールアドレスと手描きチャットのバージョンを表示する。 誘うときは、このメールアドレスを指定する。
終了	手描きチャットを終了する。

5章　インターネット

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）　5-2

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）

Internet Explorer Mobileを使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。

接続の準備

ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

- W-CDMAやPHSを使ってインターネット接続する場合
  - ・オンラインサインアップ（☞2-2ページ）を行います。（オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています）。
  - ・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-4ページをご覧になり設定を行ってください。
- 内蔵ワイヤレスLANを使ってインターネット接続する場合
  - ・2-10ページをご覧になり設定を行ってください。

MEMO

- Internet Explorer Mobileの特徴は、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使ってパソコンのInternet Explorerと「お気に入り」を同期できることです。
- Internet Explorer Mobileは、パソコンなどで広く使われているWebブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。
- Internet Explorer MobileはFlashコンテンツの再生に対応していますがパソコンで広く使われているWebブラウザによる再生に比べて、一部異なる部分や制限があります。また、場合によっては、Flashの部分を表示できないこともあります。
  また、ホームページにてInternet Explorer MobileでのFlashコンテンツの再生は行わないように設定されている場合があります。

ホームページを見る

1 スタート画面の “Internet Explorer”をタップします。

Internet Explorerが起動します。

① **アドレスバー**
② 文字入力パネルを表示します。
③ お気に入り画面になります。
④ 前の画面に戻ります。
⑤ **移動ボタン（☞次ページ）**
⑥ キーワード入力による情報検索ができます。
⑦ 画面の表示サイズを変更します。
⑧ メニューが表示されます。

しばらくすると、アドレスバーなどがない画面になります。

① タップすると、アドレスバーや画面下部の５つのアイコンが表示されます。

2 **アドレスバーにURLを入力し、（移動ボタン）をタップします。**

接続を開始し、入力したURLのホームページに移動します。

MEMO

- 接続途中で接続を切断するときは、をタップしてから切断してください。
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、OK をタップしてください。

● ホームページがうまく表示されないときや動作が遅いときは

ホームページがうまく表示されないときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。

① （メニュー）をタップし、ツール－オプション をタップします。
② オプション画面で「閲覧の履歴」をタップします。
③「一時ファイル××.×MB」を選択し、画面右下の クリア をタップします。
④ 確認画面で はい をタップします。
⑤ OK を数回タップして元の画面に戻ります。

ネットワークを切断する

1 **タイトルバーの H をタップし、切断 をタップします。または、 キーを押します。**

内蔵ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続した場合

2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

お気に入りを使用する

何度も見たいホームページはお気に入りに登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するとき便利です。
またそのホームページを、起動時に接続するページとして設定することができます（☞5-6 ページ）。

お気に入りに追加する

1 **お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **お気に入りに追加 をタップします。**
お気に入りの追加画面が表示されます。

MEMO
- お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、（お気に入り）をタップし、（追加）をタップしても、お気に入りの追加画面が表示されます。

3 **名前を確認または変更し、画面左下の 追加 をタップします。**

① タップすると、名前を変更できます。

お気に入りのページを見る

1 **ホームページが表示されている画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから お気に入り をタップします。**
お気に入り画面が表示されます。

MEMO
- ホームページを表示しているときに、（お気に入り）をタップしてもお気に入り画面が表示されます。

2 **お気に入り画面の目的のページをタップします。**
目的のページが表示されます。

お気に入りにフォルダを追加する

1 **お気に入り画面で をタップします。**

2 **フォルダの名前を入力し、画面左下の 追加 をタップします。**

お気に入りから削除する

1 **お気に入り画面で、削除したいお気に入りのページを選択します。**

2 **をタップします。**
削除の確認画面が表示されます。

3 **はい をタップします。**

MEMO
- 追加したフォルダも、同じ操作で削除できます。

履歴を使ってホームページを表示する

一度表示したホームページのURLは履歴として残っています。この履歴を利用して、一度開いたホームページをすぐに表示できます。

1 をタップし、[履歴]をタップします。

履歴画面が表示されます。

2 履歴画面でページタイトルのリストから表示したいタイトルをタップします。

そのページが表示されます。

MEMO

● 履歴を削除する方法は、5-7ページをご覧ください。

ホームページの画像を保存する／テキストをコピーする

ホームページの画像を保存したり、テキストをコピーしたりできます。

ご注意

● Webページの保存はできません。

ホームページの画像を保存する

1 保存したいホームページの画像をタップしたままにし、ポップアップメニューから[イメージを保存]をタップします。

画像の保存画面が表示されます。

2 [保存]をタップします。

「My Documents」の下の「My Pictures」フォルダに保存されます。

MEMO

● 「My Pictures」フォルダ以外に画像を保存したいときは

1 画像の保存画面で、名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

① 画像の名前を入力します。

② 画像を保存するフォルダを選択します。

③ 画像を格納する場所として「メインメモリ」（「My Documents」の下）、または「microSDカード」を選択します。

2 [保存]をタップします。

ホームページのテキストをコピーする

1 コピーしたいテキストが表示されているホームページの画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから[選択]をタップします。

2 コピーするテキストを範囲指定し、もう一度ホームページの画面をタップしたままにし、[コピー]をタップします。

MEMO

● ホームページのテキストは、次の操作でもコピーできます。

① （メニュー）をタップし、[コピー／貼り付け]－[選択]をタップします。

② コピーするテキストを範囲指定します。

③ 画面左下の[コピー]をタップします。

ファイルをダウンロードして保存する

1 **保存するファイルが組み込まれているホームページから ダウンロード などをタップして、ファイルをダウンロードします。**

2 **画面右下の メニュー をタップし、名前を付けて保存 をタップします。**

名前を付けて保存画面が表示されます。

MEMO
- 画面左下の はい をタップすると「My Documents」フォルダに保存されます。

3 **名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

① ファイルの名前を確認します。

② ファイルを保存するフォルダを選択します。

③ ファイルを格納する場所として「メインメモリ」(「My Documents」の下)、または「microSD カード」を選択します。

4 **保存 をタップします。**
プログラムファイルなどをダウンロードすると、ダウンロード後、インストールが始まることがあります。このようなときは、画面に表示される内容にしたがって操作してください。

MEMO
- Java アプリケーション（ゲームなど）をダウンロードして楽しむこともできます。

ホームページ（起動時のページ）を設定する

（メニュー）－ ツール － オプション － ホームページ で、表示しているページを“Internet Explorer Mobile”を起動したときに最初に表示されるページに設定できます。設定が終わったら OK （または 完了 ）をタップしてください。

① ご購入時（初期設定）の Web ページがホームページになります。

② 現在表示している Web ページがホームページになります。

③ チェックを付けて URL を入力した Web ページがホームページになります。

キャッシュやCookie、履歴を削除する

（メニュー）－ツール－オプション－閲覧の履歴で、キャッシュやCookie、履歴の削除ができます。設定が終わったら OK（または完了）をタップしてください。

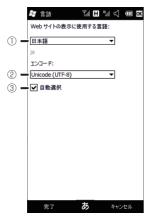
① キャッシュ（一時ファイル）のサイズ
② Cookie のサイズ
③ 履歴のサイズ
④ タップすると、選択しているキャッシュ（一時ファイル）または Cookie、履歴が削除されます。

プライバシーとセキュリティの設定をする

（メニュー）－ツール－オプション－プライバシーとセキュリティで、プライバシーとセキュリティの設定ができます。設定が終わったら OK（または完了）をタップしてください。

① チェックを付けると、スクリプトを有効にします。
② チェックを付けると、Cookie を有効にします。
③ チェックを付けると、セキュリティ保護のないページに移動したときに警告メッセージを表示します。

表示する言語の設定をする

（メニュー）－ ツール － オプション － 言語 で、ブラウザで表示する言語の設定ができます。設定が終わったら OK （または 完了 ）をタップしてください。

① Webサイトの表示に使用する言語を選択します。
② ページのエンコード形式を選択します。
③ チェックを付けると、ページのエンコード形式が自動的に選択されます。

サウンド、画像などの設定をする

（メニュー）－ ツール － オプション － その他 で、サウンド再生や画像表示の設定ができます。設定が終わったら OK （または 完了 ）をタップしてください。

① 閲覧するWebサイトに応じてブラウザの表示形式を選択します。
② チェックを付けると、サウンドを再生します。
③ チェックを付けると、画像を表示します。
④ チェックを付けると、Internet Explorer Mobileが既定のブラウザでない場合にメッセージが表示されます。

Internet Explorer Mobile の（メニュー）

ホームページ		「ホームページ」として設定されているページに戻る。
履歴		過去に表示したリンク先の一覧を表示する。
進む		「戻る」でページを戻したとき、戻す直前に表示していたページに進む。
最新の情報に更新		表示中のページを再読み込みする。
表示	文字サイズ	文字のサイズが 5 段階に変わる。
	ActiveX の有効化	ActiveX の有効／無効が切り替わる。
	モバイル／デスクトップ	表示しているページに応じてモバイル／デスクトップを選択する。
ツール	リンクを送る	表示しているページの URL を本文に記載した新規メールを作成する。
	プロパティ	表示しているページの情報を表示する。
	オプション	オプション画面を表示する。
コピー／貼り付け	選択	表示しているページの文字を選択する。
	貼り付け	コピーした文字を貼り付ける。
終了		Internet Explorer Mobile が終了する。

6章　映像と音楽

カメラを使用する

静止画(画像)やビデオ(動画)の撮影ができます。ここでは、カメラの基本的な使いかたについて説明します。

- **バーコードなどの読み取りについては、6-14 ページをご覧ください。**
- **名刺の読み取りについては、6-17 ページをご覧ください。**
- **原稿の読み取りについては、6-20 ページをご覧ください。**
- **雑誌記事の読み取りについては、6-23 ページをご覧ください。**
- **ホワイトボードに書かれた内容の読み取りについては、6-26 ページをご覧ください。**

カメラをご使用になる前に

この製品は、有効画素数約 500 万画素のカメラを搭載し、静止画（画像）や動画（ビデオ）の撮影ができます。

■ 撮影サイズ／保存形式や保存場所について

撮影した静止画（画像）や動画（ビデオ）は、以下の保存形式で保存されます。

モード	静止画モード (☞次ページ)	ビデオモード (☞ 6-6 ページ)
撮影サイズ	240 × 320 ドット 480 × 640 ドット 960 × 1280 ドット 1200 × 1600 ドット 1536 × 2048 ドット 1920 × 2560 ドット	144 × 176 ドット 240 × 320 ドット 480 × 640 ドット
保存形式	JPEG	Windows Media Video（WMV）
保存場所	●本体に保存するときは、「My Documents」フォルダ内の「マイ ピクチャ」フォルダ内に保存されます。 ●カードに保存するときは、「DCIM」フォルダ内に保存されます。	

■ 撮影可能距離

・このカメラの撮影可能距離は、約 10cm ～無限遠です。

■ カメラ撮影中の撮影音について

・カメラ撮影時、シャッター音（静止画撮影時）や撮影開始音（動画撮影時）は常に鳴ります。マナーモードや音量をオフにしていても、撮影時のシャッター音、撮影開始音は鳴ります。

■ ビデオ（動画）撮影中にアラーム時間になると

・ビデオ(動画)撮影中にアラーム時間になると、録画が停止したり、録画終了後に遅れてアラームが鳴ることがあります。

■ 自動終了について

・静止画やビデオ撮影画面で、約 5 分間何も操作しないでいると“カメラ”は自動的に終了します。

■ モーションセンサーについて

・カメラ使用中は、モーションセンサーが働きません。縦表示／横表示を切り替えるときは、本体側面の画面回転キーを押してください。

■ カメラ利用時のご注意

・撮影前に内蔵カメラのレンズカバーが汚れていないかご確認ください。
レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
・手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。
画像がぶれる場合は、手ぶれ防止を使ってください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
・この製品を温かい場所に長時間置いたあとで、撮影したり画像を保存したときは画質が劣化することがあります。
・カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
・カメラで太陽などの光源を直接見ないようにしてください。

静止画（画像）を撮影する

1 **スタート画面の “カメラ” をタップします。**

確認画面が表示され、しばらくすると、静止画モードが表示されます。

※各設定は、設定をタップして変更してください。

①「ビデオへ」	：	ビデオ（動画）撮影モードになります。
「画像一覧」	：	“画像とビデオ” が起動し、撮影した画像や動画を見ることができます。
「設定」	：	静止画設定画面になります。
「ガイド」	：	操作説明の画面が表示されます。
「アプリ切替」	：	カメラに関するアプリケーションが表示され、切り替えることができます。
「終了」	：	カメラを終了します。

② オートフォーカスの状態を表示します。また、タイマー撮影時は、タイマーの秒数が表示されます。

③ 横画面で撮影時：撮影サイズ、画質、連写、笑顔撮影、パノラマ撮影、手ぶれ防止、タイマー撮影、保存先の設定が表示されます。

縦画面で撮影時：撮影サイズ、撮影シーン、ホワイトバランス、明るさ、フォーカス、笑顔撮影の設定が表示されます。

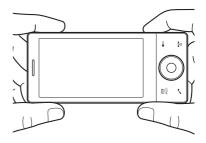
④ 撮影シーン、ホワイトバランス、明るさ、ズーム、フォーカスの設定が表示されます。アイコンをタップすると、設定を変更することができます（横画面で撮影時のみ）。

MEMO

- “カメラ” は、側面のカメラ起動 / シャッターキーを長押し（約5秒）しても起動します。“カメラ” 起動中はシャッターキーとしてはたらきます。
- ビデオモードになっているときは、カメラへをタップします。
- 各設定は、設定をタップしても変更することができます（☞次ページ）。

2 **画面にレンズからの画像が表示されます。**
被写体にレンズを向け、シャッターキーを押します。

6 映像と音楽

カメラ

MEMO

- シャッターキーを押すと、ピントを合わせて撮影します。
  実際に撮影されるまで数秒かかりますので、シャッター音が鳴るまで動かさないようにしてください。
- (アクション)キーを押して撮影することもできます。

3 **撮影した画像が保存されます。**
しばらくするとメッセージが消え、再度撮影することができます。

4 **カメラを終了するときは、[終了]をタップします。**

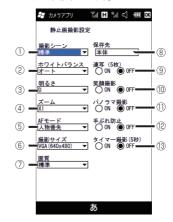
■ フォーカスロック機能を使う

被写体にレンズを向けて[MULTI]キーを押すと、ピントが合った状態で固定されます（フォーカスロック）。被写体にピントを合わせたままで、構図を変えて撮影するときなどに便利です。
フォーカスのロックを解除するときは、もう一度[MULTI]キーを押します。また、ロックは撮影すると解除されます。

■ 被写体が近いときは

花を撮影するときなど被写体が近い場合は、
横画面で撮影時：画面の (通常)または (人物）をタップして (接写）にしてください。
縦画面で撮影時：[設定]をタップして、フォーカスを接写にしてください。

静止画モードの設定を変更する

1 **静止画モードで、画面上の[設定]をタップします。**
静止画モードの設定画面が表示されます。設定画面で設定された内容は静止画モードの画面上に表示されます。

① 撮影シーン(「標準」「人物」「スポーツ」「風景」「夜景」「雪景色」「ビーチ」）を選択します。

② ホワイトバランス(「オート」「太陽光」「蛍光灯」「白熱灯」「曇り」）を選択します。

③ 明るさを調整します。

④ ズーム撮影する倍率を選択します。

⑤ フォーカス（「通常」「人物優先」「接写」）を選択します。

⑥ 撮影するサイズを選択します。

⑦ 撮影する画質を設定します。

⑧ 画像を保存する場所として「本体」、または「カード」を選択します。

⑨ 連写(5 枚)で撮影するかを選択します。
※撮影サイズの設定が「640 × 480 (VGA)」の場合のみ設定できます。

⑩ 笑顔撮影（人物が笑顔になると自動的に撮影する）で撮影するかを選択します。※笑顔撮影を「ON」にすると、フォーカスの設定は「人物優先」になります。

⑪ パノラマ撮影で撮影するかを選択します。

⑫ 手ぶれ防止で撮影するかを選択します。手ぶれ防止にして撮影すると、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがありますが故障ではありません。そのときは、手ぶれ防止を「OFF」にして撮影してください。

⑬ タイマー（5 秒）撮影で撮影するかを選択します。

2 **設定が終われば、OK をタップします。**

タイマーを使って撮影する

1 **静止画モードの設定画面で「タイマー撮影（5 秒）」の「ON」を選び、OK をタップします。**

2 **被写体にレンズを向け、シャッターキーを押します。**
タイマーが動作し、約 5 秒後に撮影されます。

① 撮影されるまでの時間（秒）が表示されます。

MEMO
- タイマー動作中にシャッターキーを押すと、その時点で撮影されます。

パノラマで撮影する

被写体を 3 回に分割して撮影し、合成してパノラマ写真にします。

1 **静止画モードの設定画面で「パノラマ撮影」の「ON」を選び、OK をタップします。**

2 **被写体にレンズを向け撮影します。**
撮影は、左側から中央、右側と 3 回シャッターを押します。
1 回目と 2 回目は、続きの撮影を促すためのシャッター音とは異なる音が鳴り、3 回目にシャッター音が鳴ります。
2 回目と 3 回目の撮影時は、画面の左側に残っている直前の画像に重ねるようにして撮影してください。

連写を使って撮影する

1 **静止画モードの設定画面で「連写（5 枚）」の「ON」を選び、OK をタップします。**

2 **被写体にレンズを向け、シャッターキーを押します。**
連続で 5 枚撮影されます。

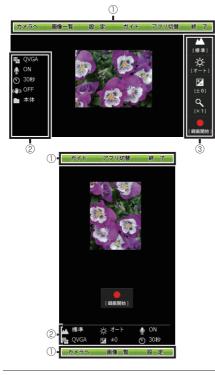
笑顔撮影を使って撮影する

1 **静止画モードの設定画面で「笑顔撮影」の「ON」を選び、OK をタップします。**

2 **人物にレンズを向けます。**
被写体の人物が笑うと、撮影されます。

ビデオ（動画）を撮影する

1 **スタート画面の 📷 “カメラ” をタップします。**

カメラ（静止画撮影）モードになっているときは、［ビデオへ］をタップします。

①「カメラへ」	：静止画（画像）撮影モードになります。
「画像一覧」	：“画像とビデオ” が起動し、撮影した画像や動画を見ることができます。
「設定」	：動画モードの設定画面になります。
「ガイド」	：操作説明の画面が表示されます。
「アプリ切替」	：カメラに関するアプリケーションが表示され、切り替えることができます。
「終了」	：カメラを終了します。
② 横画面で撮影時	：録画サイズ、オーディオ録音、録画制限時間、手ぶれ防止、保存先の設定が表示されます。
縦画面で撮影時	：録画サイズ、撮影シーン、ホワイトバランス、明るさ、オーディオ録音、録画制限時間の設定が表示されます。
③	撮影シーン、ホワイトバランス、明るさ、ズーム、録画の状態が表示されます。アイコンをタップすると、設定を変更することができます（横画面で撮影時のみ）。

MEMO

- 各設定は、［設定］をタップしても変更することができます（☞次ページ）。

2 **画面にレンズからの画像が表示されます。**
被写体にレンズを向け、シャッターキーを押す、または［録画開始］をタップします。

撮影開始音が鳴り、録画が開始されます。

MEMO

- （アクション）キーで録画を開始することもできます。

3 **もう一度、シャッターキーを押す、または［録画停止］をタップして録画を停止します。**

録画した動画を保存するまでにしばらくかかります。
microSD カードに保存するときや他のプログラムが起動しているときなどは、数分かかることがあります。

4 **撮影した動画が保存されます。**

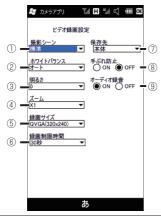
しばらくするとメッセージが消え、再度撮影することができます。

5 **カメラを終了するときは、［終了］をタップします。**

ビデオモードの設定を変更する

1 **ビデオモードで、画面上の[設定]をタップします。**

ビデオモードの設定画面が表示されます。

設定画面で設定された内容はビデオモードの画面上に表示されます。

① 撮影シーン (「標準」「人物」「スポーツ」「風景」「夜景」「雪景色」「ビーチ」) を選択します。
② ホワイトバランス(「オート」「太陽光」「蛍光灯」「白熱灯」「曇り」) を選択します。
③ 明るさを調整します。
④ ズーム撮影する倍率を選択します。
⑤ 録画サイズを選択します。
⑥ 動画の撮影制限時間を「15 秒」、「30 秒」、「制限なし」から選択します。
⑦ 動画を保存する場所として「本体」または「カード」を選択します。
⑧ 手ぶれ防止で撮影するかを選択します。手ぶれ防止にして撮影すると、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがありますが故障ではありません。そのときは、手ぶれ防止を「OFF」にして撮影してください。
⑨ 音声などを録音するか選択します。

2 **設定が終われば、[OK]をタップします。**

撮影した静止画や動画を見る

撮影した静止画や動画を表示します。

1 **静止画モード、またはビデオモードを表示します。**

2 **[画像一覧]をタップします。**

“画像とビデオ”(☞次ページ)が起動します。

3 **表示する画像をタップします。**

画像が表示されます。

くわしくは次ページをご覧ください。

画像とビデオ

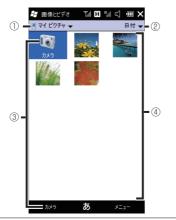
静止画（画像）の表示や編集、ビデオ（動画）を表示することができます。
ここでは、画像とビデオの基本的な使いかたについて説明します。
次のファイルを表示できます。

・静止画　：JPEG 形式　BMP 形式
　　　　　　GIF 形式　PNG 形式
・動画　　：WMV 形式

※ただしファイルによっては表示できないものもあります。

静止画や動画を見る

1 **スタート画面の “画像とビデオ” をタップします。**

画像とビデオ画面（「マイピクチャ」フォルダに保存された静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧）が表示されます。

① タップすると、どのフォルダにある静止画や動画を一覧で表示したいか指定できます。

② タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準に画像や動画が並び替わります。

③ “カメラ”（☞ 6-3 ページ）が起動します。

④ フォルダ内の画像や動画がサムネイル表示されます。

撮影した静止画（画像）を確認する

1 **確認したい静止画（画像）を選択し、画面左下の [表示] をタップします。**

画面全体に拡大され、詳細画面が表示されます。

MEMO

● 確認したい静止画をタップしても画面全体に拡大表示されます。

2 **[OK] をタップすると一覧に戻ります。**

撮影した動画（ビデオ）を確認する

1 **確認したい “ ” 動画（ビデオ）を選択し、画面左下の [再生] をタップすると Windows Media Player 10 Mobile が起動して再生されます。**

Windows Media Player 10 Mobile の操作についてくわしくは、6-29 ページをご覧ください。

画像をスライドショーで表示する

複数の画像を連続して表示するスライドショー表示ができます。

1 **画像とビデオ画面右下の [メニュー] − [スライドショーの再生] をタップします。**

スライドショーを終了するときは、画面をタップし、スライドショーツールバー（ ）を表示し、 をタップします。
スライドショーツールバーでスライドショーの終了や一時停止（ ）、表示の回転（ ）などの操作ができます。

MEMO

● 縦画面、横画面どちらでスライドショー表示するか設定できます。（☞ 6-11 ページ）

メールに添付して送る

画像やビデオを電子メールの添付ファイルとして送信できます。

1 画像とビデオ画面で添付ファイルとして送信したい画像またはビデオをタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 送信 をタップします。

MEMO

- 複数のアカウントが登録されているときは、アカウントを選択する画面が表示されますので、アカウントを選択してください。

3 宛先、件名、本文などを入力し、メールを送信します。

MEMO

- 添付ファイルとして送信したい画像またはビデオを選択し、画面右下の メニュー － 送信 をタップしてもメールの送信画面（アカウントの選択画面）が表示されます。

画像を待ち受け画面（Today 画面）の背景に設定する

画像を待ち受け画面（Today 画面）の背景として設定できます。くわしくは 9-3 ページをご覧ください。

撮影した静止画（画像）を編集する

撮影した画像をトリミング（切り抜き）したり、明るさ／コントラストのレベルを調整するなど編集することができます。

1 画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、画面左下の 表示 をタップします。

2 画面右下の メニュー － 編集 をタップして画像を編集します。

■ 画像をトリミング（切り抜き）する

1 画面右下の メニュー － トリミング をタップします。

2 切り抜きしたい部分をドラッグします。

3 ドラッグした領域内をタップします。

画像が切り抜きされます。
トリミングをやめるときは、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。

4 編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー － 名前を付けて保存 をタップし、ファイル名を確認し、OK をタップします。

■ 明るさ／コントラストのレベルを調整する

1 画面右下の メニュー － 自動修正 をタップします。

明るさとコントラストのレベルが自動調整されます。
調整をやめるときは、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。

2 編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー － 名前を付けて保存 をタップし、ファイル名を確認し、OK をタップします。

MEMO

- 画面左下の 回転 をタップすると、90 度ずつ画像を回転します。
- 直前の編集操作を元に戻すには、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。
- すべての編集操作をやめて元に戻すには、画面右下の メニュー － 前回保存したときの状態に戻す をタップし、確認画面で はい をタップします。

画像やビデオを整理する

新規フォルダを作成する

新しくフォルダを作って画像やビデオを整理できます。

1 **画像とビデオの一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［編集］－［新しいフォルダー］をタップします。**

新しいフォルダが作成されます。

ファイルやフォルダを移動させる

1 **移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから［切り取り］をタップします。**

MEMO

- 移動させるファイルやフォルダを選択し、画面右下の［メニュー］－［編集］－［切り取り］をタップしても切り取りができます。

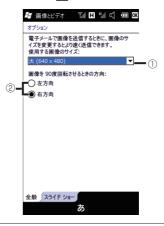
3 **移動先のフォルダをタップし、フォルダを開きます。**

4 **［メニュー］－［編集］－［貼り付け］をタップします。**

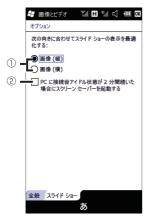
MEMO

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- **削除するときは**
  上記の手順 **2** で［削除］をタップし、確認画面で［はい］をタップします。
  動画（ビデオ）ファイルを削除するときに「ファイルの削除エラー」が表示された場合、そのファイルは Windows Media Player 10 Mobile で使用されているため削除できません。
  Windows Media Player 10 Mobile を終了してから(☞ 1-31 ページ)、再度、動画(ビデオ) ファイルを削除してください。
- **ファイルをコピーするときは**
  上記の手順 **2** で［コピー］をタップします。
- **ファイルの名前を変更するときは**
  1 名前を変更したいファイルを選択し、画面右下の［メニュー］－［ツール］－［プロパティ］をタップします。
  2 プロパティ画面の「名前」欄の名前を変更し、［OK］をタップします。

メールに添付するときのサイズを設定する

画像とビデオの一覧画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプションの表示］－［全般］タブで、メールに添付するときのサイズの設定や編集画面で画像を回転させる方向の設定ができます。
設定が終わったら［OK］をタップしてください。

①	電子メールで画像を送信するときの画像のサイズを設定します。
②	画像を 90 度回転させるときの方向を設定します。

スライドショーの設定をする

画像とビデオの一覧画面右下の メニュー － ツール － オプションの表示 － スライドショー タブで、スライドショーの設定ができます。
設定が終わったら OK をタップしてください。

① 画像を表示するとき、縦画面にして画像を表示（画像（縦））する、横画面にして画像を表示（画像（横））するを選択します。

② パソコンと接続後、2 分間操作しないと、スライドショーが始まります。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオの一覧画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">送信</td><td colspan="2">選択した画像またはビデオを添付した新規メールを作成する(☞6-9ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビーム</td><td colspan="2">選択した画像またはビデオを別のWS027SHなどに送信する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先に保存</td><td colspan="2">連絡先の画像情報に選択した画像を設定する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">削除</td><td colspan="2">選択した画像またはビデオを削除する。
画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから
削除 をタップしても削除ができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">編集</td><td>切り取り</td><td colspan="2">画像またはビデオを切り取る。
画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから
切り取り をタップしても切り取りができる。</td></tr>
<tr><td>コピー</td><td colspan="2">画像またはビデオをコピーする。
画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから
コピー をタップしてもコピーができる。</td></tr>
<tr><td>貼り付け</td><td colspan="2">コピーおよび切り取った画像またはビデオを貼り付ける。</td></tr>
<tr><td>新しいフォルダー</td><td colspan="2">画像やビデオを整理するための新しいフォルダーを作成する(☞6-10ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">スライドショーの再生</td><td colspan="2">画像をスライドショーとして表示する(☞6-8ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">[Today]の背景に設定する</td><td colspan="2">選択した画像を待ち受け画面(Today画面)の背景として設定する(☞6-9、9-3ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">移動</td><td colspan="2">「マイピクチャ」、「マイデバイス」または選択したフォルダ階層へ移動します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ツール</td><td>プロパティ</td><td colspan="2">選択した画像またはビデオの情報を表示する。また、名前の変更ができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">並べ替え</td><td>名　前</td><td>名前順で表示する。</td></tr>
<tr><td>日　付</td><td>日付順で表示する。</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>サイズ順で表示する。</td></tr>
<tr><td>オプションの表示</td><td colspan="2">オプション設定画面を表示する(☞6-10、6-11ページ)。</td></tr>
</table>

詳細画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ズーム</td><td>ファイルサイズが大きいとき、タップすると、ナビゲーション用のサブウィンドウを表示して、画像の拡大／縮小、表示領域の移動をする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">スライドショーの再生</td><td>画像をスライドショーとして表示する(☞6-8ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">[Today]の背景に設定する</td><td>表示している画像を待ち受け画面(Today画面)の背景として設定する(☞6-9、9-3ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像のビーム</td><td>画像を別のWS027SHなどに送信する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保存</td><td>連絡先に保存</td><td>連絡先の画像情報に表示している画像を設定する。</td></tr>
<tr><td>名前を付けて保存</td><td>表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">編集</td><td>編集画面になる(☞6-9ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロパティ</td><td>選択した画像の情報を表示する。また、名前の変更ができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td>オプション設定画面を表示する(☞6-10、6-11ページ)。</td></tr>
</table>

編集画面のメニュー

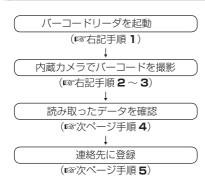
トリミング	画像を切り抜きする。
自動修正	画像の明るさやコントラストを自動で調整する。
元に戻す	トリミングや自動修正した画像を、元に戻す。
前回保存したときの状態に戻す	トリミングや画像回転などの編集を行った後、変更する前の状態（前回保存したときの状態）に戻す。
名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。

バーコードリーダを利用する

内蔵カメラを使ってバーコード（QR コードやJAN コード）を読み取ることができます。読み取った内容をもとに、連絡先への登録、メール送信、ブックマーク登録などができます。

MEMO

- バーコードのサイズや種類によっては読み取れないことがあります。

バーコードの撮影から登録までの流れ

バーコードを読み取る

1 **スタート画面の “バーコードリーダ” をタップします。**

2 **読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取るバーコードを表示します。**
バーコードが正面になるようにして、焦点距離は約 10cm（目安）にします。

3 **バーコードを読み取るには、読み取りエリア（ファインダー）の中央にバーコードを表示し、ピントを合わせます。**
ピントが合うと、自動的にバーコードが読み取られます。

MEMO

- バーコードを印刷している紙面が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。また、バーコードの周囲に空白部分がない場合も読み取れないことがあります。
- 読み取りに失敗すると「バーコードを読み取りできませんでした。」と表示されます。OK をタップし、手順 **2** からやり直してください。
- 大きめの横長のバーコードを読み取る場合は、本体を横にしてバーコード全体を読み取りエリアに収めてから撮影してください。
- カメラ使用中は、モーションセンサーが働きません。縦表示／横表示を切り替えるときは、本体側面の画面回転キーを押してください。

4 読み取ったバーコードが認識され、電話番号やURL、メールアドレスなどが表示されます。

①タップすると手順 **3** に戻ります。

5 画面下のボタンをタップします。

・ 連絡先に登録 ：表示している内容を連絡先に登録します。

・ メール作成 ：メールを作成します。

・ テキスト保存 ：表示している内容をテキストデータとして保存します。

※認識したバーコードによって、連絡先に登録 は表示されないことがあります。

MEMO

- 連絡先に登録 などのボタンは、画面右下のメニューをタップし表示されたメニューから 連絡先に登録 、メール作成 、テキスト保存 を選択しても行えます。
- 画面に表示されたメールアドレス、電話番号などをタップするとメニューが表示されます。
  各メニューを選択したときの動作については、次ページをご覧ください。
  メニューを選択したときと手順 **5** でボタンをタップしたときとでは動作が異なります。
- バーコードによっては、手順 **4** で表示される画面のボタンが 連絡先に登録 、メール連携 などになることがあります。
  メール連携 をタップするとアカウント選択画面が表示されます。アカウントを選択すると、宛先やタイトルなどが入った新規メール作成画面が表示されます。

■ 電話番号をタップしたとき

ライトメール作成		宛先に電話番号が入ったライトメールの新規作成画面が表示されます。
連絡先に登録	**新規登録**	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、電話番号が入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、電話番号が入った編集画面が表示されます。
発信、184発信など		電話をかけます。また184発信を選択すると、電話番号を通知せずに電話をかけます。電話をかけることについては、電話の章をご覧ください。

■ メールアドレスをタップしたとき

連絡先に登録	**新規登録**	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、メールアドレスが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、メールアドレスが入った編集画面が表示されます。
Eメール作成		メールを作成します。

■ URL をタップしたとき

ホームページに接続		インターネットに接続し、そのホームページが表示されます。
ブックマークに登録		ブックマークを登録します。
連絡先に登録	**新規登録**	表示された画面で 決定 をタップすると、URLが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップすると、URLが入った編集画面が表示されます。

名刺リーダを利用する

名刺を撮影すると名前や住所などの文字を読み取って“連絡先”に登録することができます。知らない間に増えてしまう名刺を、手軽に管理できるようになります。

ご注意

● **名刺の読み取りがうまくできないときは**

名刺の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてみてください。

- スタート画面の“タスクマネージャー”をタップし、使用していないプログラムを選択して「タスクの終了」をタップします。
- また、インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示したWEBコンテンツなどの記憶）を次の手順で削除します。

 Internet Explorer Mobile
 ：（メニュー）ー［ツール］ー［オプション］をタップし、［閲覧の履歴］をタップします。
 次に、「一時ファイル」が選択されていることを確認し、画面右下の［クリア］をタップし、確認画面で［はい］をタップします。

名刺の撮影から登録までの流れ

名刺リーダを起動
（☞下記手順 **1**）
↓
内蔵カメラで名刺を撮影
（☞下記手順 **2** ～次ページ手順 **3**）
↓
読み取ったデータを確認
（☞次ページ手順 **3** ～ 6-19 ページ手順 **4**）
↓
連絡先に登録
（☞ 6-19 ページ手順 **4** ～ **7**）

名刺を読み取る

1 **スタート画面の“名刺リーダ”をタップします。**

2 **読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る名刺を表示します。**
名刺が正面になるようにして、焦点距離は約 10cm（目安）にします。

ご注意

● **認識精度がよくないときは**

名刺を表示しているとき、この製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

MEMO

● カメラ使用中は、モーションセンサーが働きません。縦表示／横表示を切り替えるときは、本体側面の画面回転キーを押してください。

3 画面左下の 読み取り をタップします。

「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。

姓や名、電話番号などの認識結果は黄色の背景が付きます。

画面左端の「部」や「姓」などは、認識した文字とデータを登録する“連絡先”の項目の関係を示しています。各項目については、以下の表をご覧ください。

<table>
<tr><th>表示項目</th><th colspan="2">連絡先の項目</th></tr>
<tr><td>U※1</td><td colspan="2">Webページ</td></tr>
<tr><td>E※2</td><td colspan="2">電子メール</td></tr>
<tr><td>電※3</td><td colspan="2">勤務先電話</td></tr>
<tr><td>携※1</td><td colspan="2">携帯電話</td></tr>
<tr><td>P※1</td><td colspan="2">PHS</td></tr>
<tr><td>F※1</td><td colspan="2">勤務先FAX</td></tr>
<tr><td>姓</td><td>姓(フリガナ)※6</td><td rowspan="2">名前</td></tr>
<tr><td>名</td><td>名</td></tr>
<tr><td>〒※1</td><td>郵便番号</td><td rowspan="4">勤務先住所</td></tr>
<tr><td>県※1</td><td>都道府県</td></tr>
<tr><td>市※1</td><td>市町村</td></tr>
<tr><td>番※1</td><td>番地以下</td></tr>
<tr><td>住※4</td><td>番地</td><td>勤務先住所</td></tr>
<tr><td>社※5</td><td colspan="2">勤務先</td></tr>
<tr><td>部※5</td><td colspan="2">部署</td></tr>
<tr><td>役※5</td><td colspan="2">役職</td></tr>
<tr><td>他※5</td><td colspan="2">「メモ」タブ</td></tr>
</table>

※1 この項目が複数ある場合、1つ目だけが“連絡先”の各項目に入り、2つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※2 この項目が複数ある場合、最初の3つのメールアドレスが“連絡先”の「電子メール」、「電子メール2」、「電子メール3」に入り、4つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※3 この項目が複数ある場合、最初の2つの電話番号が“連絡先”の「勤務先電話」、「勤務先電話2」に入り、3つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※4 英字の名刺を認識した場合に表示され、すべて勤務先住所の「番地」に入ります。

※5 この項目が複数ある場合、対応する“連絡先”の項目（「部署」など）に半角スペースで区切られて入ります。

※6 姓にあたる文字を認識したとき、認識した文字（姓）のふりがなも表示します。
ただし、ふりがなは推測によるものであり、必ずしも正しいものではありません。

MEMO

- 認識に失敗したときはメッセージが表示されますので、OK をタップして、もう一度撮影してください。エラーメッセージが表示されたときは OK をタップしてください。

4 認識したデータを確認し、画面左下の 連絡先に登録 をタップします。

読み取ったデータが"連絡先"に自動的に入力されます。

MEMO

- 撮り直したいときは、画面右下の 撮り直し をタップします。

5 "連絡先"の編集画面で内容を確認し、OK をタップします。

"連絡先"にデータが登録されます。

6 確認画面で OK をタップします。

7 読み取り画面に戻りますので、複数の名刺を読み取るときは同じ操作を繰り返します。

MEMO

- 名刺の紙質が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。

ご注意

- **名刺リーダで名刺を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。**
- 認識できない名刺
  - ・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の名刺
  - ・手書きや手書き風のフォントを使った名刺
  - ・背景が付いている名刺
  - ・縦書きと横書きが混在している名刺
- 認識が悪くなる名刺
  - ・名前や住所などの文字が薄くコントラストが低い名刺
  - ・非常に小さい文字や斜体の文字がある名刺
  - ・社名などがロゴやロゴ風フォントなどになっている名刺
  - ・表面に光沢のある名刺
  - ・汚れたり折れている名刺

コラムリーダを利用する

内蔵カメラを使って、原稿を撮影すると文字を読み取ることができます。

ご注意

● **原稿の読み取りがうまくできないときは**

原稿の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてみてください。

スタート画面の “タスクマネージャー” をタップし、使用していないプログラムを選択して「タスクの終了」をタップします。

また、インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示したWEBコンテンツなどの記憶）を次の手順で削除します。

Internet Explorer Mobile

：（メニュー）－ツール－オプションをタップし、閲覧の履歴をタップします。

次に、「一時ファイル」が選択されていることを確認し、画面右下のクリアをタップし、確認画面ではいをタップします。

著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

原稿の撮影から編集までの流れ

原稿を読み取る

1 **スタート画面の “コラムリーダ” をタップします。**

2 **読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る原稿を表示します。**

ご注意

● **認識精度がよくないときは**

原稿を表示しているとき、この製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

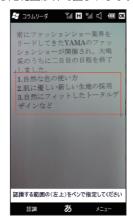
MEMO

● カメラ使用中は、モーションセンサーが働きません。縦表示／横表示を切り替えるときは、本体側面の画面回転キーを押してください。

3 **画面左下の 読み込み をタップします。**

撮影結果が表示されます。

4 **文字として認識する範囲の左上を長くタップし、つづいて右下を長くタップして指定します。**

指定した範囲が枠で囲まれます。

MEMO

- 指定した範囲の枠を長くタップし、ドラッグすると、枠の大きさを変更することができます。

5 **画面左下の 認識 をタップします。**

「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。

MEMO

- 認識に失敗したときはメッセージが表示されますので、 OK をタップし、もう一度撮影してください。
- エラーメッセージが表示されたときは OK をタップしてください。コラムリーダが終了しますので、再度、コラムリーダを起動してください。

6 **認識したデータを確認し、画面左下の Word で編集 をタップします。**

認識したデータが“Word Mobile”に自動的に入力されます。

MEMO

- 撮り直したいときは、画面右下の メニュー ー 再読み込み をタップします。

7 **“Word Mobile”の編集画面で内容を確認し、 OK をタップします。**

Word Mobile のテキストファイルとして保存されます。

MEMO

- “Word Mobile”の編集方法については、ホームページに掲載のアプリケーションマニュアルをご覧ください。
- 保存されたファイルのファイル名は YYYYMMDD_HHMMSS（たとえば、「20111120_153021」）になり、「My Documents」フォルダ内の「ColumnReader」フォルダの中に保存されます。

ご注意

- **コラムリーダで原稿を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。**

- 認識できない原稿
  - ・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の原稿
  - ・手書きや手書き風のフォントを使った原稿
  - ・背景が付いている原稿
  - ・縦書きと横書きが混在している原稿
- 認識が悪くなる原稿
  - ・文字が薄くコントラストが低い原稿
  - ・非常に小さい文字や斜体の文字がある原稿
  - ・社名などがロゴやロゴ風フォントなどになっている原稿
  - ・表面に光沢のある原稿
  - ・汚れたり折れている原稿

コラムリーダのメニュー

■ 撮影結果表示中のメニュー

再読み込み	再度原稿を読み取ります。
範囲再指定	認識する範囲を指定し直します。

■ 認識結果表示中のメニュー

再読み込み	再度原稿を読み取ります。
認識範囲再指定	認識する範囲を指定し直します。
バージョン表示	コラムリーダのバージョンを表示します。

情報リーダを利用する

雑誌のお店情報などの記事を読み取って、“連絡先”に登録することができます。

ご注意

● **記事の読み取りがうまくできないときは**

記事の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてみてください。

スタート画面の“タスクマネージャー”をタップし、使用していないプログラムを選択して「タスクの終了」をタップします。

また、インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示したWEBコンテンツなどの記憶）を次の手順で削除します。

Internet Explorer Mobile

：（メニュー）ー ツール ー オプション をタップし、閲覧の履歴 をタップします。

次に、「一時ファイル」が選択されていることを確認し、画面右下の クリア をタップし、確認画面で はい をタップします。

著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

記事の撮影から編集までの流れ

情報リーダを起動
（☞下記手順 **1**）
↓
内蔵カメラで記事を撮影
（☞下記手順 **2** ～次ページ手順 **3**）
↓
読み取ったデータを確認
（☞次ページ手順 **3** ～ **4**）
↓
連絡先に保存
（☞次ページ手順 **4** ～ 6-25 ページ手順 **7**）

記事を読み取る

1 **スタート画面の“情報リーダ”をタップします。**

2 **読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る記事を表示します。**

ご注意

● **認識精度がよくないときは**

記事を表示しているとき、この製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

MEMO

● カメラ使用中は、モーションセンサーが働きません。縦表示／横表示を切り替えるときは、本体側面の画面回転キーを押してください。

3 画面左下の 読み込み をタップします。

「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。
店名やメールアドレス、電話番号などの認識結果は黄色の背景が付きます。

4 認識したデータを確認し、画面左下の 連絡先に登録 をタップします。

認識したデータが“連絡先”に自動的に入力されます。

MEMO

● 撮り直したいときは、画面右下の メニュー − 再読み込み をタップします。

5 “連絡先”の編集画面で内容を確認し、OK をタップします。

“連絡先”のデータとして登録されます。

画面左端の「U」や「E」などは、認識した文字とデータを登録する“連絡先”の項目の関係を示しています。各項目については、以下の表をご覧ください。

表示項目	連絡先の項目	
U※1	Webページ	
E※2	電子メール	
電※3	勤務先電話	
店※4	店名(フリガナ)※6	
県※1	都道府県	勤務先住所
市※1	市町村	勤務先住所
番※5	番地以下	勤務先住所
他	「メモ」タブ	

※1 この項目が複数ある場合、1つ目だけが“連絡先”の各項目に入り、2つ目以降は「メモ」タブに入ります。
※2 この項目が複数ある場合、最初の3つのメールアドレスが“連絡先”の「電子メール」、「電子メール2」、「電子メール3」に入り、4つ目以降は「メモ」タブに入ります。
※3 この項目が複数ある場合、最初の2つの電話番号が“連絡先”の「勤務先電話」、「勤務先電話2」に入り、3つ目以降は「メモ」タブに入ります。
※4 店名は「名前(姓)」「勤務先」「表題」に入ります。
※5 この項目が複数ある場合は、2つまで「番地」に入り、3つ目以降は「メモ」タブに入ります。
※6 店名にあたる文字を認識したとき、認識した文字(店名)のふりがなも表示します。
ただし、ふりがなは推測によるものであり、必ずしも正しいものではありません。

MEMO

● 認識に失敗したときはメッセージが表示されますので、OK をタップし、もう一度撮影してください。
● エラーメッセージが表示されたときは OK をタップしてください。情報リーダが終了しますので、再度、情報リーダを起動してください。

6 確認画面で OK をタップします。

7 読み取り画面に戻りますので、複数の記事を読み取るときは同じ操作を繰り返します。

MEMO

- 記事の紙質が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。

ご注意

- **情報リーダで記事を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。**
- 認識できない記事
  - ・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の記事
  - ・手書きや手書き風のフォントを使った記事
  - ・背景が付いている記事
  - ・縦書きと横書きが混在している記事
- 認識が悪くなる記事
  - ・文字が薄くコントラストが低い記事
  - ・非常に小さい文字や斜体の文字がある記事
  - ・店名などがロゴやロゴ風フォントなどになっている記事
  - ・表面に光沢のある記事
  - ・汚れたり折れている記事

情報リーダのメニュー

■ 認識結果表示中のメニュー

再読み込み	再度記事を読み取ります。
バージョン表示	情報リーダのバージョンを表示します。

PDF SHOTを利用する

ホワイトボードに書かれた内容を読み取って、PDFデータとして保存することができます。

ご注意

● **読み取りがうまくできないときは**

ホワイトボードに書かれた内容の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてみてください。

スタート画面の "タスクマネージャー" をタップし、使用していないプログラムを選択して「タスクの終了」をタップします。
また、インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示したWEBコンテンツなどの記憶）を次の手順で削除します。

Internet Explorer Mobile
：（メニュー）ー ツール ー オプション をタップし、閲覧の履歴 をタップします。
次に、「一時ファイル」が選択されていることを確認し、画面右下の クリア をタップし、確認画面で はい をタップします。

撮影から編集までの流れ

ホワイトボードに書かれた内容を読み取る

1 スタート画面の "PDF SHOT" をタップします。

2 1. 撮影 をタップします。

3 読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る内容を表示します。

ご注意

● **認識精度がよくないときは**

ホワイトボードに書かれた内容を表示しているとき、この製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

4 (アクション)キーを押します。

撮影結果が表示されます。

① 範囲指定を解除します。

② 撮影結果をカラーにします。
　白黒へ をタップすると元に戻ります。

5 赤い枠線をドラッグして保存する範囲を指定します。

MEMO

- 範囲指定をやり直したいときは、リセット をタップします。
- 範囲指定して切り取ることにより、斜めになった画像を補正できます。

6 画面左下の 処理実行 をタップします。

「処理中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。

7 認識したデータを確認し、画面左下の 保存 － PDF形式保存 をタップします。

JPEG形式で保存するときは、保存 － JPEG形式保存 をタップします。
保存したファイルは、「My Documents」フォルダ内の「マイピクチャ」フォルダに入ります。

ご注意

- PDF SHOTでホワイトボードに書かれた内容を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。
- 認識できない内容
  - ・白地に薄い色の場合
- 認識が悪くなる内容
  - ・文字が薄くコントラストが低い場合
  - ・表面に光沢のある場合
  - ・汚れている場合

保存した画像をPDFにする

JPEG形式で保存した内容は、“PDF SHOT”で表示できます。

MEMO

- PDF形式で保存した内容は、「My Documents」フォルダ内の「マイピクチャ」フォルダから表示してください。

1 “PDF SHOT”を起動し、2. 画像選択 をタップします。

「マイピクチャ」フォルダの内容が表示されます。

2 保存したファイルをタップします。

撮影した内容が表示されます。

画像をPDF形式で保存される場合は、「ホワイトボードに書かれた内容を読み取る」の手順**5**～**7**をご覧になり保存してください。

■ 認識結果表示中のメニュー

メインメニュー	メインメニューに戻ります。
ヘルプ	使い方を表示します。
終了	PDF SHOT を終了します。

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player 10 Mobile）

この製品やネットワーク上にあるビデオファイル、オーディオファイルを再生できます。

次のファイルを再生できます。

・オーディオファイル
　：MP3形式、Windows Media Audio（wma）形式
・ビデオファイル
　：Windows Media Video（wmv）形式
・ストリーミング
　：Advanced Streaming Format（asf）形式

ご注意

- **ファイルの種類やサイズによっては、再生できないことがあります。**

- **イヤホンマイク使用時は、音量設定に注意してご使用ください。**

  イヤホンマイクなどをご使用になる場合は、音量の設定に十分気をつけて再生してください。
  思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
  音量を設定する（☞ 9-13 ページ）をご覧になり、音量を変更してください。

ここでは、Windows Media Player 10 Mobile の基本的な使いかたについて説明します。

音楽や映像を楽しむには

音楽 CD やインターネットホームページ上の著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

この製品で音楽や映像を楽しむには、最初にオーディオファイルやビデオファイルなどをこの製品に保存します。パソコンの Windows Media Player 10 と同期するとオーディオファイルなどを同期しこの製品に保存できます。また、すでにお持ちのパソコンなどに再生できるファイルを保存されているときは、microSD カードにそのファイルをコピーしてこの製品に取り付けて再生できます。microSD カードに保存しているファイルを再生するときは、カードを取り付け後、ライブラリの更新（次ページのメモ）を行ってください。

音楽や映像を再生する

オーディオファイルやビデオファイルを選んで再生します。
また、ライブラリによってアーティストやジャンルなどの項目別に自動分類されたフォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）の中のファイルを順番に再生します。

1 **スタート画面の "Windows Media" をタップします。**

ライブラリ画面が表示されます。
表示されないときは、画面右下の メニュー － ライブラリ をタップしてください。

MEMO

- **ライブラリの更新**
  ファイルが表示されないときはライブラリの更新を行ってください。ライブラリ画面で画面右下の メニュー － ライブラリの更新 をタップします。
  microSD カード内のファイルを再生するときは、下記手順 **2** の①を行ってください。

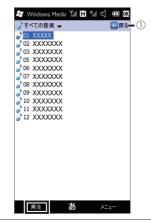
2 **再生したいファイルのカテゴリ（マイミュージック、マイビデオなど）をタップします。**

① microSD カード内のファイルを再生するときなど、タップして切り替えます。

② 動画ファイルはこの中に入ります。

③ カテゴリをタップして再生するファイルやフォルダを表示します。

3 **カテゴリの中のフォルダ（すべての音楽、アーティスト、アルバム、ジャンルなど）をタップして、再生するファイルやフォルダを表示します。**

4 **再生するファイルやフォルダを選択し、画面左下の 再生 をタップします。**

① 1 つ前の画面に戻ります。

再生画面が表示され、再生が始まります。フォルダを選択した場合は、フォルダの中のファイルが順番に再生されます。

① プレイビュー画面を表示し、再生順の変更や再生リストからの削除などができます（☞次ページ）。
② ランダム再生、連続再生の設定や再生中のファイル情報の表示などができます。

MEMO

- 再生するファイルやフォルダをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生 をタップしても再生できます。
- パソコンなどから転送した新しいファイルがライブラリ画面に表示されない場合は、ライブラリの更新を行ってください。
  1. ライブラリ画面右下の メニュー − ライブラリの更新 をタップします。
  2. ファイルの追加作業を待って画面右下の 終了 をタップします。

再生画面について

① ★（評価）をタップして評価を設定します。
② 経過時間または残り時間を表示します（☞ 6-33 ページ）。
③ 再生の進行状況を表示します。
④ 音量のオン・オフを切り替えます。
⑤ 音量を表示します。
⑥ ビデオファイルを再生中にタップすると、全画面で表示します。 元に戻すには、画面のどこかをタップします。
⑦ Windows Media.com のホームページを表示します。 前もって、インターネットに接続するための設定を行ってください。
⑧ 再生中にタップするとファイルの先頭まで戻し再生します。 再生停止時にタップすると、1 つ前のファイルへスキップします。
⑨ ファイルを一時停止します。 一時停止時は ▶ が表示され、タップすると再生を再開します。
⑩ 次のファイルへスキップします。
⑪ システム音量で設定した音量（☞ 9-13 ページ）を 100%として、音量を調整します。 ＋：音量を上げます。 －：音量を下げます。

ランダム再生／連続再生する

順不同に再生する「ランダム再生」や、プレイビュー画面のファイルを表示順にくり返し再生する「連続再生」が行えます。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の [メニュー] ─ [ランダム再生／連続再生] ─ [ランダム再生] または [連続再生] をタップします。

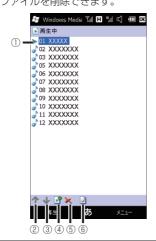
ネットワーク上のファイルを再生する

インターネットやネットワーク上のファイルを再生します。

1 ライブラリ画面で、画面右下の [メニュー] ─ [URL を開く] をタップします。

2 「URL：」欄にネットワークアドレスを入力し、画面左下の [OK] をタップします。

プレイビュー画面（再生リスト）について

再生画面左下の [プレイビュー] をタップすると、再生するファイルをリスト表示します。
再生するファイルの順番を変えたり、再生リストからファイルを削除できます。

① 再生するファイルがリスト表示されます。
　▶ が再生中のファイルです。

② 選択したファイルを再生リストの上へ移動します。

③ 選択したファイルを再生リストの下へ移動します。

④ ライブラリ画面に切り替えます。
　ファイルやフォルダを追加するときは、ライブラリ画面で追加したいファイルやフォルダなどをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから [再生待ちに追加] をタップします。ライブラリ画面に切り替える前のプレイビュー画面の一番下に追加されます。

⑤ 選択したファイルを再生リストから削除します。

⑥ 選択したファイルの情報を表示します。

MEMO

- プレイビュー画面で画面右下の [メニュー] ─ [プレイビューの消去] をタップすると、再生リストからすべてのファイルを消去します。

パソコンで作った再生リストを再生する

ライブラリ画面で「再生リスト」を選択して再生します。
“再生リスト”とは、お気に入りのファイルを集めたリストのことです。
たとえばいろいろなアルバムにあるお気に入りのオーディオファイルを再生リストに登録して、お気に入りの音楽だけを再生できます。
再生リストは、パソコンの Windows Media Player 10 で作成し、同期させてこの製品に取り込みます。

時間の表示形式を設定する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［再生］タブで、時間の表示形式を変更できます。
設定が終わったら OK をタップしてください。

① 再生画面に表示する時間の設定をします。
　経過時間：再生開始からの時間を表示します。
　残り時間：終了までの残り時間を表示します。

ビデオ再生時の画面設定をする

［ビデオ］タブで、ビデオ再生時の表示画面の設定ができます。
設定が終わったら OK をタップしてください。

① しない　　　　　：ビデオを全画面で再生しません。
　サイズ超過時のみ：サイズが超過したビデオのみ全画面で再生します。
　常に　　　　　　：すべてのビデオを全画面で再生します。

② チェックを付けると、縮小表示します。

6 映像と音楽

Windows Media Player 10 Mobile

ネットワークプロトコルとインターネット接続速度を設定する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ネットワーク］タブで、ネットワーク上のファイルを再生する（ストリーミング）ときの設定をします。
設定が終わったら OK をタップしてください。

① ストリームを受信するときのプロトコルを指定します。
すべてのプロトコルを選択することをお勧めします。

② インターネット接続速度を変更します。

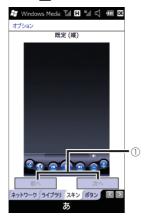
③ 再生が最適化されるように接続速度を自動的に設定させるときチェックを付けます。

起動時に表示させる画面を設定する

［ライブラリ］タブで、Windows Media Player 10 Mobile を起動したときの画面を設定します。
設定が終わったら OK をタップしてください。

① チェックを付けると、起動したときにライブラリ画面が表示されます。
再生画面を表示させるときは、チェックを外します。

再生画面の外観（スキン）を変更する

再生画面右下の メニュー － オプション － スキン タブで、再生画面の外観（スキン）を設定します。
設定が終わったら OK をタップしてください。

① ダウンロードなどにより新しいスキンをこの製品に取り込むと 前へ または 次へ をタップして外観（スキン）の変更ができます。

キーの割り当てを変更する

1 **ボタン タブで、変更したいコントロール名（再生／一時停止など）をタップします。**

2 **割り当て をタップし、新しく割り当てるダイヤルキーや カーソル キーなどを押します。**

押したキーが表示されます。

① コントロール名

② 割り当てたキーを表示します。

MEMO

- キーやボタンの割り当てを元に戻すときは、再度コントロール名をタップして リセット をタップします。
- キーやボタンの割り当てをしないときは、コントロール名をタップして なし をタップします。
- 一部のボタンやキーには割り当てできないなどの制限があります。

3 **設定が終わったら、OK をタップします。**

Windows Media Player 10 Mobileのメニュー

再生画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ライブラリ</td><td>ライブラリ画面に切り替わる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生／一時停止</td><td>再生を開始または一時停止する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">停止</td><td>再生を停止する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ランダム再生／連続再生</td><td>ランダム再生</td><td>ランダム再生する(☞6-32ページ)。</td></tr>
<tr><td>連続再生</td><td>連続再生する(☞6-32ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">全画面表示</td><td>ビデオファイルの再生中にタップすると、全画面表示になる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td>オプション設定画面を表示する(☞6-33～35ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロパティ</td><td>現在再生中のファイルの情報を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">バージョン情報</td><td>バージョン番号など、Windows Media Player 10 Mobileに関する情報を表示する。</td></tr>
</table>

プレイビュー画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ライブラリ</td><td>ライブラリ画面に切り替わる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">上へ</td><td>選択したファイルを再生リストの上へ移動する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">下へ</td><td>選択したファイルを再生リストの下へ移動する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生リストから削除</td><td>選択したファイルを再生リストから削除する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ランダム再生／連続再生</td><td>ランダム再生</td><td>再生リストのファイルをランダム再生する(☞6-32ページ)。</td></tr>
<tr><td>連続再生</td><td>再生リストのファイルを連続再生する(☞6-32ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生リストの保存</td><td>再生リストを保存する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレイビューの消去</td><td>すべての再生リスト(ファイル)を削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">エラーの詳細</td><td>再生時にエラーメッセージが表示されたときなどにタップでき、そのエラーの詳細を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロパティ</td><td>選択したファイルの情報を表示する。</td></tr>
</table>

ライブラリ画面のメニュー

再生待ちに追加	プレイビュー再生リストの最後に追加する。
ライブラリから削除	選択したファイルをライブラリから削除する。
プレイビュー	プレイビュー画面に切り替わる。
ライブラリ	ライブラリを切り替える。
ライブラリの更新	ライブラリを更新(新しいファイルを追加)する。
ファイルを開く	マイデバイスの中のフォルダを表示する。フォルダを開きファイルを探せる。
URLを開く	Windows Media.comなどのホームページから、ネットワーク上のファイルを再生する。
プロパティ	選択したファイルの情報を表示する。

7章　データ通信

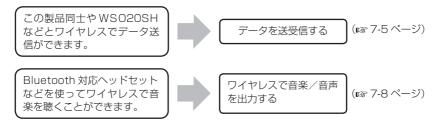
Bluetooth をご利用になる前に

Bluetooth について

Bluetooth とは、10m 以内にあるこの製品同士や Bluetooth 対応機器との間をワイヤレスでつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。
この製品の Bluetooth の仕様は、次のとおりです。

通信方式	Bluetooth 標準規格　Ver. 2.0 準拠
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class2
通信距離※1	見通しのよい状態で 10 m以内
対応 Bluetooth プロファイル※2	GAP（Generic Access Profile） GOEP（Generic Object Exchange Profile） SPP(Serial Port Profile) HSP(Head Set Profile) OPP(Object Push Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HID(Human Interface Device Profile) HFP（Hands-Free Profile） PAN（Personal Area Networking Profile）
使用周波数帯	2.4GHz 帯（2.402GHz ～ 2.480GHz）

※ 1 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※ 2 Bluetooth 対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth 標準規格で定められています。

Bluetooth でできること

MEMO

● Bluetooth 関連用語について

用語	説明
デバイスアドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12 桁の英数字）です。パスコード入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは、変更することができません。
GAP (Generic Access Profile)	機器の接続／認証／暗号化を行うためのプロファイルです。
GOEP (Generic Object Exchange Profile)	機器間でオブジェクトを転送するためのプロファイルです。
SPP (Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定してデバイス間を相互に接続するためのプロファイルです。 このプロファイルを使って接続するとき、Bluetooth 画面（COM ポートタブ）でポートを設定する必要があります。
OPP (Object Push Profile)	パソコンなどとアドレス帳データ、スケジュールデータなどを送受信するためのプロファイルです。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	ヘッドホンなどへ音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	音声／ビデオをリモート制御するプロファイルです。
HSP(HeadSet Profile)	ヘッドセットを接続するためのプロファイルです。
HID (Human Interface Device Profile)	キーボードを接続するためのプロファイルです。
HFP (Hands-Free Profile)	ハンズフリー機器を使って発信や着信をするためのプロファイルです。
PAN (Personal Area Networking Profile)	2 台以上の Bluetooth 対応機器が簡易のネットワークを構築するとき、アクセスポイントを経由してネットワークに接続するためのプロファイルです。
OBEX (OBject EXchange)	画像データやアドレス帳データのファイル交換を行うためのプロトコルです。
認証パスワード	接続する機器から OBEX 認証の要求があった場合に入力するパスワードです。この製品では、最大 16 桁までの英数字を入力できます。
パスコード	Bluetooth 接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth 機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれ同一の英数字（パスコード）を入力する必要がある場合があります。この製品では、最大 16 桁までの英数字を入力できます。

※プロファイルとは、Bluetooth 対応機器同士が通信するための標準プロトコルです。さまざまな使用ケースに応じて定義されています。

■ Bluetooth ご使用時のご注意

- Bluetooth を利用してワイヤレスで接続するには、相手機器も Bluetooth 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- この製品同士で通信を行うときの通信距離は、最大 10m です。
- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ・他の Bluetooth 機器とは、見通し距離約 10m 以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。この製品と他の Bluetooth 機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ・他の機器（電気製品／ AV 機器／ OA 機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から 2m 以上離れて接続してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず 3m 以上離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHF や衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ・放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手の Bluetooth 機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎるときは、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth 対応機器の使用する電波帯（2.4GHz 帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- この製品の Bluetooth 機能では、同時に 2 台以上の機器を接続することはできません。

ご注意

- **この製品は、すべての Bluetooth 機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。**
  - ・接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - ・接続する Bluetooth 機器が Bluetooth 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
  - ・音声出力時など、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
  - ・ヘッドセット機器などの使い方については、各機器の取扱説明書を参照してください。
  - ・ワイヤレス通信時のセキュリティとして、Bluetooth の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth によるデータ通信を行う際はご注意ください。
    Bluetooth によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
    USB ケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth 機能を使用できないことがあります。

- **Bluetooth 通信中※の動作について**
  - ・充電池の残量がなくなった場合は、Bluetooth 通信が中断され、電源が切れます。

※ Bluetooth 通信中とは、「パートナーシップの確立中」、「データ送受信中」、「接続相手リストからの探索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

データを送受信する

この製品同士や WS020SH などと、ワイヤレスでデータの送受信ができます。

この製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にする

Bluetooth を利用するときは、Bluetooth 機能を有効（オン）にする必要があります。
接続する相手機器の Bluetooth 機能も有効（オン）にしてください。

1 スタート画面の “設定” をタップします。

2 “Bluetooth” をタップします。
Bluetooth 画面が表示されます。

3 モード タブをタップし、Bluetooth のオンにチェックを付けます。

① 相手機器からこの製品を検出できるようにチェックを付けます。

MEMO
- ワイヤレスマネージャー画面(☞ 2-12 ページ）で、Bluetooth をオンにすることもできます。

4 OK をタップします。

●**これまで接続したことのない機器と接続する場合**
「パートナーシップを確立する」（☞下記）に進みます。

●**以前に接続したことのある機器と接続する場合**
「データを送受信する」（☞ 7-7 ページ）に進みます。

パートナーシップを確立する

- Bluetooth を使って相手機器と接続するときは、安全に情報を交換できるようにパートナーシップを確立します。パートナーシップを確立するには、この製品と相手機器に同じパスコード（最大 16 桁までの英数字）を入力する必要があります。
一度パートナーシップを確立すると、次回からこの操作を行う必要はありません。
- ここでは、この製品を送信側、相手機器を受信側として説明します。受信側の操作についてくわしくは、ご使用の機器の説明書をご覧ください。
- この製品と相手機器が 10m 以内にあることを確認してください。

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “Bluetooth” をタップします。

MEMO
- **受信側の操作**
相手機器の Bluetooth 機能が有効（オン）になっていることを確認してください。

2 Bluetooth 画面（デバイス タブ）の「新しいデバイスの追加」をタップします。

接続可能な機器が検索され、Bluetooth デバイスの選択画面に表示されます。
この製品同士の場合、「バージョン情報」（☞ 9-16 ページ）にあるデバイス名が表示されます。

3 接続する相手機器を一覧から選び、次へ をタップします。

パスコードの入力画面が表示されます。

4 パスコード（最大 16 桁までの英数字）を入力し、次へ をタップします。

MEMO

- **受信側の操作**
  ① パートナーシップ確立の確認メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。
  ② パスコードの入力画面が表示されますので、この製品に入力したのと同じパスコードを入力し、[次へ] などを選択してください。
- 受信側のパスコードは、送信側でパスコードを入力してから約 30 秒以内に入力してください。

5 パートナーシップが確立されると、Bluetooth 画面に相手機器の名前が表示されます。

6 相手機器の名前をタップします。

① 相手機器の名前を表示。タップすると表示名を変更することができます。

7 使用するサービスにチェックを付け、保存 をタップします。

相手機器によっては、サービスが表示されない場合もあります。

MEMO

- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器と接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。

■ パートナーシップを削除する

使わなくなったパートナーシップは、以下の操作で削除できます。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“Bluetooth”をタップします。

2 Bluetooth 画面（デバイス タブ）で削除したいパートナーシップをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。

3 確認画面で はい をタップします。

■ Bluetooth 対応機器からのパートナーシップ要求に応答する

Bluetooth 対応機器からこの製品へのパートナーシップ要求に応答することで、パートナーシップを確立することもできます。

1 この製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にします。

くわしくは 7-5 ページをご覧ください。

2 パートナーシップの確認メッセージが表示されたら、はい をタップします。

パスコードの入力画面が表示されます。

3 相手機器に入力したのと同じパスコードを入力し、次へ をタップします。

4 パートナーシップの設定画面が表示されたときは、使用するサービスにチェックを付け、保存 をタップします。

データを送受信する

“連絡先”、“予定表”、“仕事”、“メモ” のデータを、この製品などと送受信できます。
ここでは例として、この製品同士で “連絡先” のデータを送受信する方法を説明します。

1 送信側：スタート画面の “連絡先” をタップします。

2 送信側：送信するデータをタップしたままにして、表示されたメニューから 連絡先の送信 ― 外部機器とのデータ送受信 をタップします。

「データ送信するには、デバイスを選択します。」と画面に表示されます。

3 送信側：送信する相手機器の「タップして送信」をタップします。

7 データ通信

Bluetooth

4 **受信側：確認メッセージ（××を受信しますか？）が表示されますので、［はい］をタップします。**

受信したデータが連絡先一覧に保存（表示）されます。

5 **送信側：送信が終わると、「タップして送信」が「完了」に変わります。**

6 **送信側：［OK］をタップします。**

“連絡先”の一覧画面に戻ります。

ワイヤレスで音楽／音声を出力する

Bluetooth 対応ヘッドホンなどを使ってワイヤレスで音楽を聴くことができます。

ヘッドホンの設定や操作方法については、ご使用のヘッドホンの説明書をご覧ください。

MEMO

- ヘッドホンを使って録音することはできません。

この製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にする

くわしくは、「この製品の Bluetooth 機能を有効（オン）にする」（☞ 7-5 ページ）をご覧ください。

パートナーシップを確立する

1 **「パートナーシップを確立する」（☞7-5 ページ）の手順 1、2 の操作をします。**

2 **Bluetooth デバイスの選択画面でヘッドホンの名前をタップし、［次へ］をタップします。**

パスコードの入力画面が表示されます。

3 **ヘッドホンのパスコードを入力し、［次へ］をタップします。**

パスコードについては、ご使用のヘッドホンの説明書をご覧ください。

4 **パートナーシップが確立すると、パートナーシップの設定画面にヘッドホンの名前が表示されます。**

5 **ヘッドホンの名前をタップします。**

6 使用するサービスの一覧で「ワイヤレスステレオ」にチェックを付け、保存をタップします。

MEMO

- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器と接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。

  ※再度接続するときは、ヘッドホンの電源がオンになっていることを確認し、ヘッドホンの設定や操作方法は、ヘッドホンの説明書などをご覧ください。

ワイヤレスで電話を受ける

Bluetooth 対応ヘッドセットを使って、ワイヤレスで電話を受けることができます。

■ ヘッドセットを使えるように設定する

1 この製品の Bluetooth 機能を有効にしたあと、デバイスタブを表示します。

2 ヘッドセット側を認識可能な状態にします。

3 7-6 ページの手順 **2** ～ **4** をご覧になり、パートナーシップを確立します。

4 ヘッドセットの機種名をタップし、「ハンズフリー」にチェックを付けて保存をタップします。

MEMO

- ヘッドセットを使って、電話をかけることはできません。

■ 電話がかかってきたら

1 ヘッドセットのボタンを押します。

ヘッドセットで受けとれない場合は、キーを押して本体で電話を受けたあと、ヘッドセットのボタンを押します。以降、ヘッドセットで通話ができます。

2 通話が終わったら、ヘッドセットのボタンを押します。

終話できない場合は、本体のキーを押します。

MEMO

- 通話するためのヘッドセットのボタン名称は、ご使用のヘッドセットの説明書をご覧ください。
- ヘッドセットで通話中、本体のメニュー－ハンズフリーをオフをタップすると本体で通話ができるようになります。本体で通話中に、ヘッドセットのボタンを押すと、ヘッドセットで通話ができるようになります。
- ヘッドセットを使って電話をするときは、充電池の消耗をおさえるため、キーロックをして画面をオフにすることをおすすめします。

赤外線通信をする

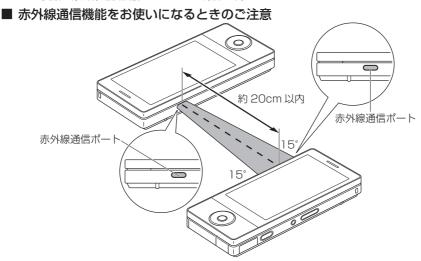
この製品と別のWS027SHや赤外線通信機能を搭載したWindows Mobile端末などとデータの送信や受信ができます。

	プログラム	起動時のメニューの名称（送信方法）	送信相手
① (次ページ)	予定表、連絡先、仕事、メモ、画像とビデオ、ファイル (※ 1)	ビーム	Windows Mobile搭載機（WS027SHを含む）
	電話帳	赤外線通信	
②（7-12ページ）	電話帳、連絡先	赤外線通信	携帯電話
③（7-13ページ）	データ交換（※ 2）	赤外線送信、赤外線受信	WS027SH

※ 1：Word Mobileファイル、Excel Mobileファイル、動画ファイル、静止画ファイルなど
※ 2：この製品に保存している自分の名前や住所などの個人情報を他のWS027SHに送信します。

MEMO

- この製品の赤外線通信機能は、IrDA® の規格に準拠しています。

■ 赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

・受信側と送信側の機器の赤外線通信ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
・お互いの赤外線通信ポートが平行になるように向き合わせてください。斜めになっていると、通信距離が短くなる場合があります。
・データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線通信ポートを向かい合わせたままにして、動かさないでください。
・直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
・赤外線通信ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で軽く拭きとってください。
・赤外線通信中は消費電力が大きくなります。充電池の残量が十分にあることを確認するか、ACアダプターを接続してから赤外線通信を行ってください。
・赤外線通信中に充電池残量がなくなった場合、警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。
・すべての赤外線通信機器とのデータ通信を保証するものではありません。また、赤外線通信機器によっては、送受信できないデータがあります。

データを受信するための準備（受信側の設定）

赤外線通信を使ってこの製品でデータを受信するとき、受信側の設定が必要になります。以下の方法で受信できる状態にしてください。

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “接続” をタップして、 “ビーム” をタップします。

2 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付け、OK をタップします。

赤外線機能で受信できる状態になります。

データを受信するとき、受信側は待ち受け画面（Today 画面）にしておくことをおすすめします。

MEMO

- 赤外線通信を行っていないときも、「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付けたままにしておくと、充電池の消耗が早くなります。赤外線通信を行わないときは、チェックを外すことをおすすめします。

予定表などのデータやファイルを送受信する（①の方法）

ここでは例として、この製品と他の WS027SH の間でファイルを送受信する方法を説明します。予定表／連絡先／電話帳／仕事／メモ／画像とビデオのデータも同じようにして送受信できます。

1 受信側：データ受信ができる状態にします（☞ 左記）。

2 送信側：スタート画面の “エクスプローラー” をタップします。

3 送信側：エクスプローラー画面で、送信するファイルを選びます。

4 送信側：画面右下の メニュー － ファイルをビームする をタップします。

「データ送信するには、デバイスを選択します。」と画面に表示されます。

5 送信側と受信側の赤外線通信ポートを向き合うようにします。

6 受信側：確認画面が表示されますので、はい をタップします。

7 受信側：「保存しますか？」と表示されたら、画面左下の はい をタップします。

8 送信側：送信が終わったら、OK をタップします。

元の画面に戻ります。

MEMO

- 送信側が WS020SH などの場合
上記手順 **5** の次に送信側操作として、赤外線の「タップして送信」をタップします。

携帯電話と“連絡先”のデータを送受信する（②の方法）

“連絡先”のデータと携帯電話の電話帳などに登録している住所や電話番号などのデータを送受信することができます。お使いの携帯電話の説明書もあわせてご覧ください。
電話帳からも同様の操作で送受信できます。
※すべての携帯電話とのデータ通信を保証するものではありません。

MEMO

- 携帯電話と送受信できるデータは“連絡先”、“電話帳”です。“予定表”、“仕事”、“メモ”などのデータは送受信できません。
  連絡先のデータを受信すると電話帳からもそのデータを表示できます。

携帯電話に“連絡先”のデータを送信する

“連絡先”のデータが携帯電話や PHS 端末の電話帳などに登録されます。
データは 1 件ずつ送信する方法と、全件まとめて送信する方法があります。

■ データを 1 件ずつ送信する

1 送信側：スタート画面の “連絡先”をタップして、送信する“連絡先”のデータを一覧画面で選びます。

2 送信側：画面右下の［メニュー］－［赤外線通信］－［1 件送信］をタップします。

3 受信側：赤外線通信でデータを受信できる状態にします。

4 送信側と受信側の赤外線通信ポートを向き合うようにします。

5 送信側：確認画面で［はい］をタップします。

6 送信側：送信が終わると、「完了」が表示され元の画面に戻ります。

■ データを全件送信する

受信側は、赤外線通信でデータを受信できる状態にしておきます。

1 送信側：スタート画面の “連絡先”をタップします。

2 送信側：画面右下の［メニュー］－［赤外線通信］－［全件送信］をタップします。

3 送信側と受信側の赤外線通信ポートを向き合うようにします。

4 送信側：確認画面で［はい］をタップします。

5 送信側：認証コード（4 桁の数字）を入力して［OK］をタップします。

6 受信側：送信側と同じ認証コードを入力します。
機種によっては、認証コードの前に暗証番号の入力が必要です。
受信側で入力した認証コードと一致すると、送信が開始されます。

携帯電話のデータを受信する

携帯電話の電話帳などに登録されている住所や電話番号などのデータを受信します。
受信したデータはこの製品の“連絡先”に登録されます。登録されたデータは電話帳からも表示できます。
受信側は、連絡先の画面を表示しておきます。

1 送信側：携帯電話でデータを送信します。

2 送信側と受信側の赤外線通信ポートを向き合うようにします。
データが自動的に送信されます。

3 受信側：「受信しますか？」と表示されたら、［はい］をタップします。

データ交換（③の方法）

この製品に保存している自分の名前／住所／電話番号などの情報を他のWS027SHに送信したり、相手の名前／住所／電話番号などの情報を受信します。

■ 準備

はじめてデータ交換を行うときは、自分の名前／住所／電話番号などの情報を入力する必要があります。

1 スタート画面の “データ交換” をタップします。

2 表示された画面で、赤外線送信 をタップします。

3 個人情報を入力する画面が表示されますので、名前、住所、電話番号などを入力します。

MEMO
- 画面右下の 情報取得 をタップし、確認画面で はい をタップすると、オーナー情報（☞9-8ページ）が入力されます。

4 情報を入力した後、OK をタップします。

入力した個人情報が表示されます。

MEMO
- 個人情報を修正するときは、画面右下の プロフィールを編集 をタップします。修正・変更後、OK をタップします。

5 ここでは送信しないので、OK をタップします。

データを交換する

1 送信側：送信する自分の情報を保存していることを確認します。保存していないときは、「準備」（☞ 左記）をご覧になり保存してください。

2 受信側：スタート画面の “データ交換” をタップし、表示された画面で、赤外線受信 をタップします。

3 送信側：スタート画面の “データ交換” をタップし、表示された画面で、赤外線送信 をタップします。

相手を見つけて、情報を送信します。

4 受信側：確認画面が表示されますので、はい をタップします。さらに「保存しますか？」と表示された場合は、画面左下の はい をタップします。

データが受信されます。

5 送信と受信が終わると、送信側と受信側の両方とも表示された画面で OK をタップします。

送信側の情報が受信側の連絡先に保存されます。

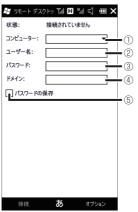
遠隔的にパソコンの操作を行う（リモートデスクトップモバイル）

リモートデスクトップモバイルは、USB ケーブル（ActiveSync、Windows Mobile デバイスセンター）やワイヤレス LAN を経由してこの製品上でパソコンの画面を表示するものです。

遠隔的にパソコンの操作を行う

1 **スタート画面の “リモートデスクトップモバイル” をタップします。**

リモートデスクトップモバイルの状態表示画面が表示されます。

2 **接続に必要な情報を入力します。**

① IP アドレスまたは接続するパソコンの名前を入力します。

② パソコンに設定しているユーザー名を入力します。

③ パソコンに設定しているパスワードを入力します。

④ 接続するパソコンのドメインを入力します。

⑤ 入力したパスワードを保存するときは、チェックを付けます。

3 **画面左下の 接続 をタップします。**

MEMO

- 画面右下の オプション をタップすると、表示や音声の設定ができます。

8章　その他の機能

バックアップする（Sprite Backup）

バックアップは、この製品に保存しているデータ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）を1つのファイル（バックアップファイル）としてmicroSDカードまたは本体にバックアップします。
microSDカードを取り付けているときは自動的にmicroSDカードにバックアップし、microSDカードを取り付けていないときは本体メモリにバックアップします。
また、microSDカードまたは本体にバックアップしたファイルを本体に復元します。

バックアップには「通常モード」と「カスタムモード」の2つのモードがあり、目的によって使い分けができます。
・「通常モード」は、この製品に保存している全データ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）をバックアップします。
・「カスタムモード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。

●バックアップできないデータ

以下のデータはバックアップできません。
・PINコード
・パスワード

●Sprite Backupの動作やバックアップファイルの保存に必要な空き容量

Sprite Backup動作用
本体メモリに約10MBの空きが必要です。

microSDカードにバックアップファイルを保存するとき
「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」+「約5MB」の空き容量が必要です（データ記憶用の使用領域は、スタート－“設定”－“システム”－“メモリ”をタップして表示されるメモリ画面（メインタブ）で確認できます）。

本体メモリにバックアップファイルを保存するとき
Sprite Backup動作用のメモリ（約10MB）+「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」+「約5MB」の空き容量が必要です。

※設定によってはデータを圧縮してバックアップファイルを作れますが、保存しているデータによって圧縮率が変わるため上記の空き容量を確保することをおすすめします。

●復元について

復元は、本体メモリにバックアップファイル内のファイルを上書きします。
本体メモリに同じファイル名のファイルがある場合は、バックアップファイル内のファイルに置き換わります。
※バックアップした後に画像ファイルやWord Mobileなどのファイルを本体に保存するとバックアップファイル内にないファイルが存在し、復元を行ってもそのファイルは本体メモリに残ります。

ご注意

● バックアップや復元を行う前に

・すべてのプログラム（ホームページ閲覧、連絡先などのデータ入力など）を終了してください。
・ACアダプターを接続してください。
・この製品にカードリーダなどのUSB機器を接続しているときは、すべてのUSB機器を取り外してください。
・アラームなど自動的に起動する設定は解除してください。

● 本体の動作が不安定な状態でバックアップを行わないでください

・不安定な状態でバックアップすると壊れたファイルをバックアップすることがあります。
このバックアップファイルを復元すると不安定な状態を復元することになります。

● 次のデータは復元できないことがあります

・著作権情報付き音楽データ
・プロテクトがかかっているデータやプログラム

● バックアップ中や復元中には、次のことを行わないでください

・プログラムの起動や通信、電話をかけたり／受けたりしないでください（すべての無線機能をオフにすることをおすすめします）。
・復元中に復元を中止（キャンセル）しないでください。中止したときは、システムが不安定な状態になりますので、いったん、完全消去（フォーマット）した後、再度、復元してください。

「通常モード」でバックアップする

この製品に保存している全データをバックアップします。

1 本体に microSD カードを取り付けます（☞ 1-46 ページ）。

（☞ 1-46 ページ）

MEMO

- PIN コードを設定している場合は、PIN ロックの設定を解除してください(☞ 3-24 ページ)。

2 スタート画面の “Sprite Backup” をタップします。

Sprite Backup が起動します。

3 (カーソル)キーの左右で “バックアップ” を選択し、(アクション)キーを押します。

(アクション)キーの代わりに、画面左下の [次] をタップしても同じはたらきをします。

4 表示された確認画面の内容をご覧になり、画面左下の [次] をタップします。

5 リセットが行われ、バックアップが始まります。

6 バックアップ終了後、自動的にリセットが行われます。

7 本体起動後、「バックアップが完了しました。」の画面が表示されます。

MEMO

- 「バックアップが完了しました。」の画面が表示されないときは、タイトルバーの をタップすると表示されます。

8 [OK] をタップすると、一連の動作が終了します。

[レポート表示] をタップするとバックアップの作業内容が表示されます。

本体のデータは、1 つのバックアップファイルとして microSD カードに保存されます。microSD カードを取り付けていないときは、本体メモリに保存されます。

1 つ目のバックアップファイル名は、バックアップ _YYYY-MM-DD となります。

たとえば、2009 年 10 月 17 日にバックアップを行うと、「バックアップ _2009-10-17」となります。同じ日にバックアップを行うと、「バックアップ _2009-10-17_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「バックアップ _2009-10-17_2」となり最後の数字が増えていきます。

「カスタムモード」でバックアップする

指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。

1 **本体にmicroSDカードを取り付けます。**

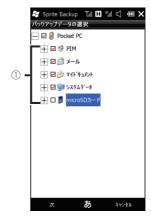
2 **スタート画面の“Sprite Backup”をタップします。**

Sprite Backupが起動します。

3 **(カーソル)キーの左右で“カスタムバックアップ”を選択し、(アクション)キーを押します。**

(アクション)キーの代わりに、画面左下の[次]をタップしても同じはたらきをします。

4 **バックアップするフォルダやファイルにチェックを付け、画面左下の[次]をタップします。**

[＋]をタップするとその下の階層にあるフォルダが表示されます。

① チェックを付けた項目をバックアップします。

5 **「名前」欄に、ファイル名を入力します。**
また、必要に応じて場所（My Documents（本体）またはmicroSDカードの選択）、フォルダの選択、バックアップファイルの説明を入力し、画面左下の[次]をタップします。

6 **以下、8-3ページの手順4以降と同様にしてバックアップを行います。**

バックアップを復元する

1 **バックアップファイルを保存しているmicroSDカードを本体に取り付けます。**
本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順**2**からはじめます。

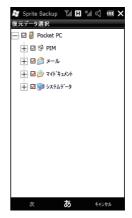
2 **スタート画面の“Sprite Backup”をタップします。**
Sprite Backupが起動します。

3 **(カーソル)キーの左右で“復元”を選択し、(アクション)キーを押します。**

(アクション)キーの代わりに、画面左下の[次]をタップしても同じはたらきをします。

4 **バックアップファイルを選択し、画面左下の[次]をタップします。**

MEMO
- 復元には、microSDカードと本体に保存しているバックアップファイルの両方が表示されます。

5 **復元するフォルダやファイルにチェックが付いていることを確認し、画面左下の[次]をタップします。**
[+]をタップするとその下の階層にあるフォルダが表示されます。

6 **表示された画面の内容をご覧になり、画面左下の[次]をタップします。**

7 **リセットが行われ、復元が始まります。**

8 **復元終了後、自動的にリセットが行われます。**

9 本体起動後、復元が完了した旨の画面が表示されます。

MEMO

- 「復元が完了しました。」の画面が表示されないときは、タイトルバーの をタップすると表示されます。

10 OK をタップすると一連の動作が終了します。

MEMO

- **復元前と復元後のデータについて**
  - ・連絡先や予定表、設定（一部除く）などのデータは、バックアップファイルの内容に置き換わります。
  - ・画像ファイルやWord Mobile、Excel Mobileなどのファイルは、復元するファイルと同じファイル名があるときは上書きし、同じファイル名がないときは、そのまま残ります。8-2ページの「復元について」もご覧ください。

Sprite Backupは各種設定ができます。
くわしくはヘルプをご覧になり、設定／操作を行ってください。

ファイルを管理する（エクスプローラー）

エクスプローラーを使うと新規にフォルダを作成したり、ファイルのコピーやフォルダを移動させるなど、ファイルの管理ができます。
ここでは、エクスプローラーの基本的な使いかたについて説明します。フォルダやファイルをコピー・移動する方法については 1-49 ページをご覧ください。

エクスプローラーの使いかた

1 **スタート画面の “エクスプローラー” をタップします。**
エクスプローラーの画面が表示され、「My Documents」などのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

① タップすると現在表示中のフォルダ階層より、上のフォルダ階層へ移動できます。

② タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

③ フォルダをタップすると、フォルダ内のファイル一覧が表示されます。ファイルをタップすると、そのプログラムが起動してファイルを開きます。

④ 現在表示中のフォルダ階層より、1 つ上のフォルダ階層へ移動します。

ご注意

- **Windows のシステムファイルは削除しないでください**

エクスプローラーを使うと Windows のシステムファイルなどが見られますが、誤って削除したりすると正常に動作しなくなる恐れがあります。

MEMO

- ファイルをタップしてもそのファイルが開かないときは、プログラムを起動して、そのプログラムからファイルを開いてみてください。

ファイルをメールに添付して送る

1 **送信したいファイルをタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **送信 をタップします。**
「アカウントの選択」画面が表示されます。

MEMO

- 送信したいファイルを選択し、画面右下の メニュー − 送信 をタップしても同じ操作が行えます。

3 **添付して送るアカウントをタップして選択します。**
ファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

MEMO

- アカウントが 1 つの場合は、アカウントの選択は行わず、すぐに送信メッセージ作成画面が表示されます。

4 **宛先、件名、本文などを入力し、メールを送信します。**

新規フォルダを作成する

ここでは「My Documents」フォルダの下に新しくフォルダを作ります。
別の階層にフォルダを作成するときは、「My Documents ▼」をタップし、フォルダを選んでください。

1 エクスプローラー画面で「My Documents」フォルダを開きます。

2 画面右下の メニュー ー 新しいフォルダー をタップします。
新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

① 新しくフォルダが作成されます。

MEMO

- ファイルやフォルダのない空白部分をタップしたままにし、ポップアップメニューから 新しいフォルダー をタップしても新しいフォルダが作成されます。

3 フォルダ名を入力します。

フォルダやファイルの名前を変更する

1 名前を変更するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 名前の変更 をタップします。

MEMO

- 名前を変更するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー ー 名前の変更 をタップしても名前の変更ができます。

3 名前を変更します。

MEMO

- 名前の変更をやめるときは、画面右下の メニュー ー 編集 ー 元に戻す 名前の変更 をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルを削除する

1 削除するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 削除 をタップします。
削除の確認画面が表示されます。

MEMO

- 削除するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー ー 削除 をタップしても削除の確認画面が表示されます。

3 はい をタップします。

ご注意

- **削除の取り消しはできません。**
  よく確認してから削除してください。

- **フォルダの削除には注意してください。**
  フォルダの削除を実行すると、フォルダ内のファイルやフォルダはすべて削除されます。

- **ファイルを開いていると削除できません。**
  エラーが表示され削除できないときは、そのファイルがプログラムから開かれていることが考えられます。
  関連するプログラムを終了（☞ 1-31 ページ）した後、削除してください。

フォルダやファイルを移動・コピーする

1-49 ページをご覧ください。

エクスプローラーのメニュー

移動	My Documents	「My Documents」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
	マイデバイス	「マイデバイス」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
	フォルダー	フォルダの階層を選択する。
	パスを開く	ネットワークに接続しているときパスを指定してネットワーク上の共有フォルダを開く。※指定したパスの履歴が残ります。履歴の編集はできません。
最新の情報に更新		最新の状態に更新する。
すべてのファイルを表示		すべてのファイルを表示する。
並べ替え		ファイルやフォルダの並べ替え順の項目を選択する。
送信		選択しているファイルを添付したメールを作成する(☞8-7ページ)。
ファイルをビームする		選択したファイルを赤外線通信またはBluetoothで別のWS027SHなどに送信する。
新しいフォルダー		新しいフォルダを作成する(☞前ページ)。
名前の変更		フォルダやファイルの名前を変更する(☞前ページ)。
削除		フォルダやファイルを削除する(☞前ページ)。
編集	元に戻す	フォルダやファイルのコピー、名前の変更、移動の操作を元に戻す。
	切り取り	フォルダやファイルを切り取る(☞1-49ページ)。
	コピー	フォルダやファイルをコピーする(☞1-49ページ)。
	貼り付け	コピーおよび切り取ったフォルダやファイルを貼り付ける(☞1-49ページ)。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付ける。
	すべて選択	すべてのフォルダやファイルを選択する。

Java™ アプリ

この製品には、Java アプリケーションを実行するための Java 実行環境「JBlend™」が搭載されています。
ゲームなどの Java アプリケーションを、インターネットからダウンロードしたり、パソコンや microSD カードからコピーして、この製品で利用できます。ダウンロード後、インストールしてください。インストールの方法はダウンロード先などで確認してください。

Java アプリケーションを起動する

1 **スタート画面の “JBlend” をタップします。**
Java アプリケーションの一覧画面が表示されます。

2 **起動したい Java アプリケーションにすばやく 2 回タップします。**
Java アプリケーションが起動します。使用方法は、Java アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

MEMO

- この実行環境は、「J2ME CLDC-1.1 MIDP-2.0」に準拠しています。
- 画面右下の メニュー － アプリケーション － 削除 などでアプリケーションを削除するとアプリケーションを起動することはできませんが、元のファイル（インターネットなどからダウンロードしたファイル）はメモリに残っています。
- 本体メモリなどの容量を空けるときや不要になったときは、ダウンロードしたファイルもエクスプローラーを起動して削除します（ファイルによっては有料のものもありますので、削除にはご注意ください）。ダウンロードしたファイルを削除し再度インストールする場合は、ファイルを再度ダウンロードしてください。

Java™ アプリのメニュー

アプリケーション	削除	選択しているJavaアプリケーションを削除する。
	すべて削除	表示されているJavaアプリケーションを全て削除する。
	パーミッション	ネットワークに接続する前に確認画面を出す／出さないなどを設定する。
	情報	選択しているJavaアプリケーションのファイル情報などを表示する。
Java設定		Javaアプリケーションの使用中､常にバックライトを点灯するか設定する。
Java情報		バージョン情報を表示する。
終了		Java™アプリ（Java実行環境）を終了する。

Windows Live ／ Messenger

Windows Live を使うとチャット（Messenger）やメール（Hotmail）やスペースを使うことができます。
また、Windows Live や Messenger はネットワークに接続しますので、オンラインサインアップをするなどしてネットワークに接続できるようにしておいてください。

MEMO

- Windows Live Messengerでは、メンバーを登録してその相手とチャットができます。
- Windows Live Hotmail を使うと、この製品のメール（Outlook）に Windows Live というアカウントができ、メール（Outlook）と同様にしてメールの送信や受信ができます。また、パソコンなどの Web ブラウザを使って表示する Hotmail（マイクロソフト社のサーバー）とメール（Outlook）の Windows Live アカウントと同期を取ります。
- Windows Live ID をお持ちでない場合
  スタート画面の「Windows Live ID サインアップ」で、あらかじめ ID を取得できます。また、サインインの操作（☞下記）の中で ID を取得することもできます。

サインインをする

1 **スタート画面の “Windows Live” をタップします。**

2 **「ここをクリックしてサインインします」をタップします。**
自動的にインターネットに接続します。

3 **この製品からはじめてサインインするときは使用条件の画面が表示されますので、承諾 をタップします。**

4 **表示された画面で、電子メールアドレスとパスワードを入力し、次へ をタップします。**
Windows Live ID をお持ちでない場合は、「Windows Live ID の作成」をタップして、ID を取得してください。

5 **表示された画面で、待ち受け画面（Today 画面）に「Windows Live サービス」を表示する／しないを選択し、次へ をタップします。**
チェックを付けると表示します。

6 **表示された画面で、オプションを選択し、次へ をタップします。**

7 Windows Live 画面が表示されます。

① ◆◆をタップすると、Hotmail、同期、Messenger が切り替わります。

・ Hotmail
メール（Outlook）に「Hotmail」という名称のアカウントが自動的に作成され、サインインしたメールアドレス（XXXXXX@hotmail.co.jp など）を使ってメールの送信／受信を行います。
メールの送信や受信については、メール（Outlook）の章をご覧ください。なお、「Hotmail」という名称のアカウントとご自分で作成したアカウントとでは、機能やメニューなどが異なります。

・ 同期
マイクロソフト社のサーバーと同期を取ります。パソコンなどで Web ブラウザから Hotmail を使われている場合は、メール（Outlook）の「Windows Live」というアカウントと同期を取ります。

・ Messenger
Messenger にサインインしていないときは、「ここをクリックしてサインインします」をタップして、表示された画面で画面左下の［サインイン］をタップします。
Messenger を終了するときは、画面右下の［メニュー］－［サインアウト］をタップしてサインアウトしてください。
Windows Live を終了した後、タイトルバーの［H］をタップして［切断］をタップし回線を切断します。Messenger のサインアウトをしていないと、回線を切断しても自動的に再度接続します。

MEMO

- スタート画面の“Messenger”をタップして、表示された画面で画面左下の［サインイン］をタップしてもサインインできます。

9章　設定

使用環境を設定する

待ち受け画面（Today 画面）や時計、アラームなどの設定を変えて、この製品を使いやすいように設定できます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

待ち受け画面（Today 画面）を設定する

壁紙などを設定して、自分だけの待ち受け画面（Today 画面）を作成できます。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“Today”をタップします。

2 待ち受け画面（Today 画面）に関する設定を行います。

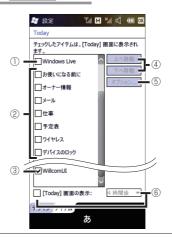
◇ デザイン タブ◇

① 待ち受け画面（Today 画面）の背景にするテーマを選択します。

② 写真など、テーマ以外を背景にするときは、チェックを付けてから 参照 をタップして画像ファイルを選択します。

MEMO

- アイテム タブの「WillcomUI」にチェックが付いている場合、待ち受け画面（Today 画面）には、選択したテーマの背景は反映されません。

◇ アイテム タブ◇

① Windows Mobile 標準の待ち受け画面（Today 画面）にするときにチェックを付けます（☞次ページ）。

② ①③にチェックを付けないときの待ち受け画面（Today 画面）で、表示するアイテムにチェックを付けます（☞次ページ）。

③ ご購入時に表示される通常の待ち受け画面（Today 画面）です。

④ 表示するアイテムの順番を変更します。「日付」の順番は変更できません。

⑤「仕事」、「予定表」にチェックを付けた場合、タップすると表示する内容の詳細を設定できます（☞ 9-4 ページ）。

⑥ この製品ではこの機能に対応しておりません。

MEMO

- ③にチェックが付いているときでも②のチェックは付けられますが、③の待ち受け画面（Today 画面）には反映されません。

3 設定が終われば、OK をタップします。

待ち受け画面（Today画面）について

「Willcom UI」「Windows Mobile 標準」「それ以外」のチェックにより、次のような画面になります。

- 前ページ①のみにチェックを付けた場合

① カーソルキーの上下でメニューを選択し、アクションキーを押すと、そのプログラムが起動します。

メニューを選択したときに、左右に三角（◁▷）マークがある場合、カーソルキーの左右でさらにデータなどを選択することができます。

また、スタイラスで画面をなぞってスクロールしたり、タップしてプログラムを起動することができます。

- 前ページ②のみにチェックを付けた場合の例
表示される位置や文字は、実際の画面と異なる場合があります。

画像を「Today」画面の背景に設定する

この製品に保存している画像を「Today」画面の背景として設定できます。
この設定は、アイテムタブにある「Willcom UI」のチェックが外れているときに有効です。

MEMO
- ご購入時の待ち受け画面（Today画面）の背景を変えるときは、1-16ページをご覧ください。

1 **画像とビデオ画面で、「Today」画面の背景として設定したい画像をタップしたままにして表示されたメニューから**
[Today] の背景に設定する をタップします。
「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

MEMO
- 「Today」画面の背景として設定したい画像を選択し、画面右下のメニュー－[Today] の背景に設定するをタップしても「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

2 **背景にするときの透過レベルを設定します。**
透過レベルのパーセントを低くするほど、くっきりした画像になります。

3 **設定が終われば、OKをタップします。**

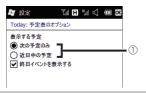
MEMO
- 「Today」画面の背景の設定をやめるときは、デザインタブ（☞前ページ）の「この画像を背景に使用する」のチェックをはずします。

Today 画面に表示する「仕事」、「予定表」の内容を設定する

アイテム タブ画面で「仕事」または「予定表」をタップしてから、オプション をタップして設定します。

◇仕事◇

① 仕事を分類しているとき、分類項目を選択します。

◇予定表◇

①「次の予定」だけ表示するのか、「近日中の予定」まで表示するのか、どちらかを選択します。

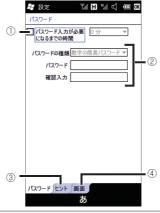
他人が使えないようにロックする

電源を入れたときにパスワードの入力画面を表示して、この製品を他人が使えないようにロックします。

1 スタート画面の "設定" をタップします。

2 "ロック" をタップします。

パスワード設定画面が表示されます。

3 パスワードなどを設定します。

① チェックを付けると、設定した時間が経過すると、パスワードの入力画面が表示されます。

② パスワードの種類を設定します。

- 数字の簡易パスワードの場合、4 桁以上の数字を入力します。
- 強力な英数字のパスワードの場合、英字（大文字および小文字）、数字、区切り記号（/、: など）の 3 種類を含んだ 7 文字以上を入力します。

③ パスワードを忘れたときにヒントになる言葉を入力します。パスワードを 5 回間違えると入力したヒントが表示されます。

④ ロック解除画面のスタイルを変更できます。

4 設定が終われば、OK をタップします。

5 確認画面で、はい をタップします。

ご注意

- **パスワードは忘れないようにしてください**
- 登録したパスワードを忘れると、この製品は使えなくなります。
パスワードは控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、完全消去（フォーマット）（☞ 10-5 ページ）が必要になります。完全消去をすると、この製品に入っているデータなどはすべて消去されます。

- **キーロック中はパスワードの入力ができません**

キーロックを解除してからパスワードを入力してください。

MEMO

- パスワードを設定すると、パスワード画面を表示するときもパスワードの入力が必要です。

時計を設定する

現在地と訪問先の時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。

1 スタート画面の “設定” をタップします。

2 “時計とアラーム”をタップします。

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。

◇ 時刻 タブ◇

現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

① ▼をタップして現在地を選択します。
② 変更したい時：分：秒をタップしてから▲や▼で時刻を設定します。
③ ▼をタップして、表示されたカレンダーから設定する日付をタップします。 カレンダーで月を変えるときは ◀ ▶ をタップします。

◇その他タブ◇

時刻タブで設定した時刻をすべてのプログラムで、タイトルバーに表示するかしないかを設定します。

① タイトルバーの時計表示
② チェックを付けると、タイトルバーに時刻が表示されます。
③ この製品では動作しません。

4 **設定が終われば、OKをタップします。**

アラームを設定する

決まった時間に音を鳴らしたり、画面にメッセージを表示できます。

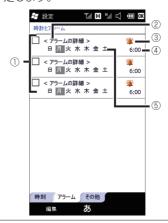
1 **スタート画面の“設定”をタップします。**

2 **“時計とアラーム”をタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 **アラームタブをタップします。**

◇アラームタブ◇

決まった時刻に通知するアラームを設定します。

① 有効にするアラームにチェックを付けます。
② タップしてアラームに表示されるメッセージを入力します。
③ タップすると、アラーム音の種類やバイブの入／切などを設定する画面が表示されます。OKをタップするとこの画面に戻ります。
④ 時刻をタップして、表示された画面でアラーム時刻を設定します。OKをタップするとこの画面に戻ります。
⑤ アラームを設定する曜日をタップします（設定した曜日は反転します）。

MEMO

- 音と通知設定画面（☞次ページ）で、「通知（アラーム、予定など）」にチェックを付けていないと音は鳴りません。
- “予定表”や“仕事”で設定したアラーム音の種類などを設定するときは、次ページをご覧ください。

4 **設定が終われば、OKをタップします。**

音と通知を設定する

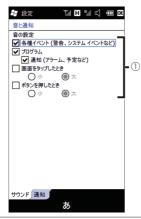
アラームや画面のタップ音の設定などをします。

1 **スタート画面の“設定”をタップします。**

2 **“音と通知”をタップします。**
音と通知設定画面が表示されます。

3 **音や通知に関する設定をします。**

◇サウンドタブ◇

“予定表”や“仕事”で設定したアラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

① チェックを付けると、その操作（イベント）をしたときに音がでます。

◇通知タブ◇

各種イベントを通知する方法にチェックを付けて設定します。
イベントによっては設定ができない項目があります。

① 設定するイベントを選びます。

② チェックを付けて▼をタップして、鳴らす音を選択します。

③ 通知時に設定した音を繰り返し鳴らします。

④ 選択した音を再生／停止します。

⑤ アラームや接続の確立などの通知時にメッセージを表示します。

⑥ 振動で通知します。

4 **設定が終われば、OKをタップします。**

MEMO

- サウンドタブで「プログラム」の「通知（アラーム、予定など)」のチェックを外している場合、通知タブで「音を鳴らす」にチェックを付けていても音は鳴りません。サウンドタブでは、「通知（アラーム、予定など)」のチェックは付けておいてください。

使用環境を設定する（個人）

オーナー情報やボタン（キー）の割り当てなどを設定します。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

MEMO
- この画面に表示される“入力”および“WCDMA 通信”は、この製品では使いません。

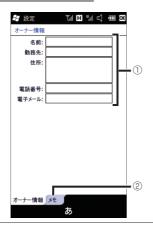
オーナー情報を設定する

オーナー情報を入力します。

1 スタート画面の “設定”をタップし、 “個人”をタップします。

2 “オーナー情報”をタップします。
オーナー情報の設定画面が表示されます。

3 オーナー情報に関する設定をします。

◇オーナー情報 タブ◇

① 名前、勤務先、住所、電話番号、電子メールなどを入力します。

② タップするとメモを追加できます。

MEMO
- オーナー情報に入力した内容はデータ交換（☞ 7-13 ページ）に利用できます。

4 設定が終われば、OK をタップします。

キーを設定する

この製品のキーに割り当てるプログラムや機能を設定します。

1 スタート画面の “設定”をタップし、 “個人”をタップします。

2 “ボタン”をタップします。
ボタン設定画面が表示されます。

3 キーに割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。

◇ プログラムボタン タブ◇

「1. ボタンの選択」から設定／変更したいキーを選択し、「2. プログラムの割り当て」で割り当てるプログラムを選択します。

① 各キーと割り当てられているプログラムが表示されます。

② キーに割り当てるプログラムを選びます。

◇ 上／下コントロール タブ◇

(カーソル)キーを押したときスクロールを開始するまでの時間や移動速度、ならびに、キー入力時のリピートを開始するまでの時間やリピート速度を変更します。

① つまみをドラッグして調整します。

4 **設定が終われば、をタップします。**

9 設定

各種設定（個人）

使用環境を設定する（システム）

エラー報告や日本語入力システムなど、システムに関する設定をします。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

ファームウェアのバージョン情報を確認する

1 スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。

2 “WS027SH 情報”をタップします。

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

設定
WS027SH情報
ハードウェア情報:

アイテム	説明
CPU	MSM7200A, 528MHz
ROM	512MBytes
RAM	256MBytes
LCD	480*854, 262K

ファームウェア情報:

アイテム	説明
ROM Ver.	XXXX
Service Pack	XXXX
WCDMA Ver.	XXXX
W-SIM Ver.	XXXX

3 確認が終われば、OK をタップします。

縦横表示自動切替の設定をする

この製品を持つ向きに合わせて画面を自動的に回転させたり、内蔵カメラで撮影した画像を回転して保存する／しないの設定をします。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。

2 “モーションセンサー”をタップします。

モーションセンサー画面が表示されます。

3 縦横表示自動切替の設定をします。

① この製品を持つ向きに合わせて、画面の向きも自動的に回転する／しないを設定します。ON に設定しても、アプリケーションによっては縦表示のみでのご利用となります。

② 内蔵カメラで撮影した画像を保存するとき、自動的に回転する／しないを設定します。

4 設定が終われば、OK をタップします。

近接センサーの設定をする

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “システム” をタップします。

2 “近接センサー” をタップします。
近接センサー設定画面が表示されます。

3 近接センサーの設定をします。

① 近接センサーの設定を有効にします。
通話中、近接センサーに顔の一部が近づくと、画面へのタップ（入力）を禁止します。

② 近接センサーの設定を無効にします。

4 設定が終われば、OK をタップします。

パワーマネージメントを設定する

充電池の残量確認や節電状態（画面の電源をオフ）するまでの時間などを設定します。

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “システム” をタップします。

2 “パワーマネージメント” をタップします。
パワーマネージメント設定画面が表示されます。

3 充電池の残量の確認や、パワーマネージメントの設定をします。

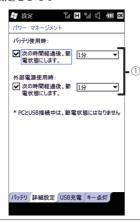
◇ バッテリ タブ◇

充電池（バッテリ）の残量を確認できます。

9
設定

各種設定（システム）

◇詳細設定タブ◇

最後の操作から一定時間が経過すると、節電状態（画面の電源をオフ）にするように設定します。
節電状態になっても、電話着信／ライトメール受信時などは自動的に電源が入ります（☞ 1-32 ページ）。
バッテリ（充電池）使用時と外部電源使用時（AC アダプター接続時）を別々に設定します。

① チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると節電状態（画面の電源をオフ）になります。経過時間を変更するときは▼をタップします。

ご注意

- **以下のときは、設定した時間が経過しても節電状態になりません。**
  - ・通話中
  - ・付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続中
  - ・Windows Media Player 10 Mobile で再生中
  - ・コミック＆ブンコビューアの自動表示中

  など

◇USB 充電タブ◇

パソコンから電源の供給を受けるように設定できます。
（以下 1 つ目のメモの条件を満たしていることが必要です）。
ただし、この製品の使用状況（バックライトの明るさが明るい、インターネットに接続中、内蔵ワイヤレス LAN 使用中など）によっては、充電ランプが赤色に点灯していても充電池が消耗していくこともあります。

MEMO

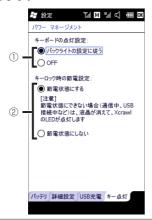
- USB 充電を受けるためには、以下の条件が必要です。
  - ・パソコンに ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターをインストールし、付属の USB ケーブルを使ってこの製品とパソコンを接続できる状態にしておきます。
  - ・パソコンの電源が入っている状態
  - ・この製品の電源が入っている状態
- パソコンがスタンバイ状態になっているときは充電できません。
- USB 充電をする場合は、全てのアプリケーションを終了して、キーロックにしておくことをおすすめします。

ご注意

- **パソコンによっては動作が不安定になることがあります**

  このようなときは「充電しない」にチェックを付けてください。

◇ キー点灯 タブ◇

ダイヤルキーのバックライトの設定をします。

① バックライトを消灯するまでの時間(☞9-15ページ)に従って、ダイヤルキーのバックライトを消灯する / しないを設定します。

② キーロック時に節電状態（画面の電源をオフ）にする / しないを設定します。

4 **設定が終われば、OK をタップします。**

音量を設定する

システムの音量やイヤホンマイク端子に取り付けたイヤホンマイク出力時の音量などを設定します。

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。**

2 **“ボリューム”をタップします。**
ボリューム設定画面が表示されます。

3 **システムの音量やイヤホンマイク出力時の音量などを設定します。**

◇ 基本設定 タブ◇

システムの音量を設定します。

① つまみをドラッグして調節します。

◇ 詳細設定 タブ◇

スピーカー、イヤホンマイクや録音時の音量設定をします。

① スピーカー(☞1-4ページ)の出力音量を調節します。

② つまみをドラッグして調節します。

③ イヤホンマイク端子に取り付けたイヤホンマイクの出力音量を調節します。

④ 録音音量を調節します。
ただし、伝言メモへの録音音量は調節できません。

⑤ タップすると、各種音量の設定が初期値に戻ります。

4 **設定が終われば、OK をタップします。**

Xcrawl（エクスクロール）を設定する

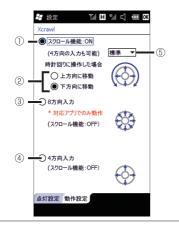
(カーソル)キーを使う設定を行います。設定をしたときの動きについては、1-50ページをご覧ください。

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。**

2 **“Xcrawl”をタップします。**
Xcrawl画面が表示されます。

3 **Xcrawlの設定を行います。**

◇点灯設定タブ◇

◇動作設定タブ◇

① スクロール機能を有効にします。
② ①にチェックを付け、スクロールの回転方向によって、カーソルを移動する方向を設定します。
③ スクロール機能を無効にして、(カーソル)キーを上下左右と斜め四方向に働くようにします。※対応アプリケーションのみで動作します。
④ スクロール機能を無効にして、(カーソル)キーを上下左右に働くようにします。
⑤ 感度を設定します。

4 **設定が終われば、OKをタップします。**

エラー報告をする／しないを設定する

この製品を使っているときに発生したエラー内容を、マイクロソフト株式会社に報告する／しないを設定します。

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。**

2 **“エラー報告”をタップします。**
エラー報告画面が表示されます。

3 **「エラー報告を有効にする」、または「エラー報告を無効にする」をタップします。**

4 **設定が終われば、OKをタップします。**

プログラムを切り替える／終了する

実行しているプログラムの切り替えや終了をしたりできます。

1 スタート画面の"設定"をタップし、"システム"をタップします。

2 "タスクマネージャー"をタップします。
タスクマネージャー画面が表示されます。

3 目的のプログラムをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。

- 選択したプログラムに切り替えるときは、[切り替え]をタップします。
- 選択したプログラムを終了するときは、[タスクの終了]をタップします。
- すべてのプログラムを終了するときは、[すべてのタスクの終了]をタップします。

MEMO
- 終了したいプログラムを選択し、画面左下の[タスクの終了]をタップしても、プログラムが終了します。
- 画面右下の[メニュー]をタップし、表示されるメニューからも、プログラムの切り替えや、すべてのタスクを終了させることができます。また、アプリケーションとプロセスの表示の切り替えや、並べ替えなどもできます。

4 プログラムの切り替えや終了が終われば、☒をタップします。

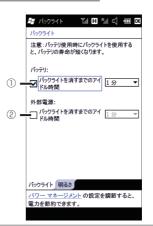
バックライトを消灯するまでの時間を設定する

画面のバックライトを消灯するまでの時間を設定します。

1 スタート画面の"設定"をタップし、"システム"をタップします。

2 "バックライト"をタップします。
バックライト設定画面が表示されます。

3 バックライトに関する設定をします。

◇[バックライト]タブ◇

① 充電池使用時、チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトを消灯します。アイドル時間を変更するときは▼をタップします。

② AC アダプター接続時、チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトを消灯します。アイドル時間を変更するときは▼をタップします。

MEMO
- こちらの設定を有効にしていても、節電状態にする設定を行っている場合は、節電状態の設定が優先されます(☞ 9-12 ページ)。

9 設定

各種設定（システム）

◇ 明るさ タブ◇

バックライトの明るさを設定します。
充電池使用時、AC アダプター（外部電源）使用時それぞれの明るさを設定できます。

① つまみをドラッグして調節します。

MEMO

- ダイヤルキーの明るさは調節できません。

4 **設定が終われば、OK をタップします。**

バージョン情報などを確認する

CPU やメモリ容量など、この製品に関するバージョン情報を確認できます。

1 **スタート画面の “設定” をタップし、 “システム” をタップします。**

2 **“バージョン情報” をタップします。**

3 **バージョン情報やこの製品の名前を確認します。**

◇ バージョン タブ◇

この製品のバージョン情報を確認できます。

◇ デバイス ID タブ◇

この製品の名前を設定します。
パソコンと同期を行ったときなど、ここで設定したデバイス名がパソコン側の画面に表示されます。

◇ 著作権 タブ◇

この製品の著作権について確認できます。

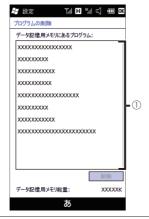
4 **確認／設定が終われば、OK をタップします。**

プログラムを削除する

追加したプログラムを削除します。

1 **すべてのプログラムを終了します。**
プログラムの終了については、1-31ページをご覧ください。

2 **スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。**

3 **“プログラムの削除”をタップします。**
プログラムの削除設定画面が表示されます。

① 削除可能なプログラムが表示されます。

4 **削除するプログラムを選択し、削除をタップします。**

5 **確認画面で、はいをタップします。**

MEMO

- ご購入時からあるプログラムでも削除できるものがあります。
  よく確認してから削除してください。誤って削除した場合、ウィルコムのホームページでダウンロードの情報をご確認ください。

メモリを確認する

メモリの使用状況を確認できます。

1 **スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。**

2 **“メモリ”をタップします。**
メモリ設定画面が表示されます。

3 **メモリの使用状況を確認します。**

◇メインタブ◇

メモリの使用領域や空き領域を確認できます。

① 実行中のプログラムをすべて終了してもシステムが使用領域を使います。

◇メモリカードタブ◇

装着しているメモリカードの使用領域／空き領域を確認できます。

4 **確認が終われば、OKをタップします。**

地域を設定する

この製品で使う数値の表示形式を変更できます。

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “システム” をタップします。

2 “地域” をタップします。
地域設定画面が表示されます。

3 各タブで数値の表示形式などを設定します。

MEMO

- 地域を変更し OK をタップすると、「再起動してください」と表示されます。このときは、フルリセット（☞ 10-2 ページ）を行ってください。
- 地域を日本に選択したとき、時刻表示は 24 時間制になります。
  時刻 タブで時刻の形式を「tt hh:mm:ss」や「tt h:mm:ss」を選択すると 12 時間制になりますが、タイトルバーに表示される時間には AM や PM は表示されません。「H:mm:ss」「HH:mm:ss」を選択して 24 時間制にすることをおすすめします。

4 設定が終われば、 OK をタップします。

microSD カードに保存するときにファイルを暗号化する

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “システム” をタップします。

2 “暗号化” をタップします。
「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックを付けると、microSD カードにファイルを保存するときに、ファイルを暗号化して保存します。

ご注意

- **この機能をお使いになるときは、十分ご注意ください。**

  暗号化したファイルは、別の WS027SH やパソコンなど別の機器で開いたり編集などはできません。また、同じ WS027SH でも、本体を完全消去（フォーマット）（☞ 10-5 ページ）した場合、開いたり編集などはできなくなります。

3 設定が終われば、 OK をタップします。

画面の設定をする

画面表示の方向や文字のサイズの設定ができます。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。

2 “画面”をタップします。
画面設定画面が表示されます。

3 画面に関する設定をします。

◇全般タブ◇

画面の向きを設定したり、タッチスクリーンの調節をしたりします。

① 画面の向きを設定します。

② 選択した画面の向きが表示されます。

③ 画面をタップした位置と反応する位置がずれているときは、タップして画面の補正をします。

◇文字サイズタブ◇

文字サイズの設定をします。

① つまみをドラッグして設定します。

4 設定が終われば、OKをタップします。

画面の補正をする

スタイラスでタップした位置が画面の位置とずれているときは、画面の補正をします。

1 「画面の設定をする」（☞左記）手順１～２を操作します。

2 画面の補正をタップします。
画面の補正画面が表示されます。

3 画面の十字マークの中心に少し長くタップします。

① タップすると十字マークが移動します。同様にタップし、以後、同じ操作を繰り返します。

4 画面の補正が終了すると、画面設定画面に戻ります。

証明書を確認する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

1 スタート画面の“設定”をタップし、“システム”をタップします。

2 “証明書”をタップします。
証明書の管理画面が表示されます。

3 証明書を確認します。
各タブで証明書の内容を確認します。

4 確認が終われば、OKをタップします。

日本語入力システム（ケータイ Shoin）の設定

日本語入力システム（ケータイ Shoin）の変換候補に表示される文字種の設定、よく使う単語の登録、定型文の追加などをします。

1 **スタート画面の “設定” をタップし、 “システム” をタップします。**

2 **“ケータイShoin” をタップします。**

ケータイShoin 設定画面が表示されます。

◇ 全般 タブ◇

① 候補ウインドウの行数を選びます。

② チェックを付けると、1 字入力したときに、変換で学習した語や、ユーザ辞書に登録した単語が変換候補として表示されます。

③ チェックを付けると、ダイヤルキーで候補ウィンドウの変換候補の選択ができるようになります。

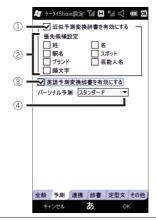
④ 入力中に（カーソル）キーの上を押すと、通常変換を行います。チェックを外すと、通常変換がワンタッチ変換に切り替わります。

⑤ チェックを付けると、文字入力中に一定時間が経過すると、自動的に（カーソル）キーの右を押した状態になります。移動するまでの時間は「タイムアウト値」をドラッグして調節します。

⑥ 変換で学習した語が削除されます。

⑦ ケータイ Shoin の設定を標準状態に戻します。

◇ 予測 タブ◇

近似予測変換辞書の設定をします。

① チェックを付けると、ひらがなを入力するたびに、入力した文字から始まる変換候補が表示されます。

② チェックを付けた項目が、優先的に変換候補として表示されます。

③ チェックを付けると、英語予測変換辞書が有効になります。

④ ▼をタップしてパーソナル予測モードを選択します。

◇ 連携 タブ◇

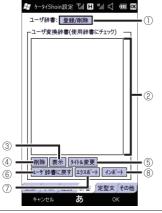
連携予測変換の設定をします。

① チェックを付けると、確定した文字から推測される変換候補が表示されます。

② チェックを付けると、連携予測変換で顔文字が表示されます（確定した語が感情を表す語の場合）。

③ チェックを付けると、英語連携変換辞書が有効になります。

◇ 辞書 タブ◇

よく使う単語をユーザ辞書に登録します。
単語登録については、「単語を登録する」（☞次ページ）をご覧ください。

① 単語をユーザ辞書に登録する画面が表示されます。くわしくは次ページ「単語を登録する」をご覧ください。

② ①で登録したユーザ変換辞書が表示されます。
使用するユーザ変換辞書にチェックを付けると、選択したユーザ変換辞書が使用できます。

③ ②で選択したユーザ変換辞書を表示します。

④ ②で選択したユーザ変換辞書を削除します。

⑤ ②で選択したユーザ変換辞書のタイトルを変更します。

⑥ ②で選択したユーザ変換辞書をユーザ辞書に戻します。

⑦ ②で選択したユーザ変換辞書を書き出します（エクスポート）。

⑧ 書き出された別のユーザ変換辞書を取り込みます（インポート）。

◇ 定型文 タブ◇

定型文の設定をします。

① 編集する定型文のカテゴリーを選択します。

② 定型文と顔文字を標準状態に戻します。

③ 登録されている定型文が表示されます。
定型文を選択すると、選択した定型文が④に表示されます。

④ 追加 / 変更 / 順番変更 / 削除する定型文を入力（表示）します。

⑤ 追加 ：④に入力した単語を定型文に追加します。
変更 ：定型文を変更します。変更する定型文を③のリストから選択し、④で変更後、変更 をタップします。
↑ ↓ ：③のリストに表示させる順番を変更します。定型文を選択し、↑ や ↓ をタップし順番を変更します。
削除 ：④に入力（表示）した単語を定型文から削除します。

◇ その他 タブ◇

ケータイ Shoin のバージョン情報を確認できます。

3 **設定／確認が終われば、OK をタップします。**

設定を変更したり、単語登録を行ったときは、必ず設定画面を閉じてください。設定画面を閉じないと変更や登録が有効になりません。

単語を登録する

よく使う単語を辞書に登録します。

1 **9-20 ページの手順 1 ～ 2 と同様にして、辞書 タブをタップし、登録 / 削除 をタップします。**

ユーザ辞書の登録画面が表示されます。

2 **新規登録 をタップします。**

単語の新規登録画面が表示されます。

3 **単語、見出し語、その品詞を設定して、登録 をタップします。**

4 **OK をタップします。**

続けて単語を登録するときは、手順 3 ～ 4 を繰り返します。

5 **閉じる をタップします。**

ユーザ辞書の設定画面に戻ります。

6 **登録した単語に間違いがないか確認します。**

- 修正するときは
  1. 修正する単語を選択し、[編集]をタップします。
  2. 修正が終了したら[決定]をタップします。
- 削除するときは
  1. 削除する単語を選択し、[削除]をタップします。

7 **[変換]をタップし、確認画面で[はい]をタップします。**

登録した単語がすべてユーザ変換辞書に変換されます。

8 **OKをタップします。**

9 **[閉じる]をタップします。**

ユーザ辞書の設定画面が表示され、登録したユーザ変換辞書が表示されます。

10 **使用するユーザ変換辞書にチェックを付けます。**

MEMO

- ユーザ変換辞書を選択し、[削除]をタップすると選択したユーザ変換辞書が削除されます。
- ユーザ変換辞書を選択し、[表示]をタップすると、ユーザ変換辞書に登録された単語が表示されます。

11 **設定が終われば、OKをタップします。**

■ 単語をバックアップする

登録した単語をmicroSDカードにバックアップすることができます。
バックアップするときは、あらかじめmicroSDカードをこの製品に取り付けておいてください（1-46ページ）。

1 **前ページの「単語を登録する」の手順1～5と同様にして、バックアップする単語を登録します。**

2 **ユーザ辞書の登録画面で[バックアップ]をタップします。**

microSDカードに単語がバックアップされ、メッセージが表示されます。

3 **OKをタップします。**

■ バックアップした単語を復元する

microSDカードにバックアップした単語を復元することができます。
復元するときは、あらかじめバックアップを行ったmicroSDカードをこの製品に取り付けておいてください（1-46ページ）。

1 **ユーザ辞書の設定画面で[復元]をタップします。**

開く画面が表示されます。

2 **復元するファイルをタップします。**

確認画面で[はい]をタップすると、バックアップした単語が復元され、メッセージが表示されます。

3 **OKをタップします。**

以降前記の手順9～11をご覧になり、単語の登録を行ってください。

10章　付録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」（☞ 10-27 ページ）を参照してください。
「困ったときは」をご覧になっても症状が改善されず、データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しくはたらかない、など異常状態のときは、AC アダプターを接続し、10 分～ 20 分程度充電したあと、次の対処方法を順に試してみてください。

① フルリセット	データが正常に表示されないときや、画面タップやキー操作が正しく動作しないときなどに試してみてください。	☞下記
② 完全消去（フォーマット）	フルリセット（①）をしても動作しないときや、全データを消去するときなどに行います。	☞ 10-5 ページ

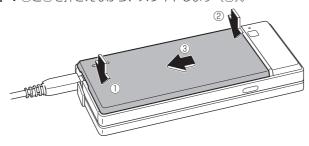
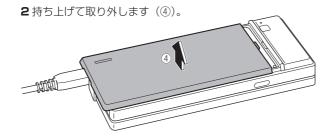
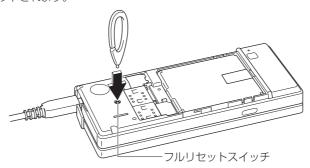
①フルリセットする

データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しくはたらかない、などのときは次の方法でフルリセットしてください。編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。**
動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、AC アダプター以外すべて取り外します。**

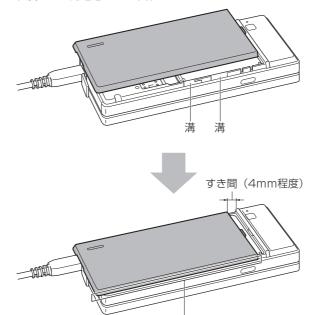
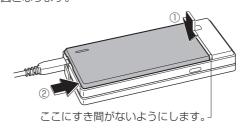
3 **裏側の充電池ぶたを取り外します。**
1 ①と②を押さえながら、スライドします（③）。

2 持ち上げて取り外します（④）。

4 **約 15 秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスで押します。**
フルリセットされます。

5 **充電池ぶたを取り付けます。**
充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。

1 充電池ぶたの裏の小さな突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を4mm 程度あけて充電池ぶたを本体にのせます。

2 充電池ぶたをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

充電池ぶたを軽く押さえながら（①）、充電池ぶたの側面を押して（②）、本体とすき間がないようにきっちりと取り付けてください。
すき間があいたまま使用すると、充電池ぶたのツメが変形し、充電池ぶたが外れやすくなる原因となります。

ご注意

● **誤った取り付けかた**

ツメを先にはめ込まないでください。

6 [電源]キーを約 2 ～ 3 秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、充電してください。
充電についてくわしくは、1-8 ページのメモをご覧ください。

7 しばらくすると、待ち受け画面（Today 画面）が表示されます。

②完全消去する（フォーマット）

10-2～4ページの①を行っても正常に動作しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。

ご注意

- データがすべて消去されます。

ご購入後に入力したデータや設定、追加したプログラムなどがすべて消去されます。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。**
動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **裏側の充電池ぶたを取り外します（☞ 10-2 ページの手順 3）。**

3 **この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

4 **約 15 秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスで押します（☞ 10-3 ページの手順 4）。**

5 **充電池ぶたを取り付けます（☞ 10-3 ページの手順 5）。さらに AC アダプターを接続します。**

6 **本体を表に返します。**

7 **充電ランプが点灯する前に、[7 ま PQRS] キーと [9 ら WXYZ] キーの両方を押したままで、[電源] キーを長く（約 10 秒）押します。**
しばらくすると本体が起動し、メンテナンスメニュー画面が表示されます。

8 **[8 や TUV] キーを押します（「フォーマット」を選択します）。**

9 **[#] キーを押します。**
完全消去が始まりますので、終わるまで待ちます。

MEMO

- スタートアップ画面から再度オンラインサインアップを行ってください（☞ 2-2 ページ）。

10
付録

異常が起きたとき

充電池について

充電池を安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」（☞ 0-12 ページ）をよくお読みください。

使用できる充電池

リチウムイオン充電池：EA-BL18
※ EA-BL18 以外の充電池は使用しないでください。
※充電池のシールは、剥がさないでください。
※落下など衝撃を与えた充電池は使用しないでください。

MEMO

- 節電状態で満充電になるまでに、通常、常温 25℃で約 4.5 時間かかります（充電池の残量や周囲温度によって変わります）。
  また、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。
- 充電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電池の消耗によるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならなかったときは、ご使用になる前に充電されることをおすすめします。

充電する

この製品に充電池を取り付け、AC アダプターを接続して充電します（☞ 1-7 ページ）。
この製品を使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切るか節電状態にすることをおすすめします。
充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。
また、本体の温度が低いときや高いときは、安全のため一時的に充電を停止することがあります（このような場合は、充電ランプが赤色と緑色に交互に点灯します）。

残量を確認する

充電池の残量は、タイトルバーの充電池残量のアイコンで確認することができます（☞ 1-23 ページ）。
パワーマネージメント画面（バッテリ タブ）でも確認できます（☞ 9-11 ページ）。

充電池の交換について

充電池は繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、充電池の寿命ですので、交換してください。

MEMO

- この製品は、リチウムイオン電池を使用しています。
  リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  火災・感電の原因となります。
  ・ショートさせない　・分解しない

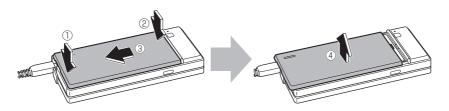
充電池を交換する

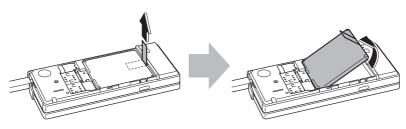
1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。
また、USB ケーブルを接続しているときは、取り外します。

2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

3 AC アダプターを接続します（☞ 1-7 ページ）。

4 裏側の充電池ぶたを取り外します。

1 ①と②を押さえながら、スライドします（③）。

2 持ち上げて取り外します（④）。

5 消耗した充電池を持ち上げて取り外します。

ご注意

- 充電池は端子面と金属などの導電性物が接触しないようにしてください。ショートの原因になります。

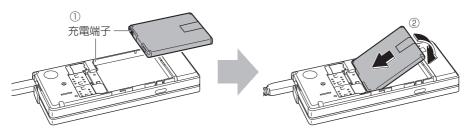
10
付録
充電池

6 充電池を取り付ける。

1 充電池と本体の⊕ ⊖の表示を合わせる（①）。

2 上から充電池を奥に押しながら、しっかりと装着する（②）。

ご注意

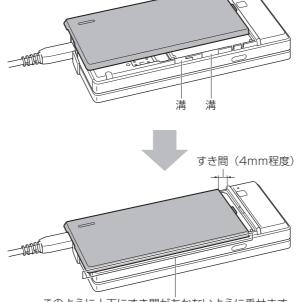
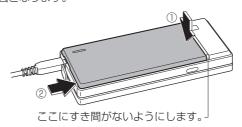
- **充電端子に金属片や鉛筆の芯などの導電性の物が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になります。**

7 充電池ぶたを取り付けます。

充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。

1 充電池ぶたの裏の小さな突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を4mm 程度あけて充電池ぶたを本体にのせます。

2 充電池ぶたをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

充電池ぶたを軽く押さえながら（①)、充電池ぶたの側面を押して（②)、本体とすき間がないようにきっちりと取り付けてください。
すき間があいたまま使用すると、充電池ぶたのツメが変形し、充電池ぶたが外れやすくなる原因となります。

ご注意

- **誤った取り付けかた**

ツメを先にはめ込まないでください。

8 **[電源]キーを約 2 ～ 3 秒間押します。電源が入らないときは手順 1 からやり直してください。**

電源が入ります。
交換した充電池を充電するときは、いったん AC アダプターを取り外し、再度、AC アダプターを取り付けてください。

10 付録

充電池

W-SIM を取り外す／取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。

2 この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

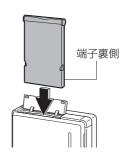
3 W-SIM のスロットのカバーを開きます。

4 W-SIM を取り外します。または、取り付けます。

取り外す

W-SIM を指で押し込み、スロットから外れたカードを抜き取ります。

取り付ける

端子を裏側にして端子側から W-SIM を取り付けます。指先で押し込むように取り付けてください。

5 スロットのカバーを閉じます。

※上記の方法で正常に動作しない場合は、フルリセットを行ってください（☞ 10-2 ページ）。

USIM カードを取り外す／取り付ける

ご注意

- カードの取り付け、取り外しは、電源を切ってから行ってください。
  カードが壊れたり本体の故障の原因になったりします。

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。
また、AC アダプターや USB ケーブルを接続しているときは、取り外します。

2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

3 裏側の充電池ぶたを取り外します（☞ 10-7 ページ）。

4 充電池を取り外します（☞ 10-7 ページ）。

5 USIM カードを取り外します。または、取り付けます。

ご注意

- 故障の原因となりますので、中央のカードスロットに USIM カードは入れないでください。

6 充電池を取り付けます（☞ 10-8 ページ）。

7 裏側の充電池ぶたを取り付けます（☞ 10-8 ページ）。

絵文字一覧

入力できるWeb用絵文字、絵文字、アニメーション絵文字をそれぞれ一覧にしています。区点コードを使って入力できる文字や記号については、ホームページに掲載のアプリケーションマニュアルをご覧ください。

Web用絵文字

ローマ字→かな変換表

行										
あ行	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	a	i yi	u wu whu	e	o	la xa	li xi lyi xyi	lu xu	le xe lye xye	lo xo
							いぇ			
							ye			
						うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
						wha	whi wi		whe we	who
か行	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	ka ca	ki	ku cu qu	ke	ko co	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	ヵ			ヶ		くゃ		くゅ		くょ
	lka xka			lke xke		qya		qyu		qyo
						くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
						qwa qa kwa	qwi qi qyi	qwu	qwe qe qye	qwo qo
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyi	gyu	gye	gyo
						ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
						gwa	gwi	gwu	gwe	gwo
さ行	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	sa	si ci shi	su	se ce	so	sya sha	syi	syu shu	sye she	syo sho
						すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
						swa	swi	swu	swe	swo
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	za	zi ji	zu	ze	zo	zya ja jya	zyi jyi	zyu ju jyu	zye je jye	zyo jo jyo
た行	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	ta	ti chi	tu tsu	te	to	tya cha cya	tyi cyi	tyu chu cyu	tye che cye	tyo cho cyo
			っ			つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
			ltu xtu ltsu			tsa	tsi		tse	tso
						てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
						tha	thi	thu	the	tho
						とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
						twa	twi	twu	twe	two

	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	da	di	du	de	do	dya	dyi	dyu	dye	dyo
						でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
						dha	dhi	dhu	dhe	dho
						どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ
						dwa	dwi	dwu	dwe	dwo
な行	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	ha	hi	hu fu	he	ho	hya	hyi	hyu	hye	hyo
						ふゃ		ふゅ		ふょ
						fya		fyu		fyo
						ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
						fwa fa	fwi fi fyi	fwu	fwe fe fye	fwo fo
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byi	byu	bye	byo
						ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
						va	vi	vu	ve	vo
						ヴゃ	ヴぃ	ヴゅ	ヴぇ	ヴょ
						vya	vyi	vyu	vye	vyo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ま行	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myi	myu	mye	myo
や行	や		ゆ		よ	ゃ		ゅ		ょ
	ya		yu		yo	lya xya		lyu xyu		lyo xyo
ら行	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ行	わ				を	ん				
	wa				wo	n nn				
	ゎ									
	lwa xwa									

●撥音（はつおん）の入力

・"ん、ン"の次に母音または"Y"がくるときや"ん、ン"で終わるとき"N"を2回入力する
ほんやく→ HONNYAKU
はんい→ HANNI
ほん→ HONN

・上記以外のとき
ほんき→ HONKI

●促音の入力

"N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→ KEKKA
トップ→ TOPPU

仕様について

本体

形名	WS027SH
OS	Microsoft® Windows Mobile® 6.5 Professional 日本語版
CPU	Qualcomm®MSM7200Aプロセッサ、ARM11 528MHz
本体メモリ	Flashメモリ512MB(本体システム領域等含む) SDRAM 256MB(ワークエリア)
表示部	480×854 ドット　3.5型　262,144色 モバイルASV液晶(バックライト付き)
通信機能	W-CDMA 800／2100MHz、HSDPA 7.2Mbps、 HSUPA 5.7Mbps PHS(W-OAM typeG対応W-SIM)
赤外線通信	IrDA®1.2方式／IrMC™1.1方式 ※2
内蔵ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth	Bluetooth® 2.0
内蔵カメラ	有効画素数:約500万画素(オートフォーカス付、手ぶれ防止)
カードスロット	microSD™カードスロット×1、W-SIMスロット×1、 USIMカードスロット×1
接続端子	USB端子(microABコネクター)／ACアダプター端子、 イヤホンマイク端子(平型)、赤外線通信ポート
電源	DC 3.7V　充電池:リチウムイオン充電池(EA-BL18)
使用温度	0〜40℃
外形寸法	(高さ)約120mm×(幅)約53mm×(厚さ)約16.9mm (ダイヤルキー収納時、最薄部)
質量	約158g(充電池含む)
付属品	W-SIM(※3)、USIMカード(※3)、充電池(EA-BL18)、USBケーブル、ACアダプター(EA-84)、スタイラス、ハンドストラップ、『かんたん操作ガイド』、『取扱説明書』、COAカード、保証書
連続待受時間 ※4	約400時間(W-CDMAの設定がOFFのとき) 約200時間(W-CDMAの設定がONのとき)
連続通話時間 ※4	約5時間

※1　最大通信速度は技術規格上の最大値です。
　　実際の通信速度を示すものではありません。
　　実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などに応じて変化します。
※2　すべての赤外線通信機器とデータ通信を保証するものではありません。
※3　W-SIMとUSIMカードは、箱に入っています。ただし本体のみの販売の場合には、
　　W-SIMとUSIMカードは、同梱されておりません。
　　販売店でのご購入の場合、あらかじめ本体に取り付けられています。
※4　使用環境、機能の設定状況等により通話時間･待受時間は変動します。

充電池（EA-BL18）

公称電圧	3.7V
公称容量	1240mAh
充電時間	満充電になるまでの時間:約4.5時間（常温25℃、節電状態での目安）
使用温度	0～40℃
充電温度	5～35℃
充放電回数	約500回

AC アダプター（EA-84）

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1A

■ 比吸収率（SAR）について

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg ※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この製品の SAR の値は 0.378W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

・This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

OpenSSL License

・This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

さくいん

ABC（A ～ C）

DEFGHIJKL（D ～ L）

MN（M ～ N）

OPQR（O ～ R）

STU（S ～ U）

VWXYZ（V ～ Z）

あ

い

う

え

お

か

き

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ひ

り

る

れ

ろ

わ

困ったときは

この製品を使っていて、『使いかたが分からないとき』や『困ったときは』、ここに書いている内容をご覧ください。

電話

電話がかからない

	参照ページ
市外局番からダイヤルしていますか？	3-2
電波の状態が悪くなっていませんか？電波状態のアイコンが[アイコン]や[アイコン]になる場所に移動してください。	1-23
通話／通信機能が制限されていませんか？	3-23
W-SIM が確実に取り付けられていますか？ W-SIM を一度取り外して、再度取り付けてみてください。	10-10

着信音が鳴らない

	参照ページ
着信音の音量を確認してください。	3-18、9-13
マナーモードを解除してください。	3-22
安全運転モードを解除してください。	3-22

着信音の設定ができない

	参照ページ
着信音として設定できるのは、WAVE ファイルと MIDI ファイルです。この製品では MP3 ファイルを着信音として設定できません。	3-19
パソコンに保存している MIDI ファイルや WAVE ファイルを着信音として利用したいときは、ActiveSync のエクスプローラを使ってこの製品にコピーしてください。 Windows Media Player の同期を利用した場合、MIDI ファイルや WAVE ファイルは WMA ファイルに変換され、着信音に設定できなくなります。	

電話がかかってこない

	参照ページ
着信拒否の設定をしていませんか？	3-29
電波状態の良い場所に移動してください。	1-23
着信転送サービスを利用していませんか？	3-37
電源を切っていませんか？	1-9

相手の声が聞き取りにくい、雑音が入る

	参照ページ
受話音量を確認してください。	3-10
電波状態の良い場所に移動してください。	1-23
周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか？見通しのよい場所に移動してください。	

電話が切れる

	参照ページ
近接センサーの設定はオンになっていますか？	9-11
電波状態の良い場所に移動してください。	1-23
周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか？見通しのよい場所に移動してください。	

本体

電源が入らない

	参照ページ
充電池が消耗していませんか？	1-23、9-11
終話／電源キーをすぐ離すと電源は入りません。終話／電源キーは約２～３秒押してください。	1-9
長時間使用しなかったときなど、充電池が過放電の状態になっている場合は、AC アダプターを接続しても充電ランプが赤色に点滅し本体の電源が入りません。この場合は、充電ランプが赤色に点灯するまで、約 1 時間充電してください。	1-8

急に電源が切れた

	参照ページ
パワーマネージメントを設定していると、節電状態になり画面の電源が切れます。	9-12
充電池が消耗すると電源が切れます。すぐにＡＣアダプターを接続して充電してください。	1-7
強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。	

W-SIM の抜き差しをしたら動作しなくなった

	参照ページ
フルリセットを試してみてください。	10-2

節電状態にならない

	参照ページ
通信中や内蔵のワイヤレス LAN がオンになっているときなど、使用している機能によって節電状態にならないことがあります。	9-12

充電ランプが赤色で点滅する

	参照ページ
長時間使用しなかったときや、電源を入れたまま節電状態にしないで長時間放置していたときなど、充電池が過放電の状態になっている場合は、AC アダプターを接続すると充電ランプが赤色に点滅します。 この場合は、そのまま充電を約 1 時間続けてください。正しく充電されている場合、赤色の点灯に変わります。 充電中、赤色の点滅が消灯した場合、充電池または本体に異常があることが考えられます。充電池を取り外して、修理をお申し付けください。	

所定の充電時間以上充電しても充電ランプが緑色にならない

	参照ページ
本体を動作させながら充電していたり、充電池を交換した後、動作させずに充電を行った場合などは、通常より充電時間が長くなることがあります。	1-7
指定の周囲温度（5 ～ 35℃）で充電してください。	1-8
満充電後、そのままにしておくと、充電池を消耗し、また充電がはじまる場合があります。	

充電ランプの赤色点灯が消灯した／点灯しない

	参照ページ
AC アダプターが外れていませんか？	
充電池が取り付けられているか確認してください。	
充電池または本体に異常があることが考えられます。使用を止めて、AC アダプターおよび充電池を取り外し、修理をお申し付けください。	

画面が暗い

	参照ページ
バックライトの明るさの設定が暗くなっていませんか？	9-16

画面が明るくなるだけで何も表示されない

	参照ページ
充電池が消耗していませんか？	1-23、9-11
フルリセットしてみてください。	10-2

データが正常に表示されない／表示がおかしい

	参照ページ
フルリセット、フォーマットを順に試してみてください。	10-2

画面の縦横切り替えなどが遅い

	参照ページ
使っていないプログラムを終了してください。	1-20

設定したパスワードの文字数と表示されている文字数が異なる

	参照ページ
接続設定画面のパスワードの表示欄に「*」が複数表示されます。 「*」の数は、設定した文字数とは一致しないことがあります。	2-6、2-9

充電池の消耗が早い

	参照ページ
内蔵のワイヤレス LAN などがオンになっていたり、使用していないプログラムが起動していたりしませんか？	かんたん操作ガイド 34
充電池が寿命の可能性があります。	10-6

AC アダプターからピーと音がする

	参照ページ
故障ではありません。 ＡＣアダプターの性質上、充電時に小さくピーと音が鳴ることがあります。	

「シュルシュル」という音がする

	参照ページ
静かな場所では、「シュルシュル」「キーン」という音が聞こえる場合があります。 これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。	

アラームが通知されない

	参照ページ
ボリュームキーまたは設定画面の システム - ボリューム で、音量を確認してください。	9-13
マナーモードを解除してください。	3-22
安全運転モードを解除してください。	3-22
設定画面の 音と通知 - サウンド タブで、「プログラム」や「通知（アラーム、予定など）」のチェックが外れていませんか？	9-7
設定画面の 音と通知 - 通知 タブ - イベント欄「アラーム」で、「音を鳴らす」のチェックが外れていませんか？	9-7
画面下側に、「ネットワーク検出」や「バッテリ残量」の通知画面が表示されているときは、アラームは通知されません。	

Windows Media Player 10 Mobile で音がでない

	参照ページ
ボリュームキーまたは設定画面の システム - ボリューム で、音量を確認してください。	9-13
マナーモードを解除してください。	3-22
安全運転モードを解除してください。	3-22

すべてのキーがはたらかない

	参照ページ
キーロックにしていませんか？	1-6
リモートロックにしていませんか？	3-26
フルリセット、フォーマットを順に試してみてください。	10-2

microSD カードを認識しない

	参照ページ
正しく装着していることを確認してください。	1-46
microSD カードのスロットがロックされているか確認してください。	1-47
いったんカードを取り外し、フルリセットをしてから、再度カードを装着してください。	1-48、10-2

「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている・・・」というメッセージ（画面）が表示された

	参照ページ
タスクの終了 をタップして、プログラム終了してください。	1-31

メモリの空き領域が少ない

	参照ページ
使用していないプログラムを終了してください。	1-31
インターネットのキャッシュを削除してください。	5-7

メモリー不足の画面が表示された

	参照ページ
使っていないプログラムを終了してください。	1-31

他の機種から電話帳などを転送できない

	参照ページ
W-SIM を使っている機種は、「電話帳転送」を行ってください。	3-31
この製品は Microsoft Outlook と同期できます。お使いの機種が Outlook と同期できる場合は、その機種と Outlook を同期したのちこの製品と同期することで転送することができます。	
他の WS027SH や WS020SH、WS011SH に転送するときは、赤外線通信を使って送ることができます。	7-12

Excel Mobile や Word Mobile で作ったファイルを WS007SH などで開くことができない

	参照ページ
WS007SH/WS004SH/WS003SH にデータを送付する場合などは、テンプレートを使用してファイルを作成してください。 テンプレート選択方法 1 Excel Mobile または Word Mobile の一覧画面を表示します。 2 画面上部の [すべてのフォルダ] をタップし、[テンプレート] をタップします。 3 Excel Mobile では「空白の 97-2003 ブック」を選択し、Word Mobile では「Word97-2003 文書」を選択します。 4 データを入力し保存します。	

プログラムの終了はどのようにするの？

	参照ページ
[OK] や [×] をタップしただけでは、終了しないプログラムがあります。[タスクの終了] で終了してください。	1-31

ＡＣアダプターやこの製品が温かくなる

	参照ページ
故障ではありません。 ＡＣアダプター使用中や充電中は、ＡＣアダプターやこの製品は温かくなります。	1-8、10-6

名刺や文字原稿の読み取りがうまくできない

	参照ページ
名刺や文字原稿の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、プログラム実行用メモリの空き容量を増やしてください。	6-17、6-20、6-23

名刺や文字原稿の認識精度がよくない

	参照ページ
名刺や文字原稿を撮影するときに、この製品が斜めになっていないか、傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。	6-17、6-20、6-23

インターネット

インターネットに接続できない

	参照ページ
プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。	2-6
ユーザー名／パスワードが合っているか確認してください。 特に、大文字と小文字、全角と半角、数字のゼロ（0）と英字のオー（O）、数字の 1 と英字のエル（l）などを間違えていないか、よく確認してください。	2-6
サーバーアドレスなどが合っているか確認してください。	2-7
オンラインサインアップを行うと、「センタ名称設定」（ユーザー名、パスワード、電話番号）が自動的に登録されます。 この「センタ名称設定」を使ってインターネットに接続している場合、「センタ名称設定」を削除したり内容を変更するとインターネットに接続できなくなります。 「センタ名称設定」を削除したり内容を変更していないか確認してください。 削除したときは、再度、オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に登録されます。 内容を変更したときは、変更した「センタ名称設定」を削除してからオンラインサインアップを行います（「センタ名称設定」が自動的に登録されます）。	2-3、2-18
上記「センタ名称設定」の中で、W-CDMA をお使いの場合は「CLUB AIR-EDGE 3G」、PHS 電話機能をお使いの場合は 「CLUB AIR-EDGE」が選択されているか確認してください。	2-3
W-CDMA や内蔵ワイヤレス LAN、PHS など、使用するデバイスの設定がオンになっているか確認してください。	2-12
USIM カードと W-SIM が正しく取り付けられているか確認してください。	10-10、10-11
電波状態の良い場所に移動してください。	1-23
ダイヤルルールを使用する設定になっていませんか？ この製品ではダイヤルルールは使用しません。設定を行うと通信ができなくなります。	2-8

「不明なダイヤル先」やエラーメッセージが表示されてインターネットに接続できない

	参照ページ
「ダイヤルルールを使用する」にチェックが付いていませんか？	2-8

Windows Live を使用後、切断しても自動的にインターネットに接続する

	参照ページ
Windows Live にサインインしたままになっていませんか。サインインしたままでネットワークを切断しても自動的に再接続します。Windows Live を使用後はサインアウトした後に、インターネットの接続を切ってください。	

ホームページが表示できない

	参照ページ
サーバーアドレス（DNS サーバー）の設定をまちがえていないか確認してください。	2-7
この製品で表示できないホームページの可能性があります。	

ホームページがうまく表示されなかったり動作が遅い

	参照ページ
ブラウザのキャッシュ（一時ファイル）が影響している可能性があります。キャッシュ（一時ファイル）を削除してみてください。	5-7

オンラインサインアップの情報を消してしまった

	参照ページ
再度オンラインサインアップをしてください。メールアドレスなど、前と同じ情報が設定されます。	2-2

メール

メールの送信や受信ができない

	参照ページ
メールアドレス、ユーザー名、パスワード、メールサーバーなどが合っているか確認してください。	4-4
プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。	2-6
オンラインサインアップを行うと、「センタ名称設定」（ユーザー名、パスワード、電話番号）が自動的に登録されます。 この「センタ名称設定」を使ってメールの送受信をしている場合、「センタ名称設定」を削除したり内容を変更するとメールの送受信ができなくなります。 「センタ名称設定」を削除したり内容を変更していないか確認してください。 削除したときは、再度、オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に登録されます。 内容を変更したときは、変更した「センタ名称設定」を削除してからオンラインサインアップを行います（「センタ名称設定」が自動的に登録されます）。	2-3、2-18

ライトメールの送信ができない

	参照ページ
宛先となる電話番号をまちがえていませんか？	
ライトメールは、ライトメール対応電話機にのみ送信できます。	
相手が電源を切っている、エリア外、話し中などになっていませんか？	
通信／通話機能を制限していませんか？	3-23
送信待ちフォルダに入っていませんか？ 時間をおいて送信してください。	4-24、4-31

オンラインサインアップの情報を消してしまった

	参照ページ
再度オンラインサインアップをしてください。メールアドレスなど、前と同じ情報が設定されます。	2-2

着信音が鳴り続ける／バイブレータが止まらない

	参照ページ
再生回数を設定していませんか？ 呼び出し時間に変更してください。	3-21

アフターサービスについて

保証について

①この製品には保証書がついています。

・保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

②保証期間は、お買いあげの日から 1 年間です。

・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③保証期間後の修理は…

・修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・当社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打切後 5 年保有しています。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

① 「困ったときは」(☞ 10-27 ページ)をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
② それでも異常があるときは使用をやめて、下記のシャープドキュメントシステム株式会社、またはウィルコムサービスセンターにお申し付けください。ご自分での修理はしないでください。
③ 故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。

修理に関するお問い合わせ先

● シャープドキュメントシステム株式会社

大阪フィールドサポートセンター

住所　：大阪市平野区加美南 3 丁目 7 番 19 号
ナビダイヤル　：0570-081010
受付時間　：月～金（午前 9 時～午後 5 時 40 分）
※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
※ IP 電話・PHS からはご利用いただけません。06-6794-9708 へおかけください。

● ウィルコムサービスセンター

この製品から..（局番なしの）116
一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-156
受付時間　9：00 ～ 20：00（年中無休）

操作方法などわからないときは

Step1 取扱説明書の「さくいん」（☞10-21ページ）や「もくじ」（☞0-4ページ）を使って説明を探す

Step2 この製品のホームページにある「Q&A」を探す

http://wssupport.sharp.co.jp/qa/

Step3 シャープ「お客様相談センター」へ問い合わせる

0120-606-512

受付時間 ／ 月曜～土曜：午前9時～午後6時
（日・祝日および年末・年始、当社の休業日は除く）

株式会社ウィルコムのサービスに関する お問い合わせはウィルコムサービスセンターへ

ご利用のお申し込み･お問い合わせ（無料）

この製品から……（局番なしの） **116**
一般加入電話･携帯電話などから …… **0120-921-156**
受付時間 ／ 9:00～20:00（年中無休）

データ通信に関するお問い合わせ（無料）

この製品から……（局番なしの） **157**
一般加入電話･携帯電話などから …… **0120-921-157**
受付時間 ／ 9:00～20:00（年中無休）

ホームページもご覧ください

http://www.willcom-inc.com/

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
パーソナルソリューション
事業推進本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA
10J IAC②